

投資信託に関するアンケート調査 (プレシニア・シニア調査)

報 告 書

2023年3月



一般社団法人
投資信託協会

<目 次>

1. 調査計画の概要	3
2. 調査結果の要約	9
3. 回答者のプロフィール	19
(1)性別・年齢〔F1,F2〕	20
(2)家族構成〔F3〕	21
(3)世帯年収〔F4〕	22
(4)世帯の金融資産評価額〔F5〕	23
(5)ローン残債〔F7〕	24
4. 資産形成における投資の活用状況	25
(1)金融資産のうち、預貯金の割合〔F6〕	26
(2)投資経験の有無〔Q1〕	27
(3)投資・貯蓄の目的〔Q5〕	28
(4)保有経験のある金融商品等〔Q2〕	30
(5)保有経験のある投資信託商品〔Q3〕	32
(6)これまでの投資の経験や考え〔Q7〕	34
(7)リスク分散の実施状況〔Q8〕	35
(8)資産形成への投資の役立ち度〔Q9〕	36

<目 次>

5. 老後に向けた資産形成の状況	37
(1)豊かな老後に必要な資産総額〔Q4〕	38
(2)投資・貯蓄成果への満足度〔Q6〕	39
(3)老後のための資産形成の開始年代〔Q16〕	41
(4)老後の資産形成で重視する制度〔Q17〕	43
6. 老後生活へ向けた現状・意識	44
(1)就労状況・意識〔F8〕	45
(2)年金受給状況〔Q10〕	46
(3)年金受給開始（希望）年齢〔Q11〕	47
(4)退職金の有無〔Q12〕	48
(5)退職一時金の受け取り額〔Q13〕	49
(6)毎月の預貯金等の取り崩し額〔Q14〕	50
(7)これまで・今後の金融資産管理方針〔Q15〕	51
(8)生活・お金に関する安心感・不安〔Q18〕	53
(9)生活・お金に関する価値観〔Q19〕	57
(10)生活・環境への期待・不安〔Q20〕	65
7. 「豊かな老後生活」に向けた生活者意識	69
(1)経済的安心感と今後への期待・不安〔Q18s3・s4×Q18s1〕	70
(2)年金等の状況・意識と経済的安心感〔Q18s1・s3×Q10・Q17〕	71
(3)お金に関するマインド・価値観と投資行動・意識 〔Q1・Q6s1・Q9・Q18s1×Q19〕	72
(4)投資上の経験・考えとお金に関するマインド・価値観〔Q19×Q7〕	73
(5)投資上の経験・考えと投資意識〔Q1・Q6s1・Q9・Q18s1×Q7〕	74
(6)経済的安心度・投資の資産形成有用度と投資成果の関係 〔Q18s1・Q9×Q6s1〕	75
(7)経済的安心度と老後への資産形成への取り組み状況 〔Q16s1・s2×Q18s1〕	76

* 末尾添付資料：調査票

1. 調査計画の概要



1. 調査計画の概要

調査の目的	<p>① プレシニア・シニア層を中心に投資実態・マインドを把握し、老後の生活満足度を高めるような資産運用・投資信託利用の促進に資する資料とする</p> <p>② プレシニア・シニア層の投資意識・課題から、現役世代における老後の資産形成への知見を得る</p> <p>③ 調査結果を協会会員、各種研究機関、メディア等に広く還元し、制度改正に活用する</p> <p>※プレシニア・シニアの年齢の定義：プレシニアは50-59歳、シニアは60-79歳とする</p>																																																																																				
調査手法	<p>インターネット調査（抽出フレーム：NRCネットワークパネル）</p> <p>※ インターネット調査のモニターは、一般的に情報感度が高い事が確認されており、金融商品（投資信託）においては保有率や制度認知が郵送調査モニターなどに比べて高めに出る傾向にあります。</p>																																																																																				
調査地域	全国（首都圏、阪神圏、その他地域の3ブロック）																																																																																				
調査対象	50～79歳の男女																																																																																				
サンプル数	<p>総計3,000サンプル</p> <p>* 性・年代・エリアで割付実施 （割付は令和3（2021）年1月1日現在の住民基本台帳に基づく。）</p> <p>* 職業条件による除外は実施していない。</p> <p><性・年代・エリアごとの回収数詳細></p> <table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2"></th> <th>50-54歳</th> <th>55-59歳</th> <th>60-64歳</th> <th>65-69歳</th> <th>70-74歳</th> <th>75-79歳</th> <th>50-79歳計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="4">男性</td> <td>首都圏</td> <td>89</td> <td>75</td> <td>61</td> <td>62</td> <td>72</td> <td>53</td> <td>412</td> </tr> <tr> <td>阪神圏</td> <td>40</td> <td>35</td> <td>30</td> <td>32</td> <td>39</td> <td>29</td> <td>205</td> </tr> <tr> <td>その他地域</td> <td>145</td> <td>137</td> <td>136</td> <td>151</td> <td>163</td> <td>110</td> <td>842</td> </tr> <tr> <td>男性計</td> <td>274</td> <td>247</td> <td>227</td> <td>245</td> <td>274</td> <td>192</td> <td>1,459</td> </tr> <tr> <td rowspan="4">女性</td> <td>首都圏</td> <td>82</td> <td>70</td> <td>59</td> <td>63</td> <td>79</td> <td>65</td> <td>418</td> </tr> <tr> <td>阪神圏</td> <td>41</td> <td>36</td> <td>31</td> <td>35</td> <td>45</td> <td>36</td> <td>224</td> </tr> <tr> <td>その他地域</td> <td>143</td> <td>139</td> <td>141</td> <td>159</td> <td>180</td> <td>137</td> <td>899</td> </tr> <tr> <td>女性計</td> <td>266</td> <td>245</td> <td>231</td> <td>257</td> <td>304</td> <td>238</td> <td>1,541</td> </tr> <tr> <td>TOTAL</td> <td></td> <td>540</td> <td>492</td> <td>458</td> <td>502</td> <td>578</td> <td>430</td> <td>3,000</td> </tr> </tbody> </table> <p>※ エリアの定義とエリア計での回収数は以下の通り。 首都圏：東京、神奈川、埼玉、千葉／計830サンプル 阪神圏：大阪、京都、兵庫、奈良／計429サンプル その他地域：上記以外の都道府県／計1,741サンプル</p>			50-54歳	55-59歳	60-64歳	65-69歳	70-74歳	75-79歳	50-79歳計	男性	首都圏	89	75	61	62	72	53	412	阪神圏	40	35	30	32	39	29	205	その他地域	145	137	136	151	163	110	842	男性計	274	247	227	245	274	192	1,459	女性	首都圏	82	70	59	63	79	65	418	阪神圏	41	36	31	35	45	36	224	その他地域	143	139	141	159	180	137	899	女性計	266	245	231	257	304	238	1,541	TOTAL		540	492	458	502	578	430	3,000
		50-54歳	55-59歳	60-64歳	65-69歳	70-74歳	75-79歳	50-79歳計																																																																													
男性	首都圏	89	75	61	62	72	53	412																																																																													
	阪神圏	40	35	30	32	39	29	205																																																																													
	その他地域	145	137	136	151	163	110	842																																																																													
	男性計	274	247	227	245	274	192	1,459																																																																													
女性	首都圏	82	70	59	63	79	65	418																																																																													
	阪神圏	41	36	31	35	45	36	224																																																																													
	その他地域	143	139	141	159	180	137	899																																																																													
	女性計	266	245	231	257	304	238	1,541																																																																													
TOTAL		540	492	458	502	578	430	3,000																																																																													
調査時期	2022年10月25日（火）～ 10月31日（月）																																																																																				
調査主体	一般社団法人 投資信託協会																																																																																				
調査実施機関	株式会社日本リサーチセンター																																																																																				

<グラフ・表・コメントについて>

- ・ 本報告書の回答割合等の数値(%)は、小数点第2位を四捨五入して表示しているため、数値を足し上げた際に内訳の合計が100%ちょうどにならない場合がある。また、小計においても、内訳を足し上げた数値と誤差が生じる場合がある。
- ・ グラフ、数表上の数値は特に断りがない限りは%値となる。また“n”は各属性の実数(サンプル数)を表しており、n数が少ない属性(30未満)のデータをみる際は、あくまで参考値として捉えるように注意する必要がある。

1. 調査計画の概要

<分析軸の内容>

3～6章ではデモグラフィック軸①(性別・年齢別については、N数・内容等によって②を使用)、7章ではマインド軸・質問間クロスにより分析を実施。

分析軸	カテゴリー	備考
性別・年齢別	1 男性・50-54歳	F1・F2の調査結果から作成
	2 男性・55-59歳	
	3 男性・60-64歳	
	4 男性・65-69歳	
	5 男性・70-74歳	
	6 男性・75-79歳	
	7 女性・50-54歳	
	8 女性・55-59歳	
	9 女性・60-64歳	
	10 女性・65-69歳	
	11 女性・70-74歳	
	12 女性・75-79歳	
金融資産額別	1 100万円未満	F5の調査結果から作成
	2 ～500万円未満	
	3 ～1,000万円未満	
	4 ～2,000万円未満	
	5 ～5,000万円未満	
	6 5,000万円以上	
	7 金融資産なし	
投資経験別	1 現在投資層	Q1で「1.現在投資を行っている」の回答者
	2 過去投資層	Q1で「2.現在は投資を行っていないが、過去に行っていたことがある」の回答者
	3 投資未経験層	Q1で「3.これまで一度も投資を行ったことはない」の回答者
リスク性資産 保有割合	1 高	保有金融資産(F5)に占める預貯金比率(F6)により、 リスク性資産保有割合を以下のように想定して区分 高：預貯金比率 0～29% 中：同 30～69% 低：同 70～99% なし：同 100%(預貯金のみ)
	2 中	
	3 低	
	4 なし(預貯金のみ)	

1. 調査計画の概要

分析軸		カテゴリー	備考
デモグラフィック軸②	プレシニア・シニア別	1 50-59歳(プレシニア)	F2の調査結果から作成
		2 60-79歳(シニア)	
	性別	1 男性	F1の調査結果から作成
		2 女性	
	年代別	1 50-54歳	F2の調査結果から作成
		2 55-59歳	
3 60-64歳			
4 65-69歳			
5 70-74歳			
6 75-79歳			

分析軸・質問		カテゴリー	備考
現在の生活に経済的な安心感がある	1 高安心層	Q18s1『現在の生活に経済的な安心感がある』で「1.とてもあてはまる」「2.ややあてはまる」の回答者	
	2 中間層	Q18s1で「3.どちらともいえない」の回答者	
	3 低安心層	Q18s1で「4.あまりあてはまらない」「5.まったくあてはまらない」の回答者	
公的年金受給状況	1 公的年金を受け取っている	Q10(60歳以上対象)で「1.公的年金を受け取っている」の回答者	
	2 公的年金はまだ受け取っていない	Q10(60歳以上対象)で「2.公的年金はまだ受け取っていない」の回答者	
資産形成重視制度	1 国民年金・厚生年金のみ回答	Q17『老後の生活・資産形成のために、重視していた(している)制度』で「1.国民年金」または「3.厚生年金」のみ回答者	
	2 DB/DC/iDeCoに回答あり	Q17で「8.企業型確定給付年金(DB)」「9.企業型確定拠出年金(DC)」「10.個人型確定拠出年金(iDeCo)」のいずれかの回答者	
	3 NISA/つみたてNISAに回答あり	Q17で「11.NISA」「12.つみたてNISA」のいずれかの回答者	

1. 調査計画の概要

分析軸・質問		カテゴリー	備考
マインド軸 質問 ⑩ お金・生活に 関する価値観	1	現状維持バイアス 強	Q19s1『生活やお金の現状を変えることに不安を感じる』で「1.とてもあてはまる」「2.ややあてはまる」の回答者
	2	現状維持バイアス 弱	Q19s1で「4.あまりあてはまらない」「5.まったくあてはまらない」の回答者
	3	現状バイアス 強	Q19s2『将来よりも今の利益を得たい』で「1.とてもあてはまる」「2.ややあてはまる」の回答者
	4	現状バイアス 弱	Q19s2で「4.あまりあてはまらない」「5.まったくあてはまらない」の回答者
	5	投資・投機の混同 強	Q19s4『投資はギャンブルのように感じる』で「1.とてもあてはまる」「2.ややあてはまる」の回答者
	6	投資・投機の混同 弱	Q19s4で「4.あまりあてはまらない」「5.まったくあてはまらない」の回答者
	7	投資のネガイメージ (投資は損をしそうで怖い) 強	Q19s6『投資は損をしそうで怖い』で「1.とてもあてはまる」「2.ややあてはまる」の回答者
	8	投資のネガイメージ (投資は損をしそうで怖い) 弱	Q19s6で「4.あまりあてはまらない」「5.まったくあてはまらない」の回答者
	9	投資のネガイメージ (投資をすることが面倒に感じる) 強	Q19s7『投資をすることが面倒に感じる』で「1.とてもあてはまる」「2.ややあてはまる」の回答者
	10	投資のネガイメージ (投資をすることが面倒に感じる) 弱	Q19s7で「4.あまりあてはまらない」「5.まったくあてはまらない」の回答者

1. 調査計画の概要

分析軸・質問		カテゴリー	備考
マインド軸 投資上の経験・ 考え	1	想定以上の大きな利益(売却益)を得たことがある	Q7で「1.想定以上の大きな利益(売却益)を得たことがある」の回答者
	2	想定以上の大きな損失が出たことがある	Q7で「2.想定以上の大きな損失が出たことがある」の回答者
	3	投資全体でみて、投資額を上回る利益を得られている	Q7で「3.投資全体でみて、投資額を上回る利益を得られている」の回答者
	4	長期投資実施者	Q7で「6.長期で売買する投資(1年以上)を行ってきた」のみ回答者(「7.頻繁に売買することなく、積立投資を続けてきた」除く)
	5	短期・中長期投資のみ実施者(長期投資実施なし)	Q7で「4.短期で売買する投資(1日～3か月未満)を行ってきた」または「5.中長期で売買する投資(3か月以上)を行ってきた」回答者(「6.長期で売買する投資(1年以上)を行ってきた」「7.頻繁に売買することなく、積立投資を続けてきた」除く)
	6	頻繁に売買することなく、積立投資を続けてきた	Q7で「7.頻繁に売買することなく、積立投資を続けてきた」の回答者
	7	少しでも損失が出ると、くやしい気持ちになる	Q7で「8.少しでも損失が出ると、くやしい気持ちになる」の回答者
	8	多少の損失があっても投資に楽しさ・やりがいを感じる	Q7で「9.多少の損失があっても投資に楽しさ・やりがいを感じる」の回答者
	9	成功・失敗の要因の分析・考察をしたことがある	Q7で「13.成功・失敗の要因の分析・考察をしたことがある」の回答者
	10	投資を余裕資金で行ったり、無理のない投資計画を立てている	Q7で「14.投資を余裕資金で行ったり、無理のない投資計画を立てている」の回答者
自身の投資成果	1	満足層	Q6s1「ご自身の投資についてどの程度満足しているか」で「1.とても満足」「2.満足」の回答者
	2	中間層	Q6s1で「3.どちらともいえない」の回答者
	3	非満足層	Q6s1で「4.満足していない」「5.まったく満足していない」の回答者

2. 調査結果の要約



2. 調査結果の要約

金融資産の状況

- 世帯年収はプレシニア層が高いものの、金融資産評価額はシニア層の方が高い。
- 女性はいずれの年齢層でも、金融資産に占める預貯金の割合が高い。

・世帯年収平均(F4) :

平均額最高値は男性は50代後半、女性は50代前半、最低値は男性・70代後半、女性・70代前半。
男女で最高値・最低値の時期がやや異なる。最低値は、男女ともに最高値の6割半程度まで低下。(P.22)

・世帯の金融資産評価平均(F5) :

男女ともに50代前半が他の年代より低い。
シニア層は、プレシニア層よりも738.7万円高い。(P.23)

・金融資産に占める預貯金の割合(F6) :

各年齢層ともに預貯金が金融資産の6～7割程度を占める。女性が男性より預貯金割合が高い傾向。(P.26)

<世帯年収、世帯の金融資産評価額、豊かな老後の資産 (F4,F5,F6) >【ベース:全数】(P.22,23,26)

		F4		F5		F6	
		世帯年収 平均(万円)		世帯の 金融資産評価額 平均(万円)		金融資産の 預貯金割合 平均(%)	
n=						n=	
TOTAL		(3000)	555.7	2,451.2	(1935)	66.9	
プレシニア (50-59歳)		(1032)	656.3	1,964.1	(659)	68.0	
シニア (60-79歳)		(1968)	503.1	2,702.8	(1276)	66.4	
男性	50-54歳	(274)	650.4	1,689.0	(195)	64.1	
	55-59歳	(247)	720.6	2,478.4	(169)	61.5	
	60-64歳	(227)	635.7	2,652.8	(160)	61.7	
	65-69歳	(245)	562.7	2,760.1	(178)	65.4	
	70-74歳	(274)	482.4	2,689.2	(195)	66.7	
	75-79歳	(192)	466.1	2,942.8	(146)	57.0	
女性	50-54歳	(266)	630.6	1,485.4	(154)	74.6	
	55-59歳	(245)	620.9	2,251.1	(141)	75.2	
	60-64歳	(231)	577.6	2,431.7	(131)	77.9	
	65-69歳	(257)	469.6	2,576.9	(147)	69.4	
	70-74歳	(304)	422.8	2,510.7	(177)	70.2	
	75-79歳	(238)	430.5	3,079.2	(142)	65.3	

2. 調査結果の要約

金融資産の状況

- いずれの年齢層でも、豊かな老後のために最小限必要な1人あたりの資産額は、世帯の保有金融資産額でカバーできていない様子が見られる。
- また、男女とも年齢が低い方が、豊かな老後に必要な資産額と保有金融資産額の差が大きく、貯蓄成果への満足度も低い。

・「豊かな老後」に最小限必要な1人あたり資産総額平均(Q4) :

男性・50代と女性・60代後半が高く、男女ともに70代後半が最も低い。(P.38)
世帯の金融資産評価額(F5-Q4)との差で見ると、各層で現在の世帯金融資産評価額の方が低く、特に男女とも年齢が低い方が両者の差が大きい。50代前半では2~3千万円程度下回る。

・貯蓄成果満足度(Q6・満足計) :

いずれの年齢でも1~2割程度と低いが、男女とも年齢が低い方が貯蓄成果満足度も低い傾向。(P.40)

＜世帯の金融資産評価額と豊かな老後の資産の差、貯蓄 (F5,Q4,Q6②) >【ベース:全数】(P.23,38,40)
＜貯金額割合 (F6)【ベース:金融資産保有者】(P.26) >

n=		F5	Q4	F5-Q4	Q6②貯蓄
		世帯の金融資産評価額平均(万円)	豊かな老後のための資産総額平均(万円)	世帯と豊かな老後の金融資産の差(万円)	これまでの貯蓄成果の満足度満足計(%)
TOTAL	(3000)	2,451.2	3,870.7	-1,419.5	13.7
プレシニア	(1032)	1,964.1	4,089.4	-2,125.2	11.2
シニア	(1968)	2,702.8	3,756.4	-1,053.6	14.9
男性	50-54歳	1,689.0	4,665.3	-2,976.3	10.6
	55-59歳	2,478.4	4,175.0	-1,696.6	13.4
	60-64歳	2,652.8	3,796.7	-1,143.9	13.2
	65-69歳	2,760.1	3,868.7	-1,108.5	12.7
	70-74歳	2,689.2	3,749.3	-1,060.1	16.1
	75-79歳	2,942.8	3,605.0	-662.2	20.8
女性	50-54歳	1,485.4	3,672.5	-2,187.1	9.4
	55-59歳	2,251.1	3,754.9	-1,503.8	11.8
	60-64歳	2,431.7	3,881.1	-1,449.4	10.8
	65-69歳	2,576.9	4,036.4	-1,459.5	12.5
	70-74歳	2,510.7	3,771.3	-1,260.6	16.1
	75-79歳	3,079.2	3,301.8	-222.6	18.1

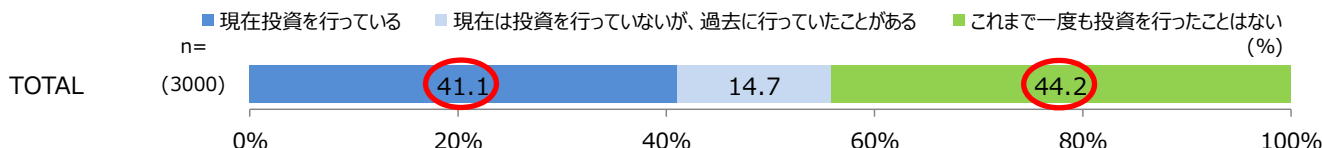
※「満足計(とても+満足)」

2. 調査結果の要約

投資の実態

■ 投資経験の有無では、「現在投資を行っている」「これまで一度も投資を行ったことはない」が4割台で概ね同程度。

＜投資経験の有無（Q1）＞【ベース:全数】(P.27)



■ 現在保有している金融商品は、「株式」が7割で最も高い。次いで「投資信託」(55.1%)、「不動産」(39.0%)、「保険商品」(36.3%)が続く。

- ・ 性・年齢別では、「株式」が男性・70代で8割超、女性・70代では7割超と他層に比べて高い。男性・70代は「不動産」も5割以上と他の層より高い。(P.30)

＜現在保有金融商品（Q2①）＞【ベース:投資実施者】(P.30)

	株式	投資信託 (ETF、 リート含む)	不動産(自 宅用の土地・ 家屋)	保険商品 (生命保 険、年金保 険等の資産 性のあるも の)	債券 (国債・社 債等)	外貨預金	不動産(賃 貸用の土地・ 家屋)	貴金属 (金・ プラチナ等)	FX	暗号資産	クラウドファン ディング	その他	わから ない・ 答えたく ない
TOTAL (1233)	71.6	55.1	39.0	36.3	19.2	18.5	10.5	10.1	4.8	4.2	1.3	1.8	2.3
男性													
50-54歳 (130)	66.9	55.4	32.3	28.5	14.6	22.3	9.2	6.9	10.0	12.3	2.3	3.1	2.3
55-59歳 (111)	76.6	54.1	39.6	37.8	18.0	25.2	9.0	12.6	13.5	9.9	2.7	1.8	3.6
60-64歳 (116)	67.2	60.3	37.1	32.8	19.8	21.6	10.3	6.0	4.3	8.6	2.6	1.7	2.6
65-69歳 (126)	78.6	54.8	39.7	34.1	18.3	18.3	11.1	9.5	2.4	4.8	0.0	0.8	1.6
70-74歳 (127)	88.2	40.9	57.5	40.2	18.1	14.2	15.0	11.8	5.5	2.4	1.6	3.1	1.6
75-79歳 (111)	81.1	47.7	66.7	35.1	18.0	10.8	18.9	13.5	2.7	0.0	0.9	1.8	0.0
女性													
50-54歳 (77)	51.9	61.0	16.9	37.7	14.3	23.4	2.6	10.4	0.0	2.6	2.6	1.3	2.6
55-59歳 (75)	65.3	62.7	25.3	40.0	28.0	24.0	5.3	10.7	6.7	2.7	0.0	1.3	4.0
60-64歳 (73)	61.6	60.3	28.8	37.0	24.7	11.0	2.7	13.7	1.4	1.4	2.7	1.4	1.4
65-69歳 (95)	61.1	61.1	32.6	44.2	27.4	15.8	10.5	8.4	3.2	0.0	0.0	1.1	4.2
70-74歳 (103)	70.9	63.1	34.0	38.8	13.6	17.5	9.7	14.6	1.9	1.0	0.0	1.9	0.0
75-79歳 (89)	75.3	47.2	40.4	32.6	21.3	18.0	14.6	4.5	2.2	0.0	0.0	1.1	4.5

■ 過去に保有していた金融商品は、「債券」「投資信託」「株式」「外貨預金」が18%台で同程度。

＜過去保有金融商品（Q2②）＞【ベース:投資経験者】(P.31)

	債券 (国債・社 債等)	投資信託 (ETF、 リート含む)	株式	外貨預金	保険商品 (生命保 険、年金保 険等の資産 性のあるも の)	貴金属 (金・ プラチナ等)	不動産(自 宅用の土地・ 家屋)	FX	不動産(賃 貸用の土地・ 家屋)	暗号資産	クラウドファン ディング	その他	わから ない・ 答えたく ない
TOTAL (1675)	18.9	18.7	18.6	18.0	9.5	6.0	4.7	4.4	3.3	1.1	1.0	0.4	3.5
男性													
50-54歳 (152)	10.5	10.5	11.2	15.1	3.9	4.6	3.3	4.6	1.3	0.7	0.0	0.7	2.6
55-59歳 (146)	12.3	13.7	15.8	18.5	4.8	3.4	4.1	6.8	1.4	2.1	2.1	0.7	5.5
60-64歳 (147)	12.9	17.7	21.1	17.7	15.6	10.9	6.1	6.1	4.1	2.0	2.0	0.0	5.4
65-69歳 (162)	17.3	16.7	14.8	16.0	9.3	7.4	3.7	8.6	1.2	0.6	0.6	0.0	1.9
70-74歳 (173)	21.4	20.8	19.1	16.8	9.2	8.7	6.4	5.2	7.5	1.7	1.2	1.7	1.2
75-79歳 (147)	21.1	28.6	24.5	18.4	13.6	8.2	6.1	1.4	5.4	0.0	0.0	0.7	0.0
女性													
50-54歳 (94)	10.6	9.6	10.6	13.8	0.0	2.1	1.1	4.3	3.2	0.0	0.0	0.0	6.4
55-59歳 (102)	16.7	11.8	9.8	15.7	7.8	4.9	4.9	2.9	1.0	2.0	1.0	0.0	7.8
60-64歳 (105)	21.0	21.0	18.1	21.9	8.6	7.6	5.7	4.8	4.8	1.9	1.0	0.0	2.9
65-69歳 (134)	24.6	20.9	22.4	17.2	14.2	6.0	3.0	2.2	3.7	2.2	1.5	0.0	3.7
70-74歳 (178)	29.8	24.2	25.8	20.2	13.5	2.8	4.5	3.4	1.7	0.0	1.1	0.0	2.2
75-79歳 (135)	23.7	23.7	24.4	23.7	8.9	3.7	5.9	0.7	3.7	0.7	0.7	0.0	5.9

2. 調査結果の要約

投資に関する経験・意識

■ 投資の経験や考えでは、女性は年齢が高いほど、投資でのネガティブな経験率が高い傾向。また、男女ともに年齢が高い層は長期投資、低い層は積立投資の実施率が高め。

- ・女性は、年齢が上がるほど「想定以上の大きな損失が出たことがある」「商品の内容をよく理解しないまま購入したことがある」「強引に商品を勧められ断れずに購入したことがある」が増加傾向。
- ・男性は65歳以上、女性は60歳以上で「長期で売買する投資（1年以上）を行ってきた」が5割～6割程度を占める。（P.34）

＜これまでの投資の経験や考え（Q7）＞【ベース:投資実施者/投資経験者】(P.34)

	n=	運用について			これまでの投資スタイルについて							商品購入について			計画・分析について			投資情報について			その他	特にない
		想定以上の大きな損失が出たことがある	投資全体の利益を得て、投資額を上回る利益を得たことがある	却利益を得たことがある	長期（1年以上）で売買する投資を行ってきた	少くも1年以上の損失が出たことがある	中長期（3か月以上）で売買する投資を行ってきた	頻りに積立投資を続けることになった	短期（3か月未満）で売買する投資を行ってきた	多量な損失があっても投資に楽しさややりがいを感じる	商品のまま購入したことがある	強引に購入したことがある	商品の説明内容と実際が異なる	余剰資金で行ったが無理のない	成功・失敗の要因の分析をしたことがある	投資が苦しくなかった	ネット等での情報が多すぎた	年齢で投資の情報が集まる	投資に関する相談先がない			
TOTAL	(1675)	39.0	26.1	19.9	47.2	18.0	14.1	12.9	10.5	10.3	18.2	5.0	3.7	28.7	9.1	2.6	16.4	8.7	5.5	0.7	14.5	
男性	50-54歳 (152)	36.2	26.3	21.7	34.2	15.1	17.1	19.7	11.8	12.5	16.4	1.3	5.3	23.7	13.2	2.6	15.1	4.6	8.6	0.0	16.4	
	55-59歳 (146)	39.7	27.4	26.7	41.1	15.8	20.5	15.8	14.4	11.6	12.3	1.4	0.7	24.7	16.4	2.7	17.1	6.2	5.5	0.0	16.4	
	60-64歳 (147)	34.7	27.2	19.7	40.8	18.4	13.6	11.6	13.6	10.2	12.2	1.4	2.7	22.4	12.2	5.4	12.2	4.1	5.4	0.0	21.8	
	65-69歳 (162)	42.0	23.5	18.5	50.6	11.1	16.0	11.7	11.1	8.6	9.9	3.1	4.3	25.9	13.0	1.9	16.7	5.6	4.9	0.6	13.6	
	70-74歳 (173)	45.1	30.6	25.4	54.9	16.2	17.9	12.7	12.1	13.3	22.0	6.4	4.0	32.4	13.3	6.9	16.8	9.8	3.5	1.2	10.4	
	75-79歳 (147)	36.1	30.6	28.6	57.1	17.0	17.0	10.2	9.5	16.3	17.0	3.4	1.4	41.5	8.8	1.4	17.7	13.6	4.1	1.4	12.2	
女性	50-54歳 (94)	23.4	27.7	13.8	35.1	21.3	10.6	14.9	11.7	5.3	12.8	5.3	3.2	25.5	3.2	0.0	13.8	6.4	7.4	0.0	18.1	
	55-59歳 (102)	23.5	19.6	8.8	37.3	15.7	11.8	16.7	7.8	3.9	14.7	4.9	2.0	19.6	2.0	1.0	13.7	5.9	8.8	1.0	21.6	
	60-64歳 (105)	39.0	19.0	20.0	54.3	25.7	9.5	15.2	9.5	7.6	25.7	5.7	2.9	30.5	6.7	1.0	21.9	7.6	5.7	0.0	14.3	
	65-69歳 (134)	38.1	30.6	15.7	47.0	20.9	12.7	9.0	11.2	6.7	23.9	5.2	6.0	29.1	6.0	2.2	20.1	9.7	8.2	0.0	10.4	
	70-74歳 (178)	44.9	24.2	14.0	48.9	21.9	9.6	10.7	6.2	10.1	19.7	11.2	5.1	32.6	5.1	0.6	14.0	12.4	3.4	2.2	12.4	
	75-79歳 (135)	53.3	23.0	20.0	58.5	20.7	9.6	8.9	6.7	11.9	32.6	10.4	5.9	32.6	3.0	3.0	18.5	16.3	3.0	0.7	10.4	

■ リスク分散の現在実施率は、「資産の分散」「長期保有」は半数程度ある一方、「時間の分散」（積立投資）は2割半にとどまる。

＜リスク分散の実施状況（Q8）＞【ベース:投資実施者/投資経験者】(P.35)

1) 資産の分散

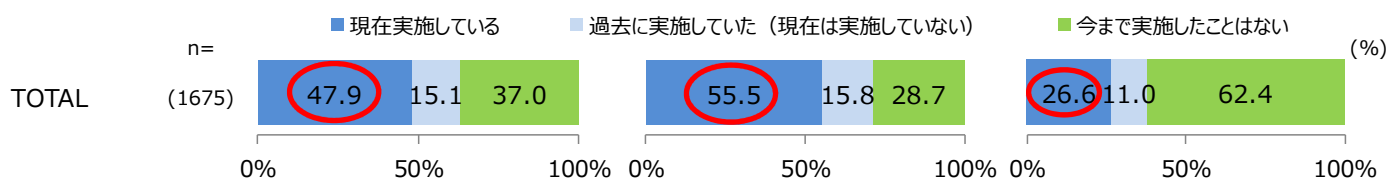
投資対象の種類・地域を分散

2) 長期保有

数年～10年単位での長期保有

3) 時間の分散

複数回に分ける、積立投資等



2. 調査結果の要約

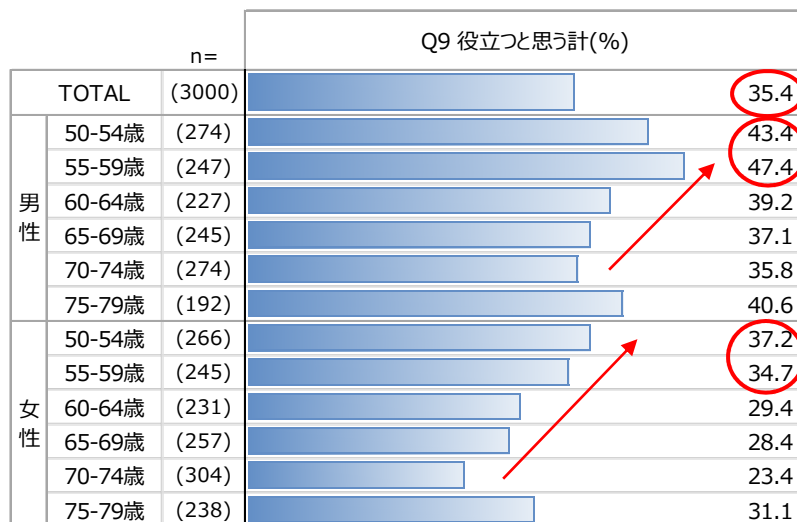
投資・資産形成に対する意識

■「投資」が資産形成に役に立つと思う人は3割半を占め、年齢が下がるほど増加傾向にある。

※役に立つと思う計（とても+やや役に立つと思うの計）

- ・男性・50代では役に立つと思う計が、43.4~47.4%と他の年齢より高い。
- ・女性・50代では役に立つと思う計が、34.7~37.2%で、女性の中では他の年齢より高い。(P.36)

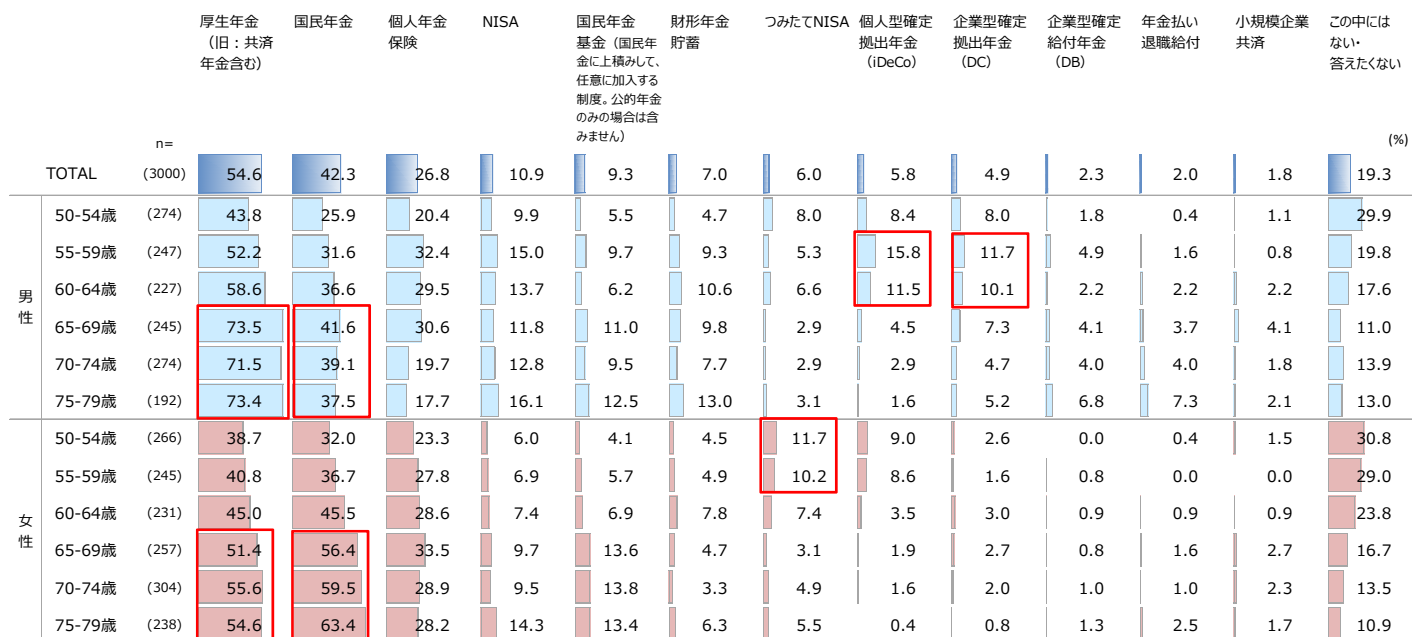
<資産形成への投資の役立ち度 (Q9) >【ベース:全数】(P.36)



■老後の資産形成で重視する制度は、年金受給者の多くなる65歳以上では公的年金制度の割合が高い一方、それ以下の年齢層ではiDeCoやDC、積立投資制度を重視している様子。

- ・男女とも65歳以上で「厚生年金(旧：共済年金含む)」「国民年金」の重視度が高い。
- ・男性・55~64歳は「iDeCo」「企業型確定拠出年金」、女性・50代は「つみたてNISA」が1割台と他の年齢より高い。(P.43)

<老後の資産形成で重視する制度 (Q17) >【ベース:全数】(P.43)



2. 調査結果の要約

老後生活への意識

- 生活・お金への安心・期待等では、年齢が低いほど「経済的な安心感」「これからの生活に楽しみ・期待感がある」が低く、「これからの生活に不安感がある」が高い傾向。

＜生活・お金に関する安心感・不安（Q18）＞【ベース:全数】(P.53～56)

※「あてはまる計(とても+ややあてはまる)」

n=		Q18①	Q18②	Q18③	Q18④
		現在の生活に 経済的な安心感がある	投資判断・金融資産の管 理に自信がある	これからの生活に 楽しみ・期待感がある	これからの生活に 不安感がある
TOTAL	(3000)	25.7	9.6	21.7	50.0
男性	50-54歳 (274)	14.6	11.3	16.8	55.8
	55-59歳 (247)	20.2	13.8	20.6	57.9
	60-64歳 (227)	21.6	13.7	15.4	48.0
	65-69歳 (245)	27.3	9.4	24.9	49.0
	70-74歳 (274)	35.4	15.7	27.7	40.5
	75-79歳 (192)	35.4	13.0	27.1	33.3
女性	50-54歳 (266)	15.4	4.5	11.3	61.3
	55-59歳 (245)	24.9	5.3	18.4	59.6
	60-64歳 (231)	22.1	3.9	21.6	55.4
	65-69歳 (257)	25.7	8.6	24.5	54.9
	70-74歳 (304)	32.2	7.6	25.0	41.4
	75-79歳 (238)	34.5	9.2	27.7	40.8

- 生活・お金に関する価値観では、女性は男性より「現状を変えることに不安を感じる」(現状維持バイアス)や「投資はギャンブルのように感じる」「損をしそうで怖い」「面倒に感じる」等のネガティブイメージが高い傾向。

＜生活・お金に関する価値観（Q19）＞【ベース:全数】(P.57～64)

※「あてはまる計(とても+ややあてはまる)」

n=		Q19①	Q19②	Q19③	Q19④	Q19⑤	Q19⑥	Q19⑦	Q19⑧
		生活やお金の 現状を変える ことに不安を 感じる	将来よりも 今の利益を 得たい	お金の話を 他人にする ことは、 はばかれる	投資は ギャンブルの ように感じる	お金が増える のは嬉しい	投資は損を しそうで怖い	投資することが 面倒に感じる	お金は簡単に 増えることはない
TOTAL	(3000)	51.1	26.5	43.7	56.8	79.8	62.4	50.3	80.9
男性	50-54歳 (274)	44.9	24.8	30.3	44.2	70.1	50.7	35.8	63.5
	55-59歳 (247)	55.9	23.9	34.0	49.8	77.7	55.9	37.7	74.1
	60-64歳 (227)	43.6	22.5	32.6	45.8	68.7	48.9	37.9	74.4
	65-69歳 (245)	52.2	29.4	39.6	57.6	80.0	56.7	43.7	79.2
	70-74歳 (274)	47.4	29.6	46.7	56.9	76.6	58.0	40.1	81.8
	75-79歳 (192)	37.0	29.2	43.2	46.4	77.6	44.3	35.4	82.3
女性	50-54歳 (266)	60.2	20.7	47.4	59.8	80.5	72.6	59.8	80.1
	55-59歳 (245)	60.0	22.0	48.6	60.8	85.7	73.5	66.1	85.3
	60-64歳 (231)	58.9	24.7	48.5	64.1	83.5	72.3	60.6	83.1
	65-69歳 (257)	58.0	26.5	47.1	61.5	83.7	71.6	59.9	87.9
	70-74歳 (304)	46.4	27.3	51.6	68.8	84.9	72.7	66.4	90.8
	75-79歳 (238)	46.2	38.2	53.8	61.3	87.4	65.5	55.0	88.2

2. 調査結果の要約

老後生活への意識（プレシニア層・シニア層全体での傾向）

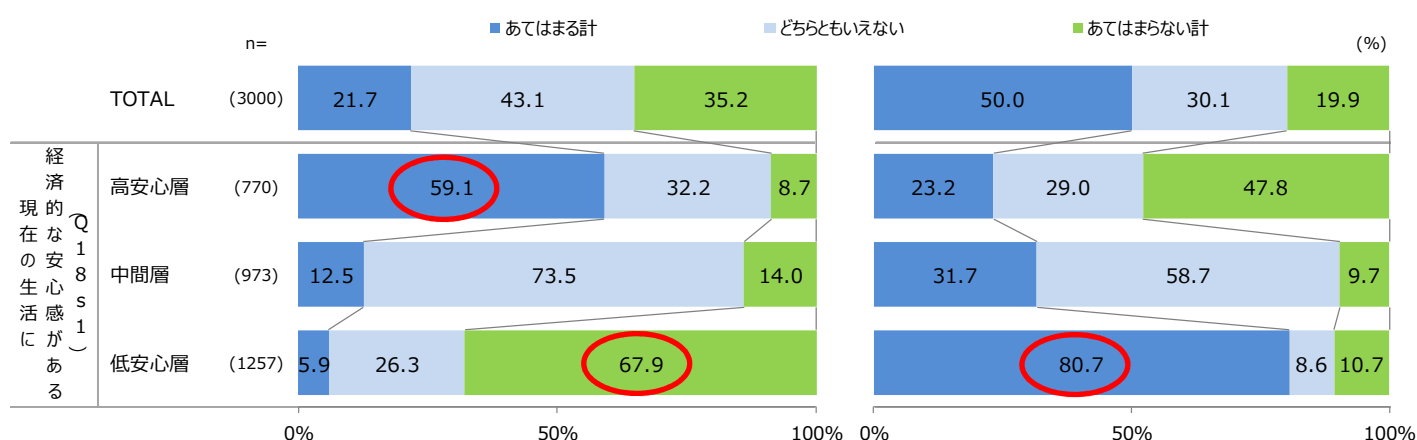
■プレシニア・シニア層全体では、経済的な安心感が、今後の生活への楽しみ・期待感に繋がっている様子が伺える。

- ・プレシニア・シニア層全体では、経済的な安心感が高い層で「これからの生活に楽しみ・期待感がある」で「あてはまる計」が約6割と高い。一方で、経済的な安心感が低い層では「あてはまらない計」が約7割と高い。
- ・また、経済的な安心感が低い層では「これからの生活に不安感がある」で「あてはまる計」は8割にのぼる。(P.70)

<経済的安心感と今後への期待・不安 (Q18s3・s4) >【ベース:全数】(P.70)

【これからの生活に楽しみ・期待感がある(Q18s3)】

【これからの生活に不安感がある(Q18s4)】

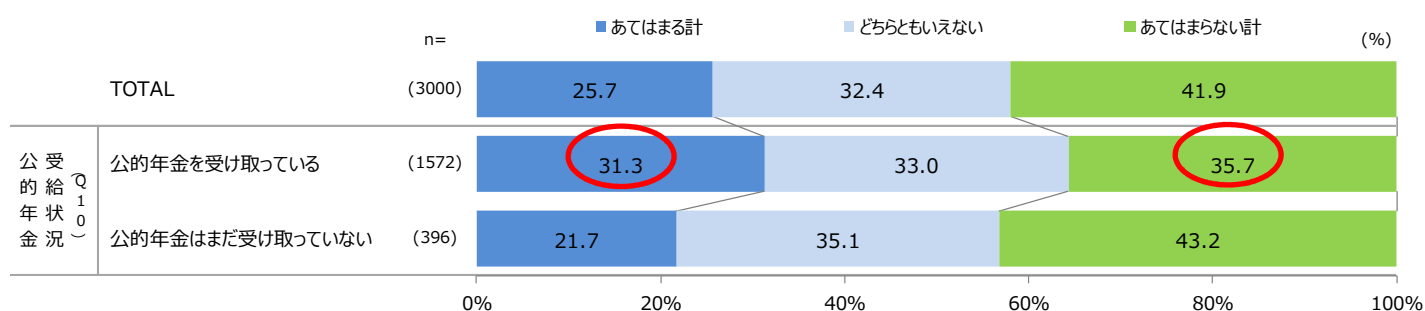


■公的年金受給者で、現在の生活への経済的安心感がある人は約3割。安心感がない割合をやや下回り、安心感をカバーできていない様子がみとれる。

- ・公的年金の受給層では「現在の生活に経済的安心感がある」という回答は「あてはまる計」(31.3%)を「あてはまらない計」(35.7%)が上回る。
- ・ただし、公的年金の受給層は未受給層より「あてはまる計」が1割程度、安心感が高い。(P.71)

<現在の生活に経済的安心感がある (Q18s1) >【ベース:全数】(P.71)

※60歳以上対象



※【これからの生活に楽しみ・期待感がある (Q18s3)】【これからの生活に不安感がある(Q18s4)】:

『高安心層』…とても/ややあてはまる 『中間層』…どちらともいえない 『低安心層』…あまり/まったくあてはまらない
『あてはまる計』…とても/ややあてはまる 『あてはまらない計』…あまり/まったくあてはまらない

※【現在の生活に経済的安心感がある(Q18s1)】:

『あてはまる計』…とても/ややあてはまる 『あてはまらない計』…あまり/まったくあてはまらない

2. 調査結果の要約

お金・生活の価値観と投資経験との関係

- 投資で利益を得たことがある、投資に楽しさ・やりがいを感じている層は、現状維持バイアス、現状バイアス、投資へのネガティブイメージが低い傾向。
- 一方、投資で想定以上の損失が出たことがある層、少しでも損失が出るとくやしい気持ちになる層は、「投資をギャンブルのように感じる」が高い。また、現状維持バイアス、現状バイアス、投資へのネガティブイメージが高い傾向。
- 投資スタイルでは、「頻繁に売買することなく、積立投資を続けてきた」人は、将来より今の利益を得たいという『現状バイアス』が他層に比べて低い。

<投資上の経験・考えとお金に関するマインド・価値観 (Q19×Q7) > 【ベース:全数】(P.73)

		【お金・生活に関する価値観(Q19)】 *それぞれ『強』の割合(とても+ややあてはまるの計)					(%)
【自身のこれまでの投資での経験や考え(Q7)】 (現在・過去投資層/n=100以上の項目から一部抜粋)	n=	現状維持バイアス	現状バイアス	投資・投機の混同	投資のネガイメージ	投資のネガイメージ	
		生活やお金の現状を 変えることに不安を感じる	将来より今の利益を得たい	投資はギャンブル のように感じる	投資は損をしそうで怖い	投資することが面倒に感じる	
TOTAL	(3000)	51.1	26.5	56.8	62.4	50.3	
運用 での 経験	想定以上の大きな利益 (売却益) を得たことがある	40.2	25.2	35.4	33.3	20.4	
	想定以上の大きな損失が出たことがある	51.5	34.2	53.3	57.9	36.8	
	投資全体でみて、投資額を上回る利益を得られている	36.8	22.2	30.9	32.0	23.1	
投資 ス タ イ ル	長期投資実施者	46.0	27.2	44.3	46.3	32.1	
	短期・中長期投資のみ実施者 (長期投資実施なし)	51.5	36.2	42.3	48.5	29.4	
	頻繁に売買することなく、積立投資を続けてきた	52.3	21.3	37.0	44.9	32.4	
マ イ ン ド	少しでも損失が出ると、くやしい気持ちになる	64.2	36.1	64.2	72.2	48.7	
	多少の損失があっても投資に楽しさ・やりがいを感じる	37.8	30.2	32.6	21.5	13.4	
計 画 ・ 分 析	成功・失敗の要因の分析・考察をしたことがある	46.1	27.0	38.2	42.1	24.3	
	投資を余裕資金で行ったり、無理のない投資計画を立てている	40.1	24.7	36.6	39.3	25.6	

※赤字：ポジティブな項目 / 青字：ネガティブな項目

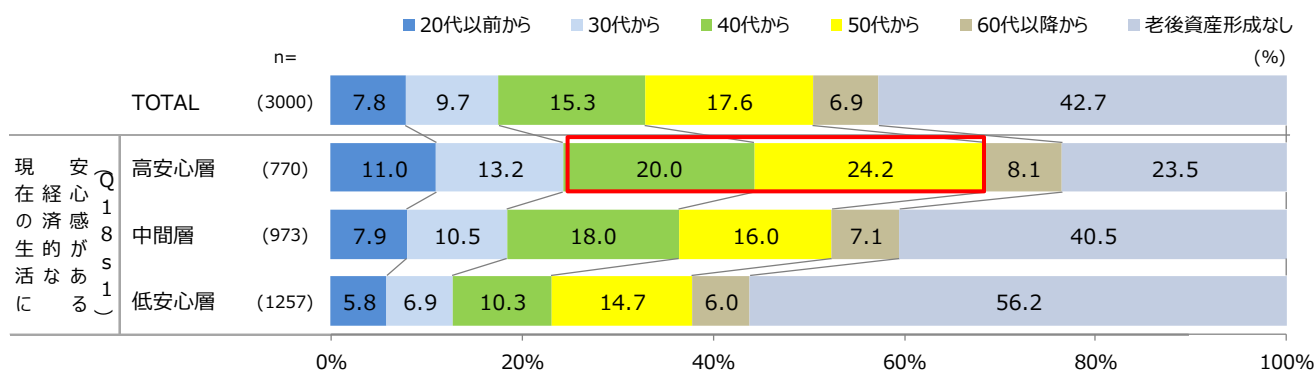
2. 調査結果の要約

資産形成を始めた年齢・始めるべき年齢

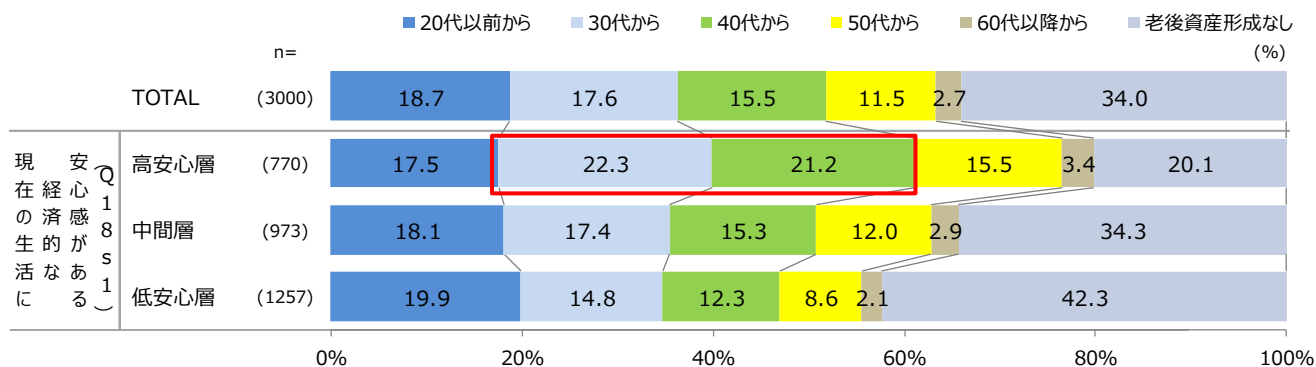
■現在の生活の経済的安心感が高い層は、老後資産形成の開始年代が他層よりも早く、40代～50代に資産運用を開始した割合が全体に比べて高い。

■安心度が高い層では、開始すべき年代は30代～40代から老後の資産形成を開始すべきという人が4割強を占め、実際の開始年代より早めとなっている。

＜老後資産形成の開始年代（Q16s1）＞【ベース:全数】(P.76)



＜老後資産形成を開始すべき年代（Q16s2）＞【ベース:全数】(P.76)



※【老後資産形成開始年代の実際との差異(Q16s1・s2より算出)】:

- ・実際より早く開始すべきだった…実際の開始年代(Q16s1)より、開始すべき年代(Q16s2)が若い回答者
- ・実施より遅くてもよかった…実際の開始年代(Q16s1)より、開始すべき年代(Q16s2)が高い回答者
- ・資産形成していながやるべきだった…実際の開始年代(Q16s1)では「老後の資産形成なし」だが、開始すべき年代(Q16s2)でいずれかの年代を選択した回答者
- ・老後資産形成なし…「老後のための資産形成は特にしてこなかった／特にする必要はない」の回答者

3. 回答者のプロフィール

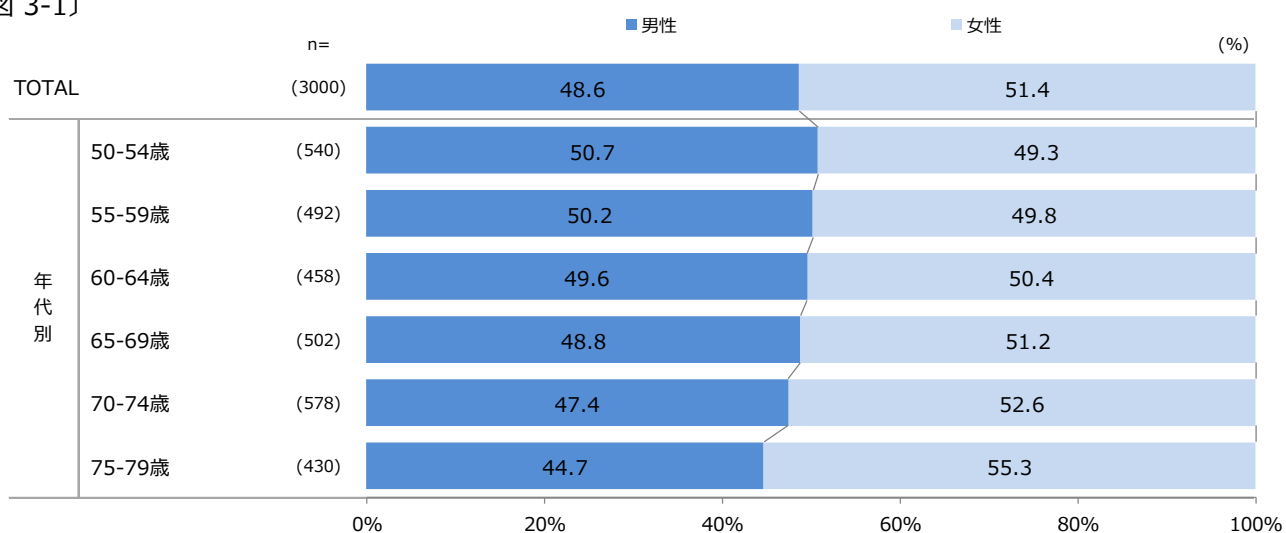


3. 回答者のプロフィール

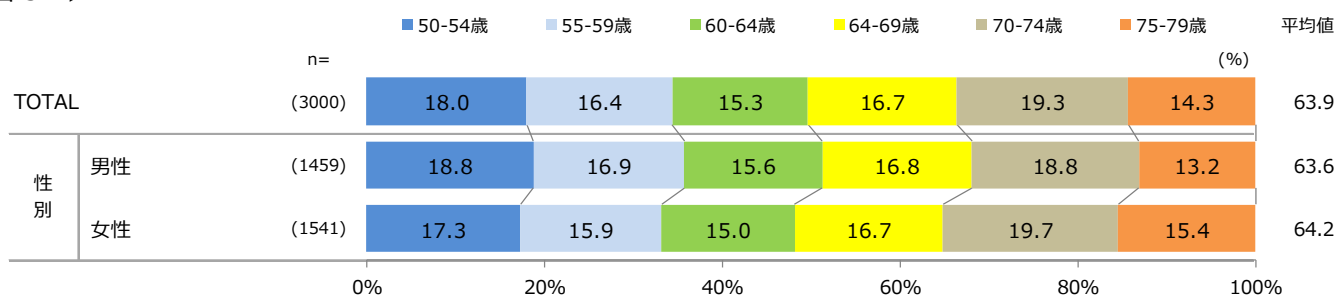
(1) 性別・年代〔F1:単数回答・F2:自由記述回答〕

- 回答者の性別は「男性」が48.6%、「女性」が51.4%。年齢が上がるにつれて「女性」の割合が高くなる。〔図3-1〕
- 年齢の構成は、「70-74歳」(19.3%)、「50-54歳」(18.0%)、「60-64歳」(16.7%)の順に高い。平均年齢は全体では63.9歳（男性は63.6歳、女性は64.2歳）。〔図3-2〕

〔図 3-1〕



〔図 3-2〕

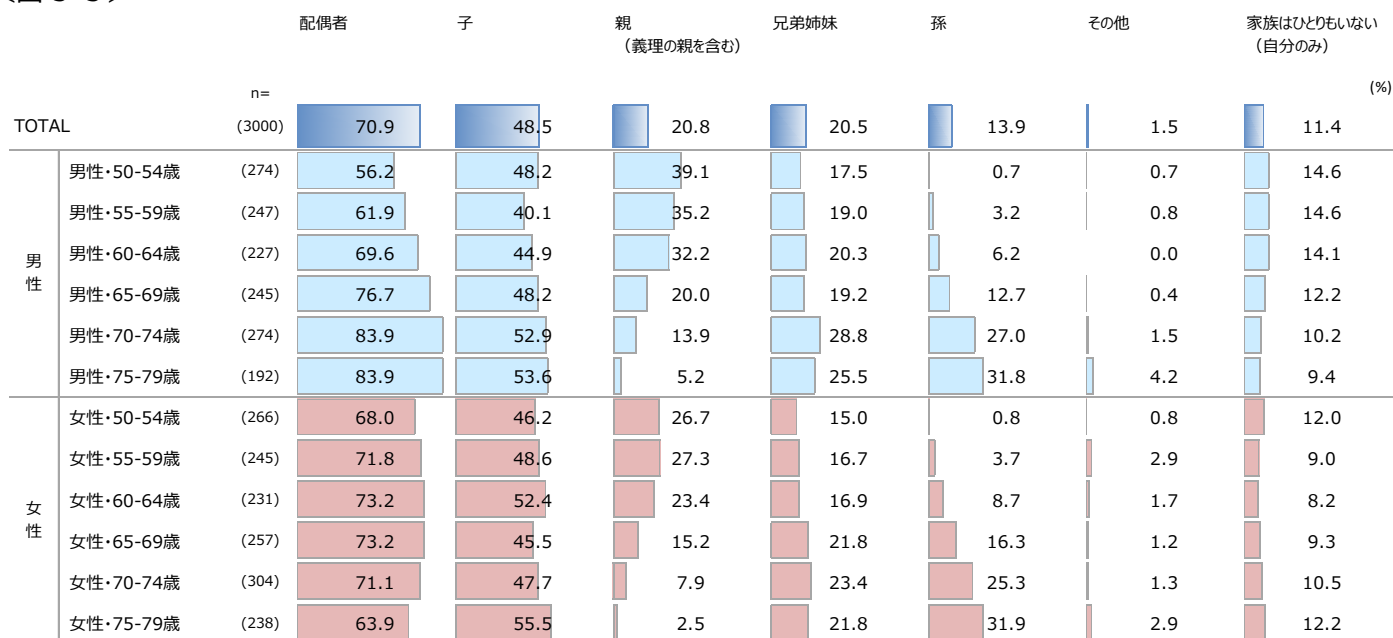


3. 回答者のプロフィール

(2) 家族構成〔F3:重複回答〕

- 回答者の家族構成は、「配偶者」が7割、「子」が5割弱、「親」「兄弟姉妹」が2割と「家族はひとりもない（自分のみ）」が1割。
- 性・年齢別では、年齢が高いほど「孫」が増加する。男性・70代、女性・60代後半以降で「兄弟姉妹」が他の年齢層に比べてやや高い。〔図3-3〕

〔図 3-3〕

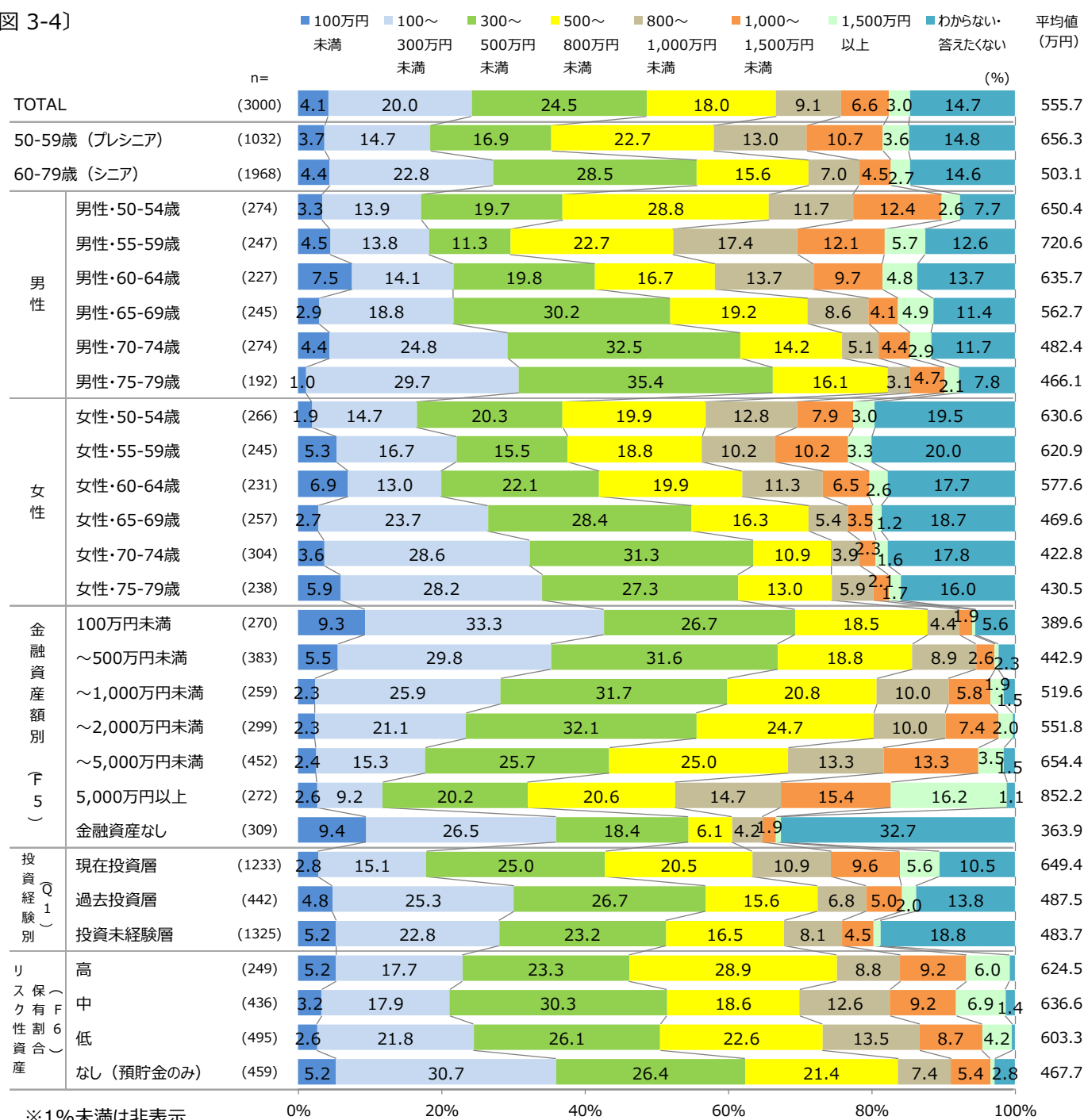


3. 回答者のプロフィール

(3) 世帯年収〔F4:単数回答〕

- 回答者の世帯年収の平均値は「555.7万円」。
- 性・年齢別では、各年齢層ともに男性の方が女性より平均値が高い。男性・55-59歳が平均720.6万円、女性・50-54歳が平均630.6万円以最も高く、それ以降は年齢が上がるにつれて減少傾向。
- 金融資産額別では、金融資産額が高いほど平均値が増加し、「5,000万円以上」では「852.2万円」。投資経験別では、現在投資層の平均値が他層より高い。〔図3-4〕

〔図 3-4〕



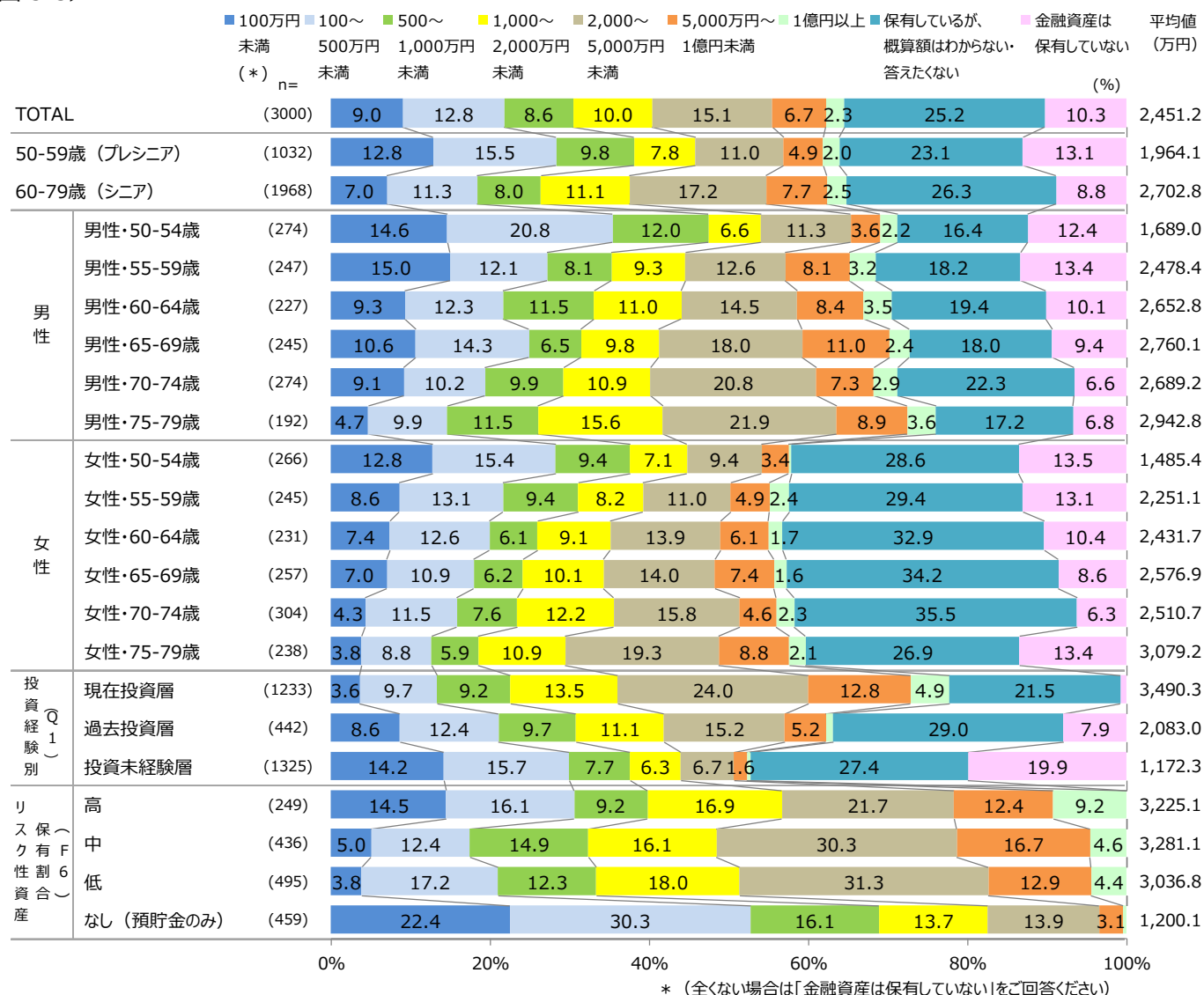
※1%未満は非表示

3. 回答者のプロフィール

(4) 世帯の金融資産評価額〔F5:単数回答〕

- 回答者の世帯の金融資産評価額は、平均値は「2,451.2万円」。
- 性・年齢別では、男女ともに年齢が上がるほど金融資産評価額が増加傾向にあるが、女性・75-79歳では、「金融資産は保有していない」が1割を超える。
- 投資経験別では、現在投資層の平均値は「3,490.3万円」と他層より高い。〔図3-5〕

〔図 3-5〕



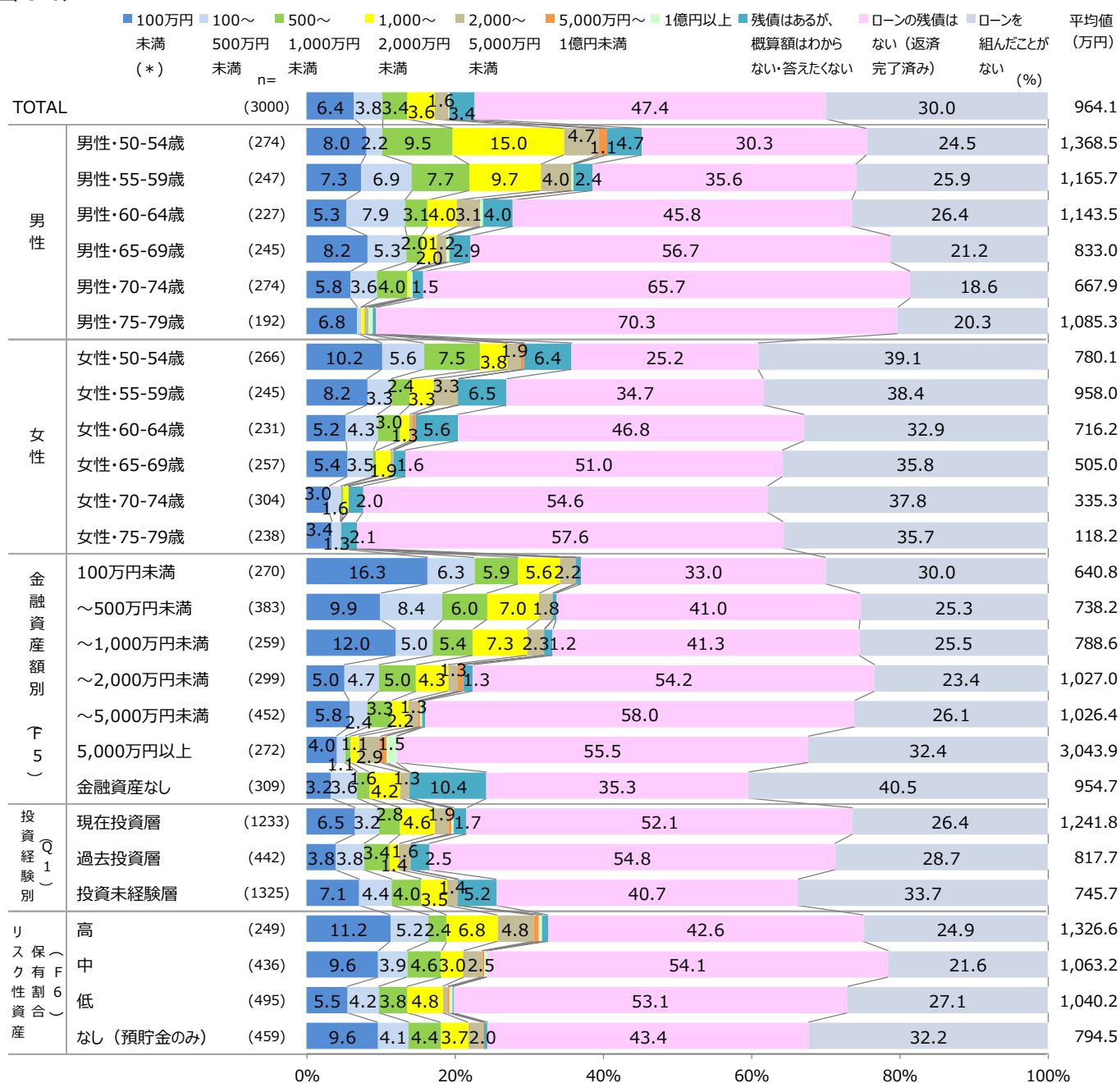
※1%未満は非表示

3. 回答者のプロフィール

(5) ローン残債〔F7:単数回答〕

- 回答者のローン残債の平均値は「964.1万円」。
- 男性・60代前半以下は、平均値が1,100万円以上と他の層より高い。
年齢が上がるほど「ローンの残債はない（返済完了済み）」が増加。
- 金融資産額別では、金融資産額が高いほどローン残債の平均値が高くなる。〔図3-6〕

〔図 3-6〕



*（全くない場合は「ローンの残債はない（返済完了済み）」または「ローンを組んだことがない」を回答ください）

※1%未満は非表示

4. 資産形成における投資の活用状況

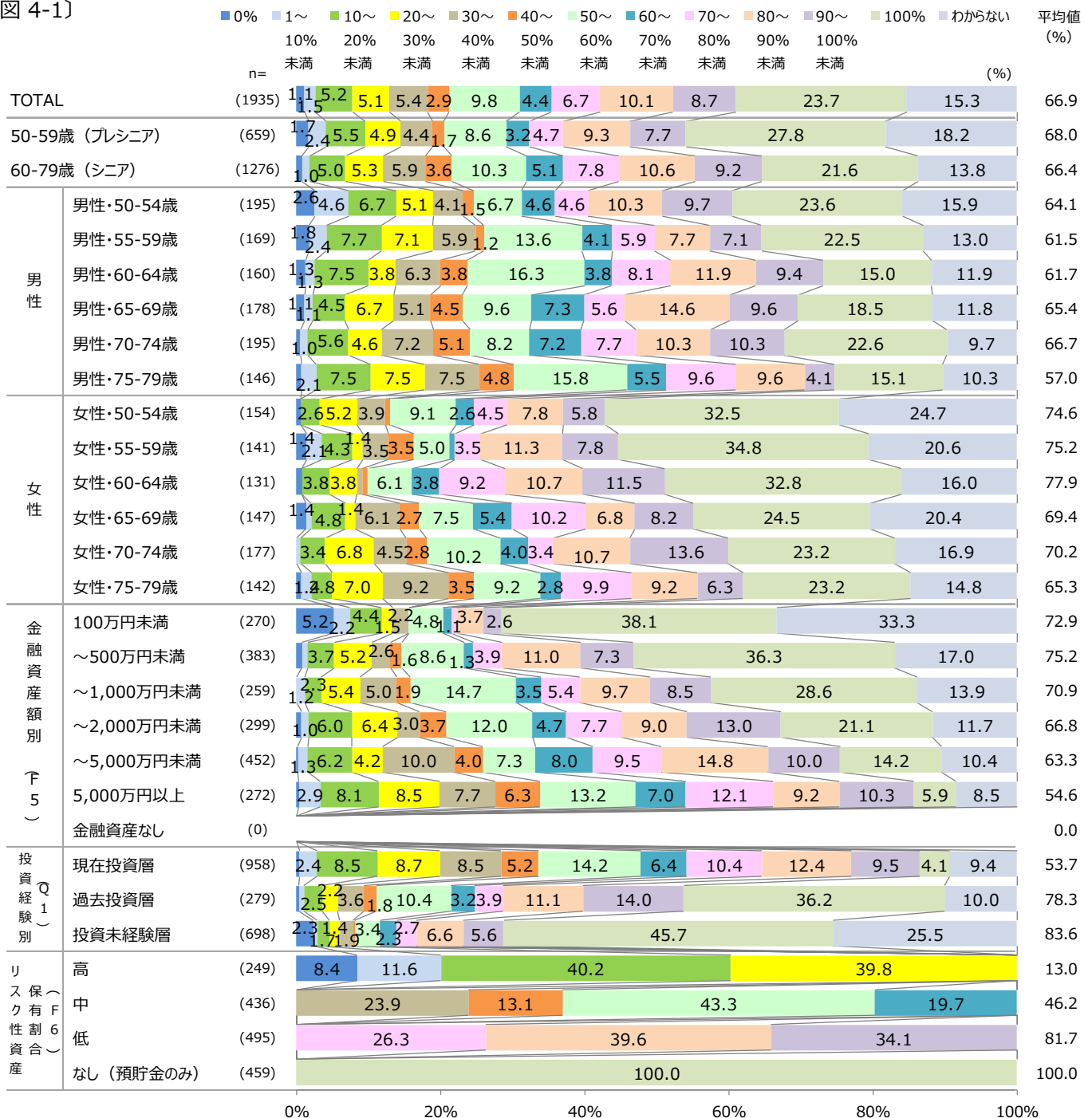


4. 資産形成における投資の活用状況

(1) 金融資産のうち、預貯金の割合〔F6:数値回答〕 (金融資産保有額回答者)

- 金融資産のうち、預貯金が占める割合は平均で66.9%。
- 性・年齢別では、各年代ともに女性は男性よりも預貯金の割合が高い傾向。
女性・60代前半以下では、預貯金の割合が7割半と他の層に比べて高い。
- 金融資産額別では、金融資産額が高いほど、預貯金の割合は減少傾向。〔図4-1〕

〔図 4-1〕



※1%未満は非表示

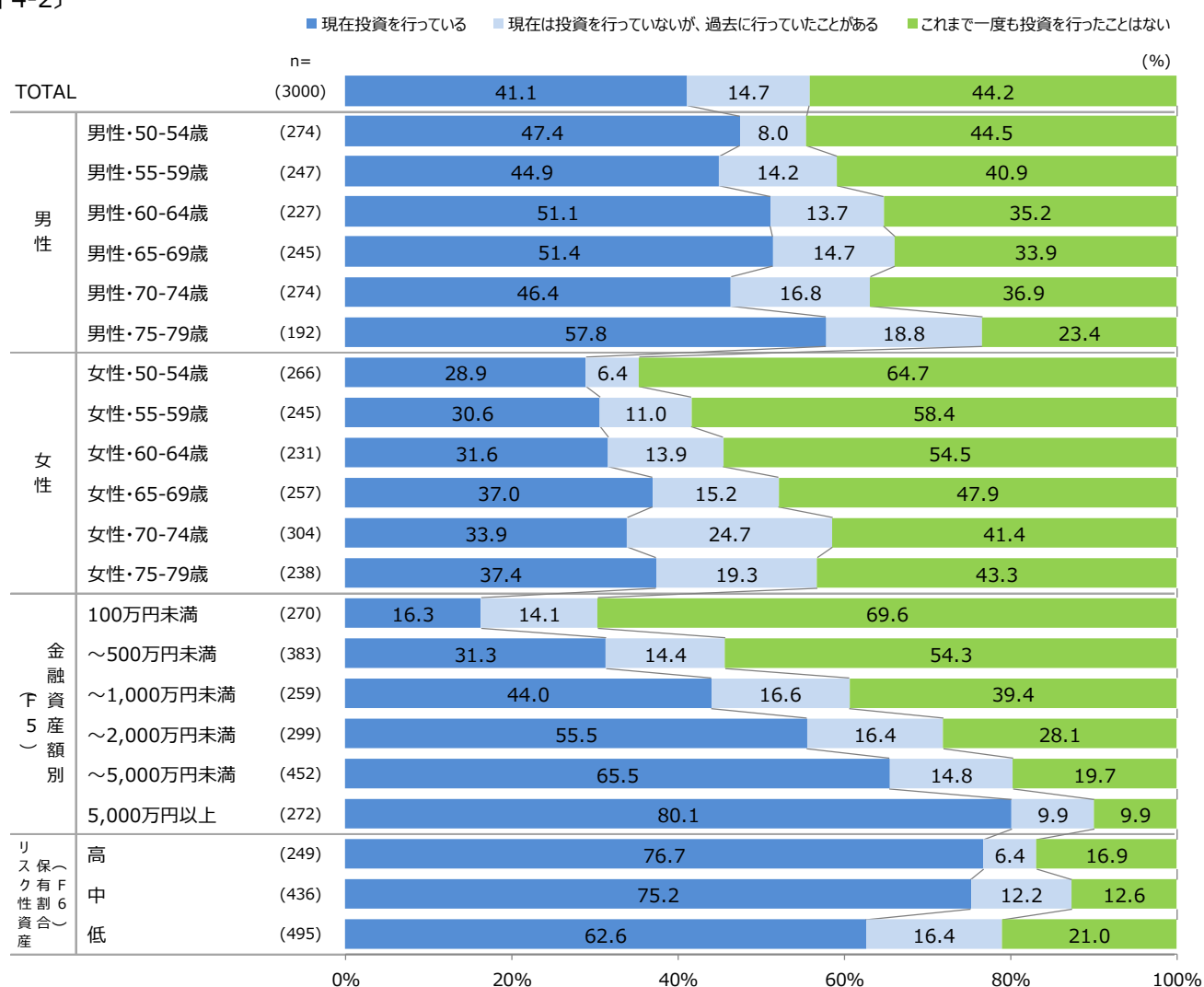
* (全くない場合は「ローンの残債はない (返済完了済み)」または「ローンを組んだことがない」を回答ください)

4. 資産形成における投資の活用状況

(2) 投資経験の有無〔Q1:単数回答〕

- 投資経験の有無では、「現在投資を行っている」が41.1%、「これまで一度も投資を行ったことはない」が44.2%と概ね同程度の割合となっている。
- 性・年齢別では、年齢が上がるほど「現在は投資を行っていないが、過去に行っていたことがある」が増加傾向にある。
- 金融資産額別では、金融資産額が高いほど「現在投資を行っている」が増加し、「5,000万円以上」では8割を占める。〔図4-2〕

〔図 4-2〕



※1%未満は非表示

4. 資産形成における投資の活用状況

(3) 投資・貯蓄の目的〔Q5:重複回答〕（投資実施者）

①投資の目的

- 投資の目的は「年金では生活費が不足するため」(51.2%)、「余裕資金を作っておくため」(44.4%)、「預貯金の利率が低いため」(36.5%)、「将来の医療・介護費用に備えて」(31.2%)の順に高い。
- 性・年齢別では、女性・55-59歳と60-64歳で「年金では生活費が不足するため」が6割半と高い。
- 金融資産額別では、金融資産額が高いほど、経済的な安定のためにに関する項目が増加。〔図4-3〕

〔図 4-3〕

	n=	自分・家族の資金として								経済的な安定のため			その他					
		年す でた はめ 生活 費が 不足	将 来 の 医 療 ・ 介 護 費 用 に	備 え て お く た め	不 測 の 事 態 に 備 え て お く た め	た ま ご の 旅 行 等 の 楽 し み の た め	子 供 や 孫 の 住 宅 の 買 い 取 り の た め	子 供 や 孫 の 学 校 費 の た め	高 額 商 品 の 買 い 取 り の た め	住 宅 の 修 繕 費 の た め	余 裕 資 金 を 作 っ て お く た め	預 貯 金 の 利 率 が 低 い た め	資 産 の リ ス ク 分 散 の た め	投 資 の 利 益 を 得 る た め	金 融 機 関 の 経 済 的 な 利 益 を 得 る た め	投 資 の 多 様 化 を 図 る た め	そ の 他	わ か ら な い ・ 特 に な い
TOTAL	(1233)	51.2	31.2	28.4	25.5	11.1	7.9	5.5	2.0	44.4	36.5	26.2	16.5	8.8	2.4	0.3	6.7	
男性	男性・50-54歳	(130)	60.0	16.2	23.1	23.8	10.0	5.4	11.5	3.8	41.5	25.4	23.8	16.9	11.5	2.3	0.0	6.2
	男性・55-59歳	(111)	51.4	27.9	23.4	26.1	9.0	5.4	10.8	5.4	53.2	32.4	28.8	24.3	11.7	3.6	0.9	5.4
	男性・60-64歳	(116)	53.4	23.3	22.4	19.8	8.6	6.0	6.9	2.6	47.4	37.9	26.7	14.7	10.3	2.6	0.0	9.5
	男性・65-69歳	(126)	49.2	28.6	30.2	31.7	12.7	11.1	4.8	1.6	40.5	29.4	19.0	16.7	3.2	1.6	0.0	6.3
	男性・70-74歳	(127)	43.3	30.7	29.1	23.6	9.4	7.1	2.4	2.4	47.2	37.0	29.9	27.6	11.8	3.9	0.8	8.7
	男性・75-79歳	(111)	42.3	37.8	33.3	31.5	16.2	12.6	6.3	0.0	41.4	42.3	27.9	24.3	9.9	2.7	0.0	5.4
女性	女性・50-54歳	(77)	54.5	32.5	29.9	18.2	6.5	1.3	3.9	0.0	41.6	32.5	20.8	5.2	7.8	1.3	0.0	5.2
	女性・55-59歳	(75)	66.7	37.3	34.7	29.3	13.3	6.7	4.0	4.0	42.7	38.7	30.7	5.3	6.7	1.3	0.0	8.0
	女性・60-64歳	(73)	64.4	34.2	30.1	24.7	11.0	11.0	4.1	1.4	46.6	38.4	27.4	6.8	11.0	2.7	1.4	2.7
	女性・65-69歳	(95)	53.7	35.8	31.6	25.3	6.3	4.2	5.3	0.0	43.2	43.2	25.3	9.5	3.2	3.2	0.0	5.3
	女性・70-74歳	(103)	43.7	39.8	32.0	24.3	17.5	9.7	1.9	1.0	43.7	45.6	30.1	17.5	10.7	1.0	0.0	7.8
	女性・75-79歳	(89)	39.3	40.4	24.7	25.8	12.4	13.5	1.1	1.1	43.8	40.4	24.7	15.7	5.6	1.1	1.1	7.9
金融資産額別 下5)	100万円未満	(44)	45.5	15.9	20.5	15.9	4.5	4.5	0.0	2.3	27.3	15.9	6.8	11.4	4.5	0.0	0.0	6.8
	～500万円未満	(120)	53.3	17.5	14.2	24.2	2.5	2.5	5.0	4.2	24.2	25.8	15.0	11.7	10.8	1.7	0.8	5.8
	～1,000万円未満	(114)	64.0	30.7	31.6	21.9	7.0	2.6	7.9	2.6	26.3	28.1	19.3	15.8	5.3	0.9	0.0	7.9
	～2,000万円未満	(166)	52.4	34.9	31.9	21.7	11.4	6.0	5.4	1.2	46.4	43.4	21.1	13.3	6.6	1.8	0.0	4.2
	～5,000万円未満	(296)	52.0	29.7	24.0	24.7	13.2	9.5	4.4	0.3	53.7	41.9	33.1	16.6	9.5	3.0	0.3	5.1
	5,000万円以上	(218)	44.0	38.1	37.2	34.4	20.6	16.1	8.7	4.6	60.6	46.3	42.2	25.7	11.0	4.1	0.0	4.6
	金融資産なし	(10)	30.0	10.0	20.0	10.0	10.0	10.0	0.0	0.0	20.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	30.0
投資経験別 Q1)	現在投資層	(1233)	51.2	31.2	28.4	25.5	11.1	7.9	5.5	2.0	44.4	36.5	26.2	16.5	8.8	2.4	0.3	6.7
	過去投資層	(0)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	投資未経験層	(0)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
リスク性別 F6)	高	(191)	59.2	29.8	35.6	31.4	17.3	10.5	9.4	3.7	56.5	43.5	33.0	27.2	15.7	5.2	0.5	1.6
	中	(328)	54.3	36.6	28.4	25.9	14.6	8.8	5.8	2.7	47.0	38.7	31.4	17.4	7.6	2.7	0.3	2.7
	低	(310)	45.8	25.5	23.5	21.9	8.7	7.7	4.8	1.9	44.2	40.0	26.1	12.9	6.5	1.0	0.0	7.7

4. 資産形成における投資の活用状況

(3) 投資・貯蓄の目的〔Q5:重複回答〕（貯蓄実施者）

②貯蓄の目的

- 貯蓄の目的は「年金では生活費が不足するため」(52.5%)、「不測の事態に備えて」(39.7%)、「将来の医療・介護費用に備えて」(39.4%)の順に高い。
- 性・年齢別では女性・60代前半以下で「年金では生活費が不足するため」が6割を超えて高い。
- 金融資産額別では、金融資産額が高いほど「余裕資金を作っておくため」が増加傾向。〔図4-4〕

〔図 4-4〕

	n=	自分・家族の資金として								経済的な安定のため			その他					
		年金では生活費が不足	不測の事態に備えて	将来の医療・介護費用に備えて	趣味・旅行等の楽しみ	子供・孫への教育・住宅資金等のため	高額商品・自動車・住宅購入のため	子供・孫への十分な相続	住宅・自動車等のローン	余裕資金を作っておく	資産のリスク分散のため	預貯金の利率が低い	投資そのものを楽しむ	こたが社会を良くするため	ESG投資等	金融・経済・投資の勉強	その他	わからない・特にない
TOTAL	(1618)	52.5	39.7	39.4	26.3	9.9	9.5	6.2	3.2	32.6	9.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.2	10.8
男性	男性・50-54歳 (159)	54.7	27.7	19.5	21.4	13.8	13.8	0.6	5.0	34.0	8.8	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	13.8
	男性・55-59歳 (144)	51.4	34.7	28.5	27.1	8.3	13.2	4.2	9.0	34.0	10.4	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.7	9.7
	男性・60-64歳 (139)	54.0	32.4	35.3	14.4	7.2	7.2	7.9	4.3	28.8	11.5	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	15.8
	男性・65-69歳 (155)	47.1	41.9	37.4	21.9	11.0	8.4	4.5	1.9	27.7	9.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	12.9
	男性・70-74歳 (175)	47.4	42.9	43.4	27.4	10.9	7.4	8.6	0.6	29.1	10.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.6	14.9
	男性・75-79歳 (130)	36.2	42.3	44.6	31.5	10.0	10.0	8.5	0.8	36.2	10.8	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	13.1
女性	女性・50-54歳 (115)	62.6	43.5	37.4	28.7	13.0	12.2	4.3	3.5	34.8	8.7	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	7.8
	女性・55-59歳 (110)	70.9	44.5	41.8	40.0	9.1	7.3	4.5	5.5	40.0	10.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.9	3.6	
	女性・60-64歳 (109)	67.9	45.9	51.4	30.3	10.1	15.6	5.5	3.7	33.9	8.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	3.7
	女性・65-69歳 (115)	50.4	41.7	45.2	22.6	4.3	6.1	8.7	0.0	33.9	4.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	10.4
	女性・70-74歳 (147)	51.7	45.6	41.5	25.2	10.9	7.5	8.2	2.0	31.3	5.4	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	8.2
	女性・75-79歳 (120)	44.2	37.5	55.0	30.8	8.3	5.0	10.0	1.7	30.8	9.2	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	10.8
金融資産額別 (下5)	100万円未満 (166)	44.6	22.9	17.5	18.7	3.0	6.0	2.4	3.0	18.1	1.8	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.6	29.5
	～500万円未満 (315)	57.1	35.6	31.4	21.6	8.6	9.5	3.5	6.0	25.4	4.1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.6	12.1	
	～1,000万円未満 (223)	59.6	34.1	38.6	20.6	6.3	8.5	4.5	4.5	22.4	2.2	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	11.7
	～2,000万円未満 (262)	52.3	43.5	46.6	23.7	8.8	7.6	4.2	2.3	34.0	8.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	9.2
	～5,000万円未満 (404)	53.7	48.3	47.3	31.9	12.6	12.1	6.7	1.0	39.4	11.6	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	6.2
	5,000万円以上 (248)	44.0	43.5	44.4	36.3	16.1	10.1	15.3	2.8	48.0	22.6	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	5.2
金融資産なし (0)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
投資経験別 (Q1)	現在投資層 (864)	48.3	39.4	37.4	26.2	11.6	9.1	7.8	2.4	35.6	14.1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.1	6.0
	過去投資層 (250)	54.8	40.8	46.0	29.6	9.2	9.2	8.0	3.6	32.8	3.6	0.0	0.0	0.0	0.0	0.4	12.8	
	投資未経験層 (504)	58.7	39.9	39.5	25.0	7.3	10.1	2.8	4.2	27.2	2.8	0.0	0.0	0.0	0.0	0.2	18.1	
保有割合別 (下6)	高 (228)	41.7	36.0	22.8	29.4	6.6	7.9	7.0	3.1	30.7	13.6	0.0	0.0	0.0	0.0	0.4	8.8	
	中 (436)	50.7	38.1	39.0	24.5	11.0	8.3	6.9	2.5	33.9	12.4	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	7.8	
	低 (495)	54.3	43.0	46.1	30.3	12.5	9.5	8.7	3.2	38.6	10.1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	9.1	
	なし(預貯金のみ) (459)	57.7	39.7	40.7	22.2	7.6	11.3	2.6	3.7	25.7	2.2	0.0	0.0	0.0	0.0	0.4	16.6	

4. 資産形成における投資の活用状況

(4) 保有経験のある金融商品等〔Q2:重複回答〕（投資実施者）

① 現在保有しているもの

- 現在保有している金融商品は「株式」が7割で最も高い。次いで「投資信託」(55.1%)、「不動産」(39.0%)、「保険商品」(36.3%)が続く。
- 性・年齢別では、「株式」が男性・70代で8割超、女性・70代では7割超と他層に比べて高い。男性・70代は「不動産」も5割以上と他の層より高い。
- 金融資産額別では、金融資産額が高いほど、多様な金融商品で現在保有率が増加傾向。〔図4-5〕

〔図 4-5〕

		株式	投資信託 (ETF、 リート含 む)	不動産 (自宅用 の土地・ 家屋)	保険商品 (生命保 険、年金 保険等の 資産性の あるもの)	債券 (国債・ 社債等)	外貨預金	不動産 (賃貸用 の土地・ 家屋)	貴金属 (金・ プラチナ 等)	FX	暗号資産	クラウドファ ンディング	その他	わから ない・ 答えたく ない
TOTAL	n= (1233)	71.6	55.1	39.0	36.3	19.2	18.5	10.5	10.1	4.8	4.2	1.3	1.8	2.3
男性	男性・50-54歳	(130) 66.9	55.4	32.3	28.5	14.6	22.3	9.2	6.9	10.0	12.3	2.3	3.1	2.3
	男性・55-59歳	(111) 76.6	54.1	39.6	37.8	18.0	25.2	9.0	12.6	13.5	9.9	2.7	1.8	3.6
	男性・60-64歳	(116) 67.2	60.3	37.1	32.8	19.8	21.6	10.3	6.0	4.3	8.6	2.6	1.7	2.6
	男性・65-69歳	(126) 78.6	54.8	39.7	34.1	18.3	18.3	11.1	9.5	2.4	4.8	0.0	0.8	1.6
	男性・70-74歳	(127) 88.2	40.9	57.5	40.2	18.1	14.2	15.0	11.8	5.5	2.4	1.6	3.1	1.6
	男性・75-79歳	(111) 81.1	47.7	66.7	35.1	18.0	10.8	18.9	13.5	2.7	0.0	0.9	1.8	0.0
女性	女性・50-54歳	(77) 51.9	61.0	16.9	37.7	14.3	23.4	2.6	10.4	0.0	2.6	2.6	1.3	2.6
	女性・55-59歳	(75) 65.3	62.7	25.3	40.0	28.0	24.0	5.3	10.7	6.7	2.7	0.0	1.3	4.0
	女性・60-64歳	(73) 61.6	60.3	28.8	37.0	24.7	11.0	2.7	13.7	1.4	1.4	2.7	1.4	1.4
	女性・65-69歳	(95) 61.1	61.1	32.6	44.2	27.4	15.8	10.5	8.4	3.2	0.0	0.0	1.1	4.2
	女性・70-74歳	(103) 70.9	63.1	34.0	38.8	13.6	17.5	9.7	14.6	1.9	1.0	0.0	1.9	0.0
	女性・75-79歳	(89) 75.3	47.2	40.4	32.6	21.3	18.0	14.6	4.5	2.2	0.0	0.0	1.1	4.5
金融 資産 額 別 (F 5)	100万円未満	(44) 54.5	27.3	15.9	9.1	2.3	9.1	0.0	6.8	2.3	13.6	2.3	4.5	11.4
	～500万円未満	(120) 65.0	44.2	24.2	19.2	6.7	15.8	4.2	5.8	5.0	3.3	1.7	2.5	0.8
	～1,000万円未満	(114) 71.9	48.2	31.6	26.3	10.5	12.3	5.3	7.9	4.4	4.4	0.9	1.8	1.8
	～2,000万円未満	(166) 65.7	57.8	40.4	33.7	12.0	16.3	9.6	7.8	3.0	1.2	0.6	0.6	0.6
	～5,000万円未満	(296) 76.0	61.1	45.3	46.6	22.3	19.6	11.8	10.8	6.4	4.7	1.7	2.0	0.3
	5,000万円以上	(218) 79.8	67.4	60.6	52.8	36.7	31.2	24.3	19.7	6.0	6.0	2.3	2.3	0.0
投資 経験 別 (Q 1)	現在投資層	(1233) 71.6	55.1	39.0	36.3	19.2	18.5	10.5	10.1	4.8	4.2	1.3	1.8	2.3
	過去投資層	(0) -	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	投資未経験層	(0) -	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
リス ク保 有割 合 (F 6)	高	(191) 83.2	66.0	50.3	40.8	24.6	24.1	12.6	14.1	6.3	8.4	1.0	1.0	1.6
	中	(328) 78.7	59.1	48.5	44.8	24.4	22.9	16.2	14.3	4.3	4.6	1.5	0.9	0.3
	低	(310) 64.8	52.3	38.4	35.8	14.8	14.8	9.4	7.7	6.5	3.2	1.9	3.2	0.3

4. 資産形成における投資の活用状況

(4) 保有経験のある金融商品等〔Q2:重複回答〕(投資経験者)

②現在保有していないが、過去に保有していたことのあるもの

- 現在保有していないが、過去に保有していた金融商品は「債券」「投資信託」「株式」「外貨預金」が18%台で同程度。
- 「債券」「投資信託」「株式」は、男性・70代、女性・60代以降で概ね2割以上と過去保有経験の割合が高い。女性では、60-64歳と70代以上での「外貨預金」も2割以上と他層に比べて高い。〔図4-6〕

〔図 4-6〕

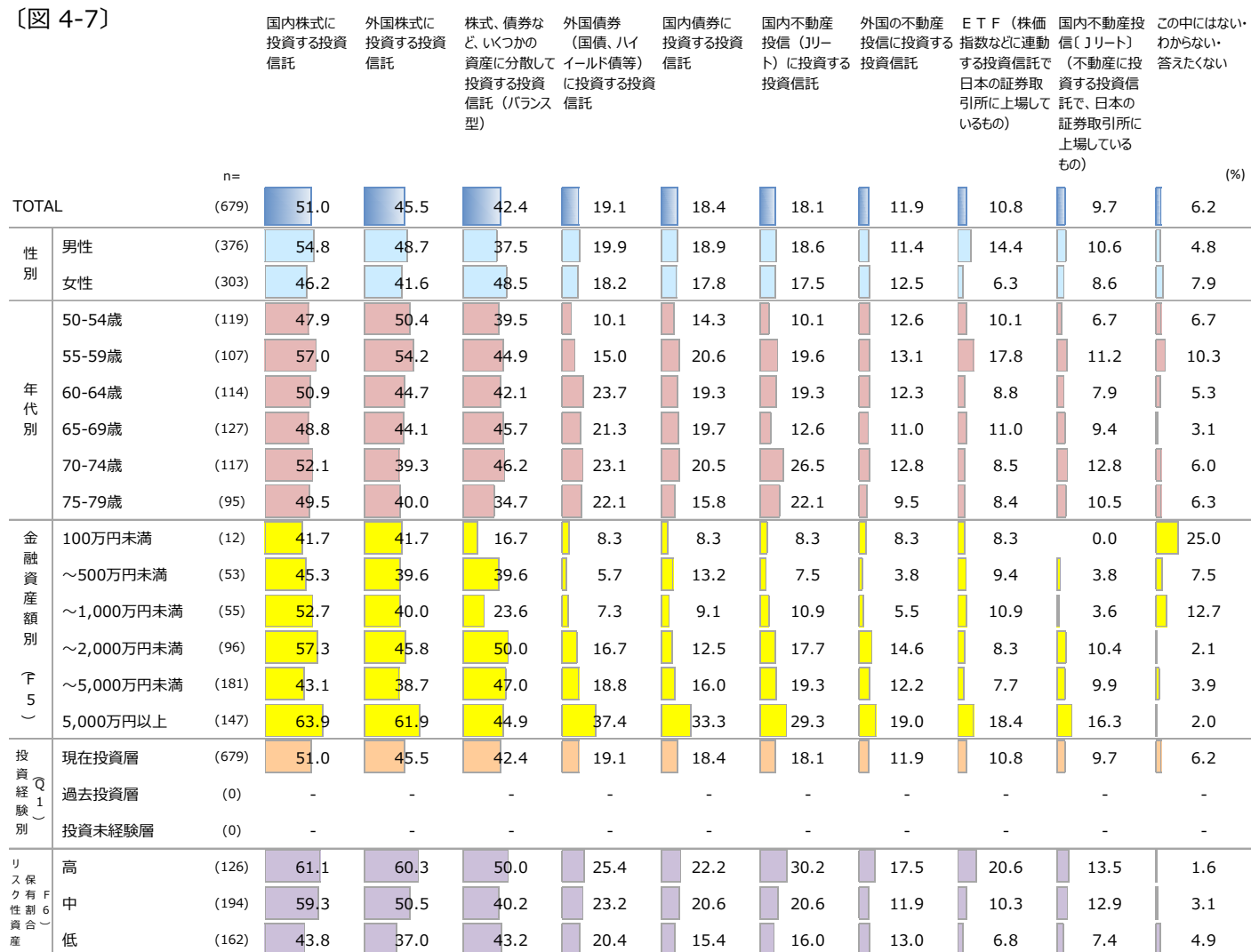
		n=	債券 (国債・社債等)	投資信託 (ETF、リート含む)	株式	外貨預金	保険商品 (生命保険、年金保険等の資産性のあるもの)	貴金属 (金・プラチナ等)	不動産 (自宅用の土地・家屋)	FX	不動産 (賃貸用の土地・家屋)	暗号資産	クラウドファンディング	その他	わからない・答えたくない	特になし	(%)
TOTAL		(1675)	18.9	18.7	18.6	18.0	9.5	6.0	4.7	4.4	3.3	1.1	1.0	0.4	3.5	34.6	
男性	男性・50-54歳	(152)	10.5	10.5	11.2	15.1	3.9	4.6	3.3	4.6	1.3	0.7	0.0	0.7	2.6	52.0	
	男性・55-59歳	(146)	12.3	13.7	15.8	18.5	4.8	3.4	4.1	6.8	1.4	2.1	2.1	0.7	5.5	39.0	
	男性・60-64歳	(147)	12.9	17.7	21.1	17.7	15.6	10.9	6.1	6.1	4.1	2.0	2.0	0.0	5.4	31.3	
	男性・65-69歳	(162)	17.3	16.7	14.8	16.0	9.3	7.4	3.7	8.6	1.2	0.6	0.6	0.0	1.9	38.9	
	男性・70-74歳	(173)	21.4	20.8	19.1	16.8	9.2	8.7	6.4	5.2	7.5	1.7	1.2	1.7	1.2	29.5	
	男性・75-79歳	(147)	21.1	28.6	24.5	18.4	13.6	8.2	6.1	1.4	5.4	0.0	0.0	0.7	0.0	32.7	
女性	女性・50-54歳	(94)	10.6	9.6	10.6	13.8	0.0	2.1	1.1	4.3	3.2	0.0	0.0	0.0	6.4	48.9	
	女性・55-59歳	(102)	16.7	11.8	9.8	15.7	7.8	4.9	4.9	2.9	1.0	2.0	1.0	0.0	7.8	38.2	
	女性・60-64歳	(105)	21.0	21.0	18.1	21.9	8.6	7.6	5.7	4.8	4.8	1.9	1.0	0.0	2.9	32.4	
	女性・65-69歳	(134)	24.6	20.9	22.4	17.2	14.2	6.0	3.0	2.2	3.7	2.2	1.5	0.0	3.7	29.9	
	女性・70-74歳	(178)	29.8	24.2	25.8	20.2	13.5	2.8	4.5	3.4	1.7	0.0	1.1	0.0	2.2	22.5	
	女性・75-79歳	(135)	23.7	23.7	24.4	23.7	8.9	3.7	5.9	0.7	3.7	0.7	0.7	0.0	5.9	27.4	
金融資産額別 (下5)	100万円未満	(82)	9.8	24.4	31.7	12.2	7.3	7.3	7.3	13.4	1.2	2.4	1.2	0.0	6.1	30.5	
	～500万円未満	(175)	14.3	18.9	25.7	16.0	7.4	6.9	5.7	4.6	1.7	1.7	0.6	0.0	1.7	36.0	
	～1,000万円未満	(157)	9.6	14.0	20.4	15.9	8.3	7.0	4.5	3.8	1.3	0.6	0.0	0.6	2.5	40.1	
	～2,000万円未満	(215)	17.2	19.1	17.2	19.1	10.7	5.1	4.2	5.1	4.7	1.4	2.3	0.0	0.9	37.7	
	～5,000万円未満	(363)	23.1	19.3	12.9	21.8	10.7	5.5	4.4	2.2	3.3	0.6	0.8	0.3	1.1	34.2	
	5,000万円以上	(245)	23.3	15.1	11.0	19.6	13.1	7.8	4.5	4.1	6.5	1.6	0.8	0.4	1.2	35.1	
	金融資産なし	(45)	6.7	17.8	40.0	8.9	4.4	2.2	8.9	8.9	4.4	0.0	2.2	2.2	11.1	17.8	
投資経験別 (Q1)	現在投資層	(1233)	16.5	10.6	6.3	17.3	6.7	5.3	2.2	3.9	3.0	1.1	1.1	0.2	2.8	47.0	
	過去投資層	(442)	25.6	41.2	52.9	19.9	17.2	7.9	11.5	5.7	4.1	1.1	0.7	0.9	5.7	-	
	投資未経験層	(0)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
保有割合 性資産 (下6)	高	(207)	18.8	12.1	8.2	20.8	8.7	6.8	3.9	4.3	3.4	0.0	0.5	1.0	1.9	37.7	
	中	(381)	17.8	14.2	12.3	20.7	8.1	7.3	5.0	3.7	3.7	1.6	1.8	0.3	1.8	40.2	
	低	(391)	19.2	19.7	17.1	17.1	12.5	5.6	4.1	4.3	4.1	2.0	0.8	0.0	0.8	38.1	
	なし(預貯金のみ)	(140)	17.9	37.1	43.6	16.4	14.3	7.9	8.6	5.7	3.6	0.0	0.7	0.0	1.4	10.7	

4. 資産形成における投資の活用状況

(5) 保有経験のある投資信託商品〔Q3:重複回答〕 (投資信託現在保有者) ①現在保有しているもの

- 現在保有している投資信託は、「国内株式に投資する投資信託」(51.0%)、「外国株式に投資する投資信託」(45.5%)、「株式、債券など、いくつかの資産に分散して投資する投資信託 (バランス型)」(42.4%)の順に高い。
- 性別では、「国内／外国株式に投資する投資信託」「ETF」は男性の方が、「株式、債券など、いくつかの資産に分散して投資する投資信託(バランス型)」は女性の方が高い。年齢別では、「外国株式に投資する投資信託」は50代で5割を超える。
- 金融資産額別では、5,000万円以上は「国内株式に投資する投資信託」「外国株式に投資する投資信託」が6割を超えて高い。〔図4-7〕

〔図 4-7〕



4. 資産形成における投資の活用状況

(5) 保有経験のある投資信託商品〔Q3:重複回答〕（保有経験者）

②現在保有していないが、過去に保有していたことのあるもの

- 現在保有していないが、過去に保有していたことのある投資信託は、「国内株式に投資する投資信託」（24.0%）が最も高く、次いで「株式、債券など、いくつかの資産に分散して投資する投資信託（バランス型）」（10.5%）が続く。
- 年齢別では、上記2商品は年齢が上がるほど増加傾向。
- 投資経験別で、過去投資層は「国内株式に投資する投資信託」が5割弱と高い。〔図4-8〕

〔図 4-8〕

		n=	国内株式に投資する投資信託	株式、債券など、いくつかの資産に分散して投資する投資信託（バランス型）	外国株式に投資する投資信託	国内債券に投資する投資信託	外国債券（国債、ハイイールド債等）に投資する投資信託	国内不動産投信（リート）に投資する投資信託	国内不動産投信（不動産に投資する投資信託で、日本の証券取引所に上場しているもの）	外国の不動産投信に投資する投資信託	ETF（株価指数などに連動する投資信託で日本の証券取引所に上場しているもの）	この中にはない・わからない・答えたくないもの	(%)
TOTAL		(992)	24.0	10.5	9.6	8.8	6.9	6.8	3.5	3.4	3.3	51.5	
性別	男性	(543)	25.2	11.4	9.6	7.7	7.4	7.2	3.9	3.5	3.1	51.9	
	女性	(449)	22.5	9.4	9.6	10.0	6.2	6.2	3.1	3.3	3.6	51.0	
年代別	50-54歳	(144)	18.1	4.9	6.3	7.6	6.3	4.2	1.4	2.1	2.8	62.5	
	55-59歳	(139)	18.0	6.5	5.8	6.5	7.9	4.3	2.9	5.0	3.6	60.4	
	60-64歳	(162)	23.5	9.3	10.5	8.0	6.8	8.0	6.2	2.5	3.7	54.9	
	65-69歳	(182)	24.2	10.4	9.3	6.6	5.5	6.0	2.2	2.2	2.7	50.5	
	70-74歳	(196)	25.5	13.8	12.8	12.2	7.7	5.1	4.6	5.1	4.6	44.4	
	75-79歳	(169)	32.5	16.0	11.2	10.7	7.1	12.4	3.6	3.6	2.4	40.8	
金融資産額別 (下5)	100万円未満	(32)	37.5	12.5	15.6	3.1	6.3	0.0	0.0	0.0	0.0	37.5	
	～500万円未満	(86)	33.7	12.8	4.7	8.1	5.8	5.8	2.3	1.2	2.3	48.8	
	～1,000万円未満	(77)	19.5	5.2	6.5	3.9	2.6	5.2	3.9	2.6	1.3	63.6	
	～2,000万円未満	(137)	22.6	8.8	13.1	8.0	8.8	4.4	2.2	5.8	2.2	53.3	
	～5,000万円未満	(251)	23.5	10.8	12.4	10.8	6.0	7.2	4.0	4.0	2.4	50.2	
	5,000万円以上	(184)	20.7	13.0	6.5	10.3	9.2	7.6	6.0	4.9	6.0	49.5	
	金融資産なし	(11)	18.2	0.0	9.1	27.3	18.2	9.1	0.0	0.0	0.0	45.5	
投資経験別 (Q1)	現在投資層	(810)	18.4	8.0	7.4	6.9	6.7	6.9	3.6	3.7	3.6	58.6	
	過去投資層	(182)	48.9	21.4	19.2	17.0	7.7	6.0	3.3	2.2	2.2	19.8	
	投資未経験層	(0)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
保有リスク許容性資産 (下6)	高	(151)	21.2	10.6	7.3	9.9	7.9	8.6	5.3	4.0	3.3	50.3	
	中	(248)	22.2	9.3	9.3	7.7	8.1	6.9	4.4	6.5	3.2	54.8	
	低	(239)	24.7	11.7	11.3	8.8	5.9	5.0	2.1	2.1	2.5	54.0	
	なし（預貯金のみ）	(69)	37.7	18.8	14.5	15.9	7.2	1.4	4.3	2.9	1.4	26.1	

4. 資産形成における投資の活用状況

(6) これまでの投資の経験や考え〔Q7:重複回答〕 (投資実施者／投資経験者)

- これまでの投資の経験や考えにおいて、[運用について]は「想定以上の大きな損失が出たことがある」(39.0%)が最も高い。[これまでの投資スタイルについて]は「長期で売買する投資(1年以上)を行ってきた」(47.2%)が最も高く、「中長期で売買する投資(3か月以上)を行ってきた」「短期で売買する投資(1日～3か月未満)を行ってきた」は1割台にとどまる。[計画・分析について]は「余裕資金で行ったり、無理のない投資計画を立てている」(28.7%)が最も高い。
- 金融資産額別では、「～5,000万円未満」以上の層では、「長期で売買する投資(1年以上)を行ってきた」が6割前後と高い。〔図4-9〕

〔図4-9〕

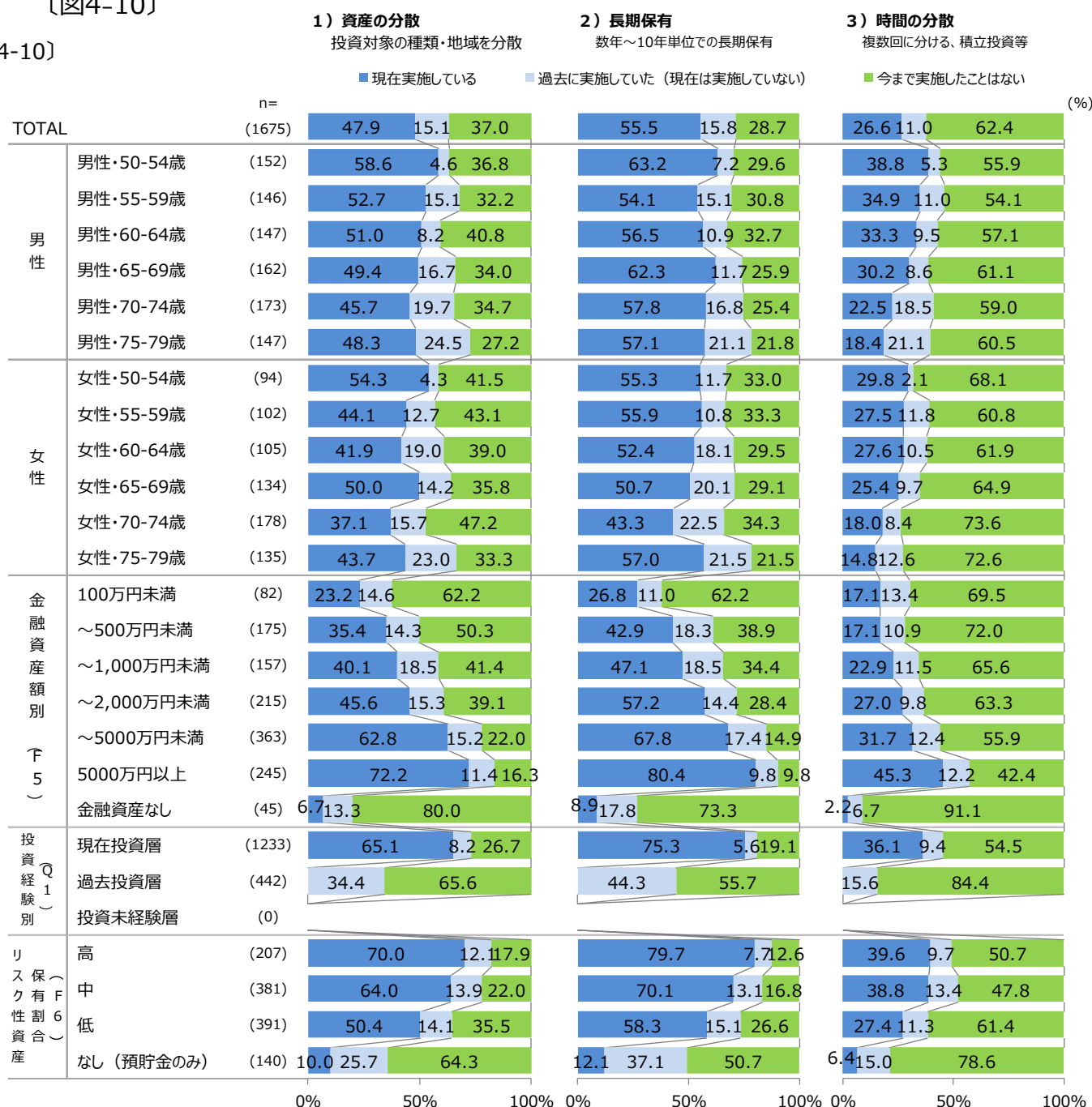
	n=	運用について		これまでの投資スタイルについて								商品購入について			計画・分析について		投資情報について			その他	特 に ない
		想定以上の大きな損失が出たことがある	投資全体の利益をみて、投資額を売	却上利益を得たこと	長期(1年以上)で売買する投資	少くも1年以上の損失が出ると、	中長期(3か月以上)で売買する投資	頻りに売買する投資	短期(3か月未満)で売買する投資	多し・やりがいが感じられる投資	商品購入をしたこと	強引に購入したことがある	商品説明内容と実際が異なる	余裕資金で行ったり無理のない	成功を失ったこと	投資が苦しくなかった	ネット等で情報が多すぎた	年齢で投資の情報が取れない	投資に関する相談の先がない		
TOTAL	(1675)	39.0	26.1	19.9	47.2	18.0	14.1	12.9	10.5	10.3	18.2	5.0	3.7	28.7	9.1	2.6	16.4	8.7	5.5	0.7	14.5
男性	男性・50-54歳 (152)	36.2	26.3	21.7	34.2	15.1	17.1	19.7	11.8	12.5	16.4	1.3	5.3	23.7	13.2	2.6	15.1	4.6	8.6	0.0	16.4
	男性・55-59歳 (146)	39.7	27.4	26.7	41.1	15.8	20.5	15.8	14.4	11.6	12.3	1.4	0.7	24.7	16.4	2.7	17.1	6.2	5.5	0.0	16.4
	男性・60-64歳 (147)	34.7	27.2	19.7	40.8	18.4	13.6	11.6	13.6	10.2	12.2	1.4	2.7	22.4	12.2	5.4	12.2	4.1	5.4	0.0	21.8
	男性・65-69歳 (162)	42.0	23.5	18.5	50.6	11.1	16.0	11.7	11.1	8.6	9.9	3.1	4.3	25.9	13.0	1.9	16.7	5.6	4.9	0.6	13.6
	男性・70-74歳 (173)	45.1	30.6	25.4	54.9	16.2	17.9	12.7	12.1	13.3	22.0	6.4	4.0	32.4	13.3	6.9	16.8	9.8	3.5	1.2	10.4
	男性・75-79歳 (147)	36.1	30.6	28.6	57.1	17.0	17.0	10.2	9.5	16.3	17.0	3.4	1.4	41.5	8.8	1.4	17.7	13.6	4.1	1.4	12.2
女性	女性・50-54歳 (94)	23.4	27.7	13.8	35.1	21.3	10.6	14.9	11.7	5.3	12.8	5.3	3.2	25.5	3.2	0.0	13.8	6.4	7.4	0.0	18.1
	女性・55-59歳 (102)	23.5	19.6	8.8	37.3	15.7	11.8	16.7	7.8	3.9	14.7	4.9	2.0	19.6	2.0	1.0	13.7	5.9	8.8	1.0	21.6
	女性・60-64歳 (105)	39.0	19.0	20.0	54.3	25.7	9.5	15.2	9.5	7.6	25.7	5.7	2.9	30.5	6.7	1.0	21.9	7.6	5.7	0.0	14.3
	女性・65-69歳 (134)	38.1	30.6	15.7	47.0	20.9	12.7	9.0	11.2	6.7	23.9	5.2	6.0	29.1	6.0	2.2	20.1	9.7	8.2	0.0	10.4
	女性・70-74歳 (178)	44.9	24.2	14.0	48.9	21.9	9.6	10.7	6.2	10.1	19.7	11.2	5.1	32.6	5.1	0.6	14.0	12.4	3.4	2.2	12.4
	女性・75-79歳 (135)	53.3	23.0	20.0	58.5	20.7	9.6	8.9	6.7	11.9	32.6	10.4	5.9	32.6	3.0	3.0	18.5	16.3	3.0	0.7	10.4
金融資産額別 (下5)	100万円未満 (82)	34.1	7.3	9.8	18.3	14.6	15.9	9.8	11.0	7.3	12.2	3.7	3.7	4.9	3.7	8.5	9.8	3.7	4.9	0.0	25.6
	～500万円未満 (175)	42.3	19.4	10.9	36.6	16.6	12.6	13.1	6.9	5.1	13.1	2.9	2.9	15.4	8.6	3.4	19.4	7.4	7.4	1.1	14.9
	～1,000万円未満 (157)	40.8	20.4	14.0	36.9	17.2	14.6	14.0	13.4	8.9	25.5	3.2	0.6	21.7	7.6	3.8	16.6	10.8	3.8	0.0	16.6
	～2,000万円未満 (215)	35.8	31.6	15.3	47.0	24.7	17.2	16.3	10.2	8.8	21.4	5.1	5.6	34.4	8.8	1.4	19.5	9.8	6.5	0.5	10.7
	～5,000万円未満 (363)	40.2	31.1	22.9	57.3	15.7	16.3	15.2	9.6	14.3	21.5	5.0	4.7	39.4	8.3	1.9	14.3	11.3	4.1	1.1	6.1
	5,000万円以上 (245)	47.8	44.9	40.0	63.7	19.6	16.3	15.9	12.7	15.9	18.4	9.4	3.7	41.6	18.0	1.2	17.6	7.8	6.9	0.8	6.9
金融資産なし (45)	33.3	2.2	8.9	8.9	20.0	0.0	4.4	15.6	2.2	13.3	2.2	11.1	4.4	6.7	13.3	8.9	8.9	8.9	0.0	40.0	
投資経験別 (Q1)	現在投資層 (1233)	41.4	31.5	24.1	53.6	17.3	16.1	15.2	11.5	13.4	18.8	4.9	3.6	34.9	10.5	2.1	17.0	7.9	5.6	0.5	10.5
	過去投資層 (442)	32.1	11.1	8.1	29.2	20.1	8.6	6.3	7.7	1.6	16.5	5.2	4.1	11.5	5.2	3.8	14.7	10.6	5.2	1.1	25.6
	投資未経験層 (0)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
保有割合 (下6)	高 (207)	50.2	41.1	34.3	59.4	16.9	18.8	19.8	15.5	18.8	19.3	4.3	4.3	40.1	17.9	3.9	18.4	8.2	6.8	0.0	6.3
	中 (381)	45.7	35.7	26.0	54.1	18.6	18.6	16.0	11.3	16.5	18.4	7.9	3.1	37.0	12.6	1.6	15.5	10.0	4.2	0.8	7.1
	低 (391)	36.8	25.8	14.8	48.1	19.9	14.6	14.6	9.5	6.9	22.5	4.9	3.6	29.2	7.4	2.3	18.9	10.0	6.1	0.5	10.0
	なし(預貯金のみ) (140)	34.3	12.9	10.0	31.4	17.1	10.7	7.1	7.1	1.4	19.3	1.4	5.0	17.9	4.3	5.0	12.9	10.7	8.6	2.9	20.0

4. 資産形成における投資の活用状況

(7) リスク分散の実施状況〔Q8:単数回答〕 (投資実施者／投資経験者)

- リスク分散の3項目について現在実施率をみると、「資産の分散」(49.7%)、「長期保有」(55.5%)は半数程度ある一方、「時間の分散」は26.6%にとどまる。
- 性・年齢別では、女性・70-74歳では「資産の分散」「長期保有」の現在実施率が低い。「時間の分散」は男女ともに70代での現在実施率が低い。
- いずれも金融資産額が高いほど、現在実施率が高い。
- 投資経験別では、「現在投資層」の現在実施率が他層より高いが、「時間の分散」は3割半にとどまる。

〔図 4-10〕

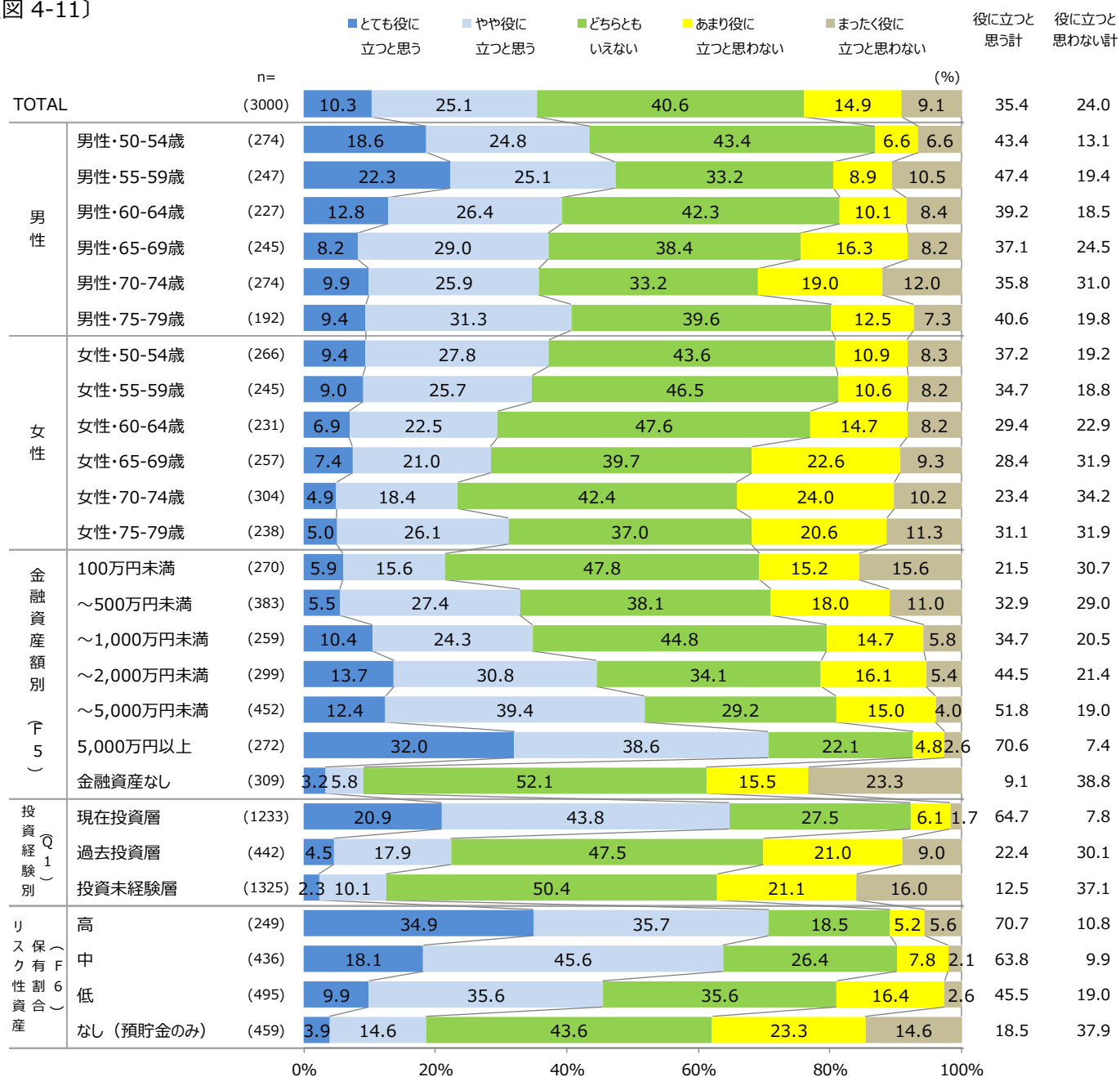


4. 資産形成における投資の活用状況

(8) 資産形成への投資の役立ち度〔Q9:単数回答〕

- 資産形成への投資の役立ち度について、役に立つと思う計（とても+やや役に立つと思うの計）は35.4%。役に立つと思わない計（あまり+まったく役に立つと思わないの計）は24.0%で、役に立つと思う計が、役に立つと思わない計より11.4ポイント高い。
- 女性65歳以上は、役に立つと思わない計が、役に立つと思う計より高い。
- 金融資産額別では、金融資産額が高いほど、役に立つと思う計が増加。
- 投資経験別では、「現在投資層」は役に立つと思う計が64.7%と他層に比べて高い。〔図4-11〕

〔図 4-11〕



5. 老後に向けた資産形成の状況

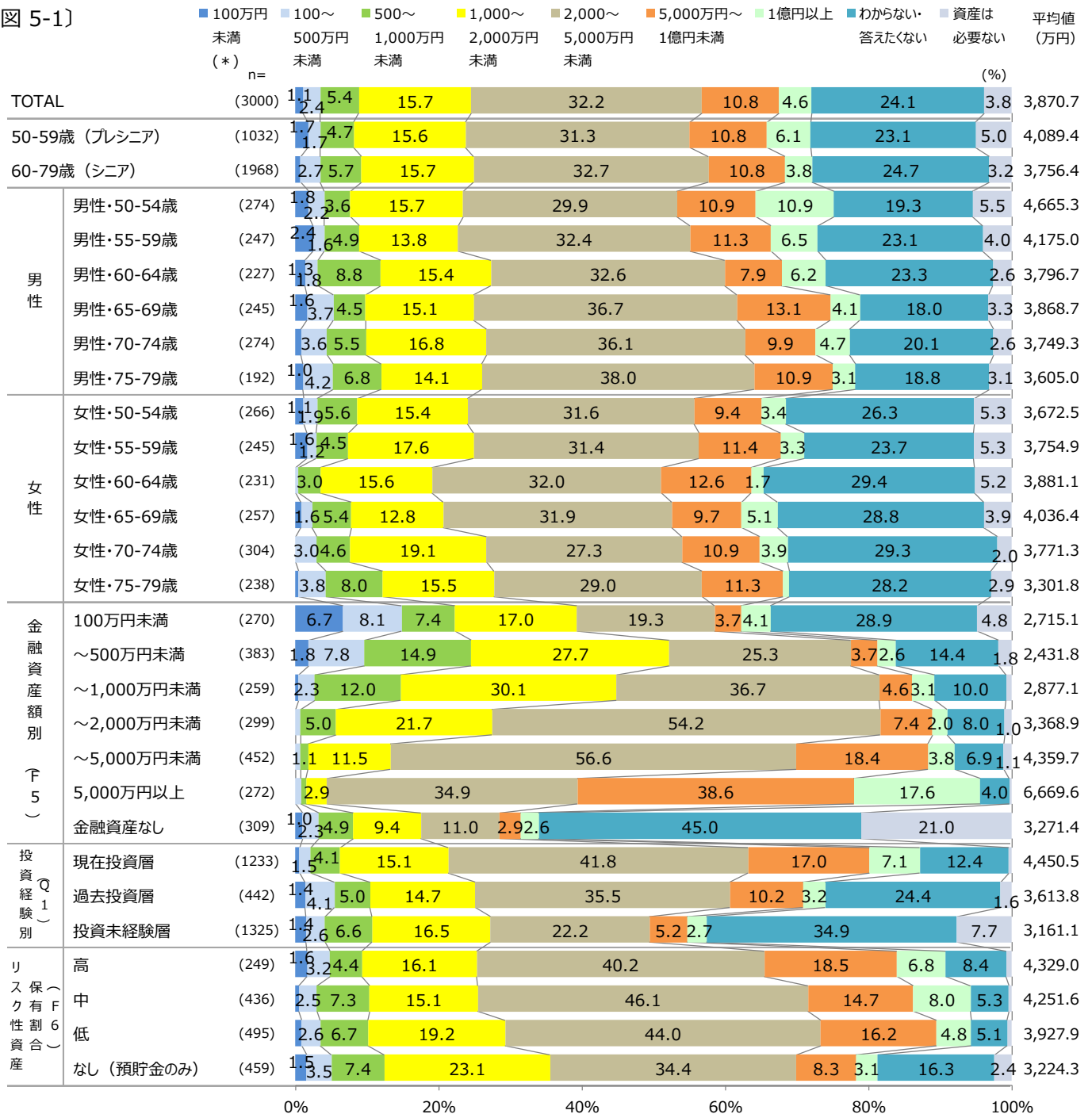


5. 老後に向けた資産形成の状況

(1) 豊かな老後に必要な資産総額〔Q4:単数回答〕

- 「豊かな老後」を過ごすために最小限必要な資産総額は、平均値が「3,870.7万円」。
- 性・年齢別では、男性・50代、女性・65-69歳は平均4,000万円以上で、他の層より高い。男女ともに、75-79歳の平均値が最も低い。
- 金融資産額別では、金融資産額が高いほど最小限必要な資産総額が増加。
- 投資経験別では、現在投資層は「4,450.5万円」と他層より高い。〔図5-1〕

〔図 5-1〕



※1%未満は非表示

* (全くない場合は「資産は必要ない」を回答ください)

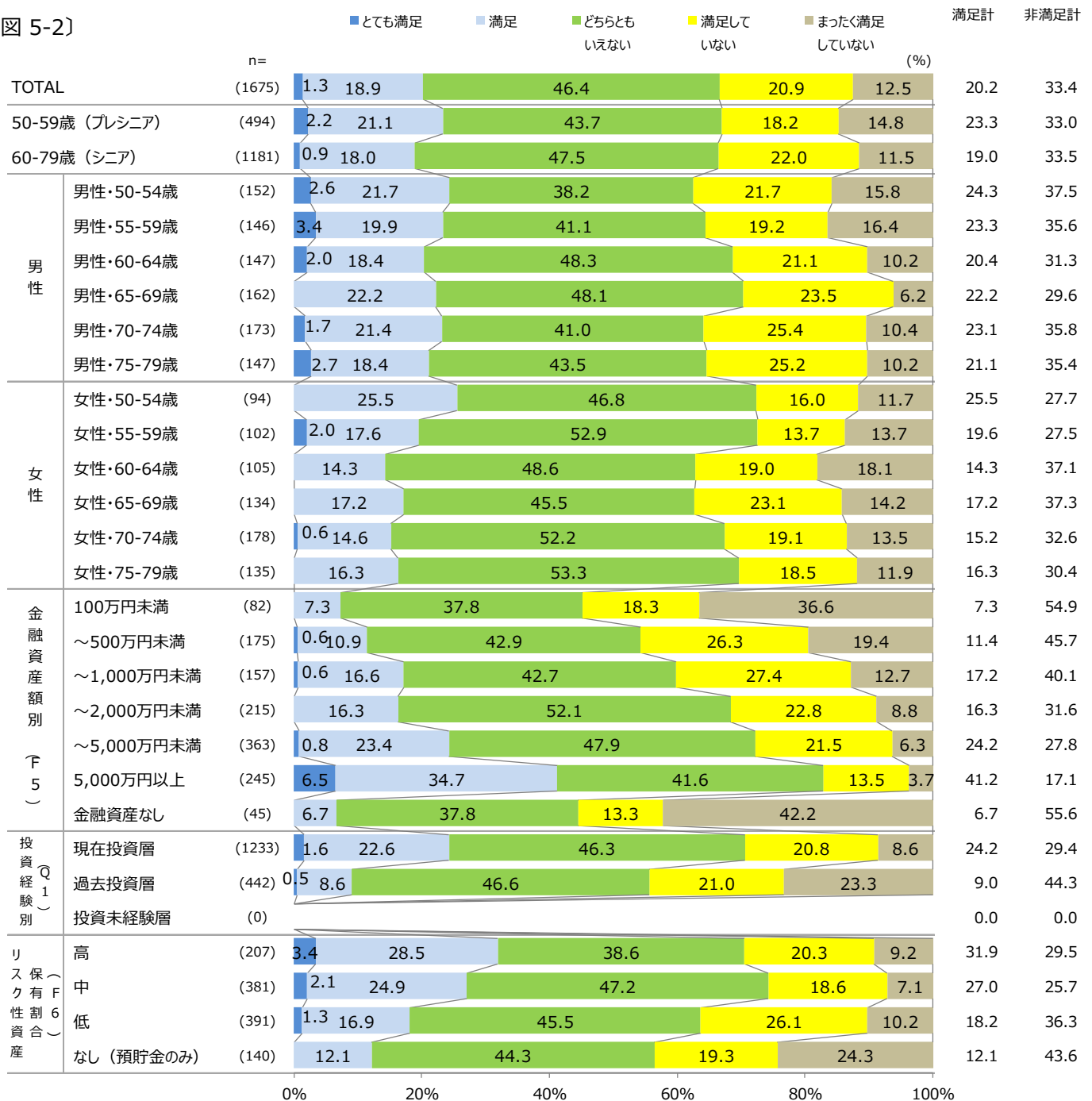
5. 老後に向けた資産形成の状況

(2) 投資・貯蓄成果への満足度〔Q6:単数回答〕（投資実施者）

① 投資について

- ご自身の投資についての満足度は、全体では、満足計(とても+満足の計)が20.2%、非満足計(満足していない+まったくの計)が33.4%。
- 50-59歳(プレシニア)では、満足計がわずかに60-79歳(シニア)を上回るが、非満足計は両者に差はみられない。また、女性の中では50-54歳で満足計が25.5%と他の年齢層に比べて高い。
- 金融資産額別では、金融資産額が高いほど、満足計が増加。
- 投資経験別では、現在投資層の満足計は24.2%で他層より高い。〔図5-2〕

〔図 5-2〕



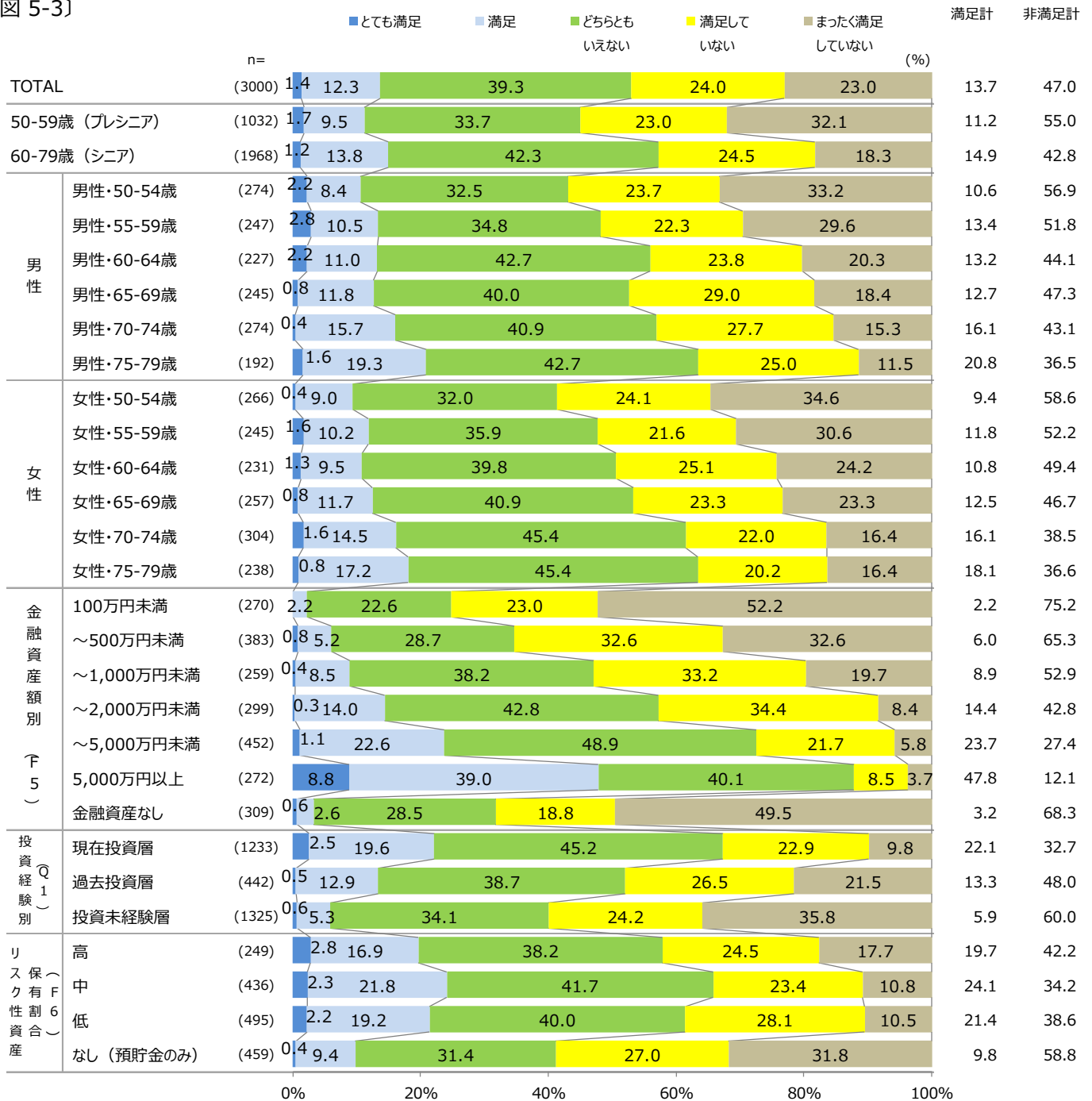
5. 老後に向けた資産形成の状況

(2) 投資・貯蓄成果への満足度〔Q6:単数回答〕

②貯蓄について

- ご自身の貯蓄についての満足度は、全体では満足計が13.7%、非満足計が47.0%。
- 50-59歳(プレシニア)は、60-79歳(シニア)より非満足計が12.2ポイント高い。
- 金融資産額別では、金融資産額が高いほど満足計が増加。
- 投資経験別では、現在投資層の満足計は22.1%で他層より高い。〔図5-3〕

〔図 5-3〕



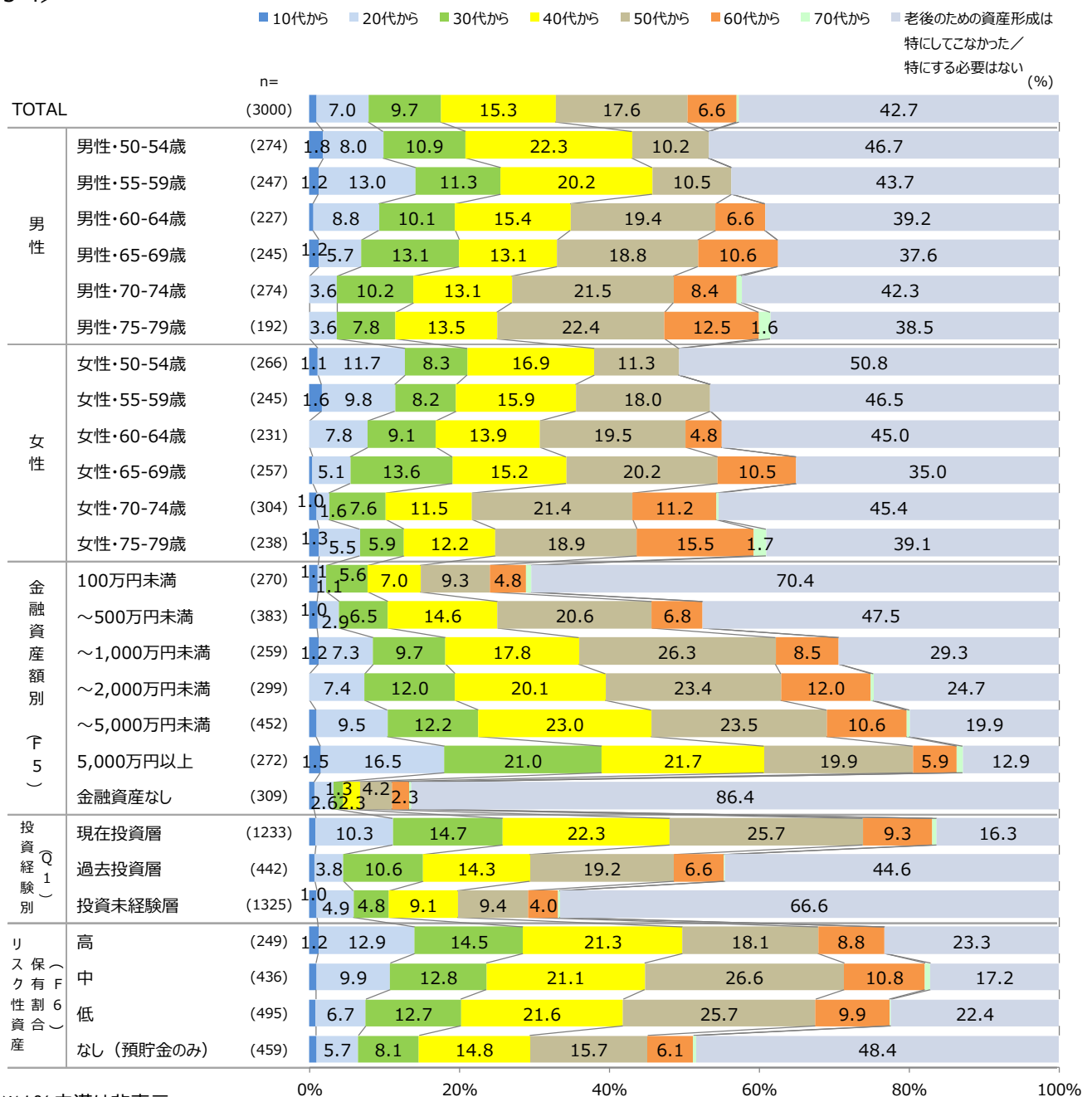
5. 老後に向けた資産形成の状況

(3) 老後のための資産形成の開始年代〔Q16:単数回答〕

①開始した年代

- 「老後のため」の資産形成の開始年代は、全体では「50代から」(17.6%)、「40代から」(15.3%)の順に高い。
- 性・年齢別では、男女ともに50代は「40代から」、60～70代は「50代から」の割合が高い傾向。
- 金融資産額別では、金融資産額が高いほど開始年齢が早く、5,000万円以上では、30代以下の開始が約4割を占める。
- 投資経験別では、現在投資層では他層よりも開始年齢が若い傾向。〔図5-4〕

〔図 5-4〕



※1%未満は非表示

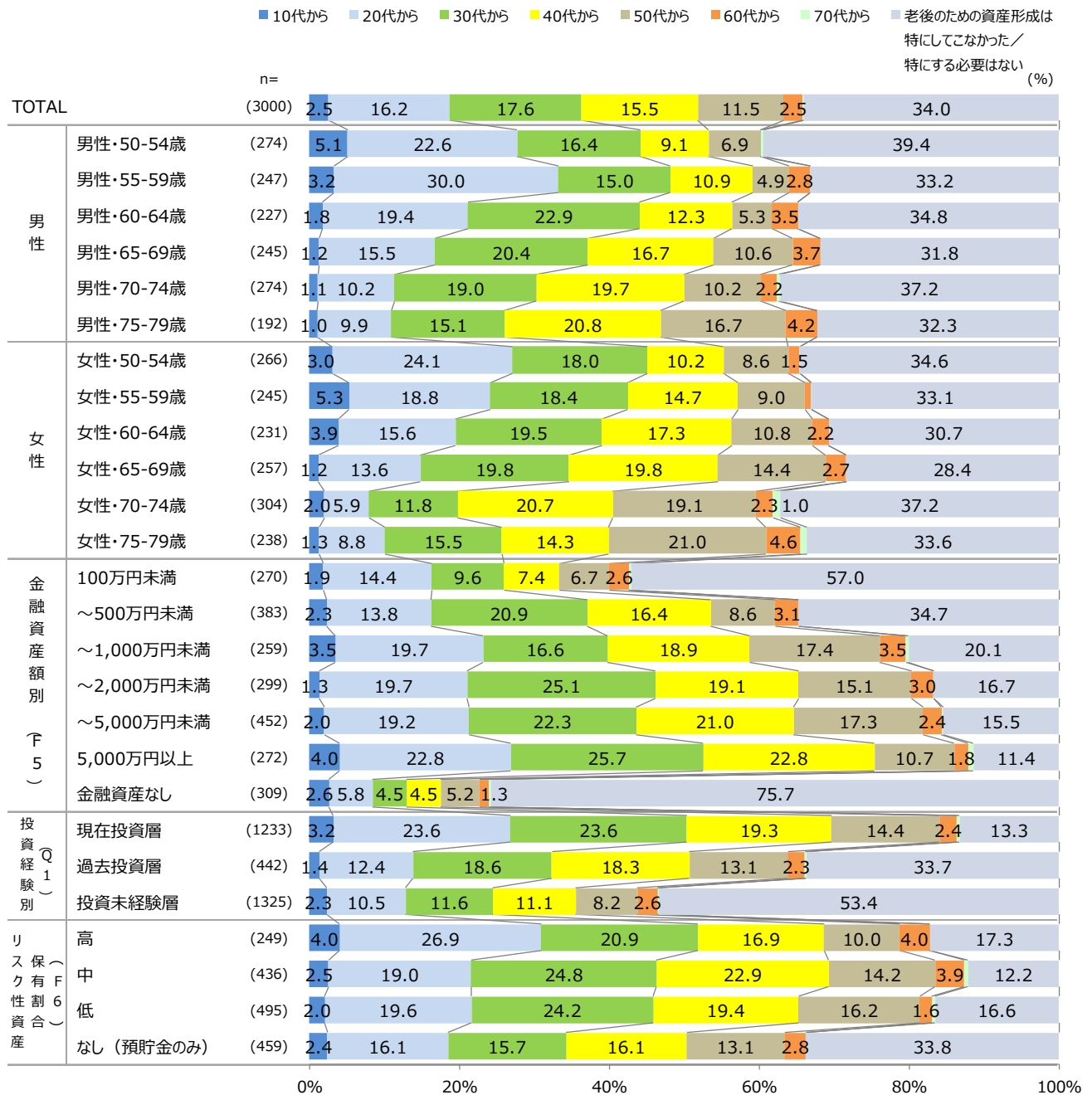
5. 老後に向けた資産形成の状況

(3) 老後のための資産形成の開始年代〔Q16:単数回答〕

②開始すべき年代

- 「老後のため」の資産形成の開始すべき年代は、全体では「30代から」(17.6%)、「20代から」(16.2%)、「40代から」(15.5%)の順に高い。
- 性・年齢別では、男女ともに50代は「20代から」、60代は「30代から」、70代は「40代から」の割合が高く、実際の開始年齢(前頁参照)よりも若い傾向。
- 投資経験別では、現在投資層は、「30代から」以下が5割を占める。〔図5-5〕

〔図 5-5〕



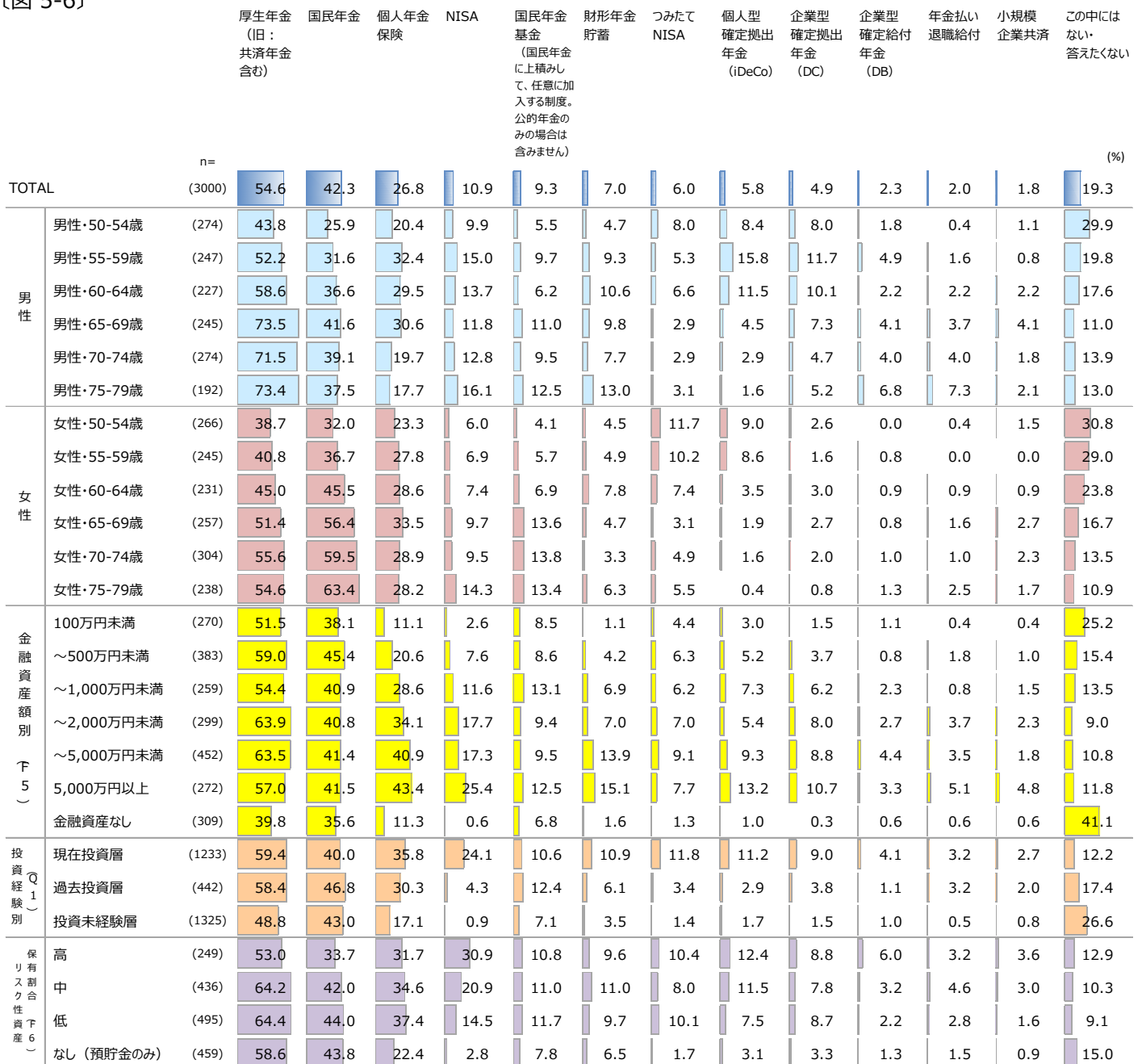
※1%未満は非表示

5. 老後に向けた資産形成の状況

(4) 老後の資産形成で重視する制度〔Q17:重複回答〕

- 老後の資産形成で重視する制度は、「厚生年金(旧：共済年金含む)」(54.6%)が最も高い。次いで「国民年金」(42.3%)、「個人年金保険」(26.8%)が続く。
- 性・年齢別では、「厚生年金(旧：共済年金含む)」は男性65歳以上が7割超、女性の65歳以上が5割超。「国民年金」は、女性・60代後半以降で5割半ば以上と他の層より高い。
- 金融資産額別では、金融資産額が高いほど「個人年金保険」「NISA」「財形年金貯蓄」が増加傾向。
〔図5-6〕

〔図 5-6〕



6. 老後生活へ向けた現状・意識

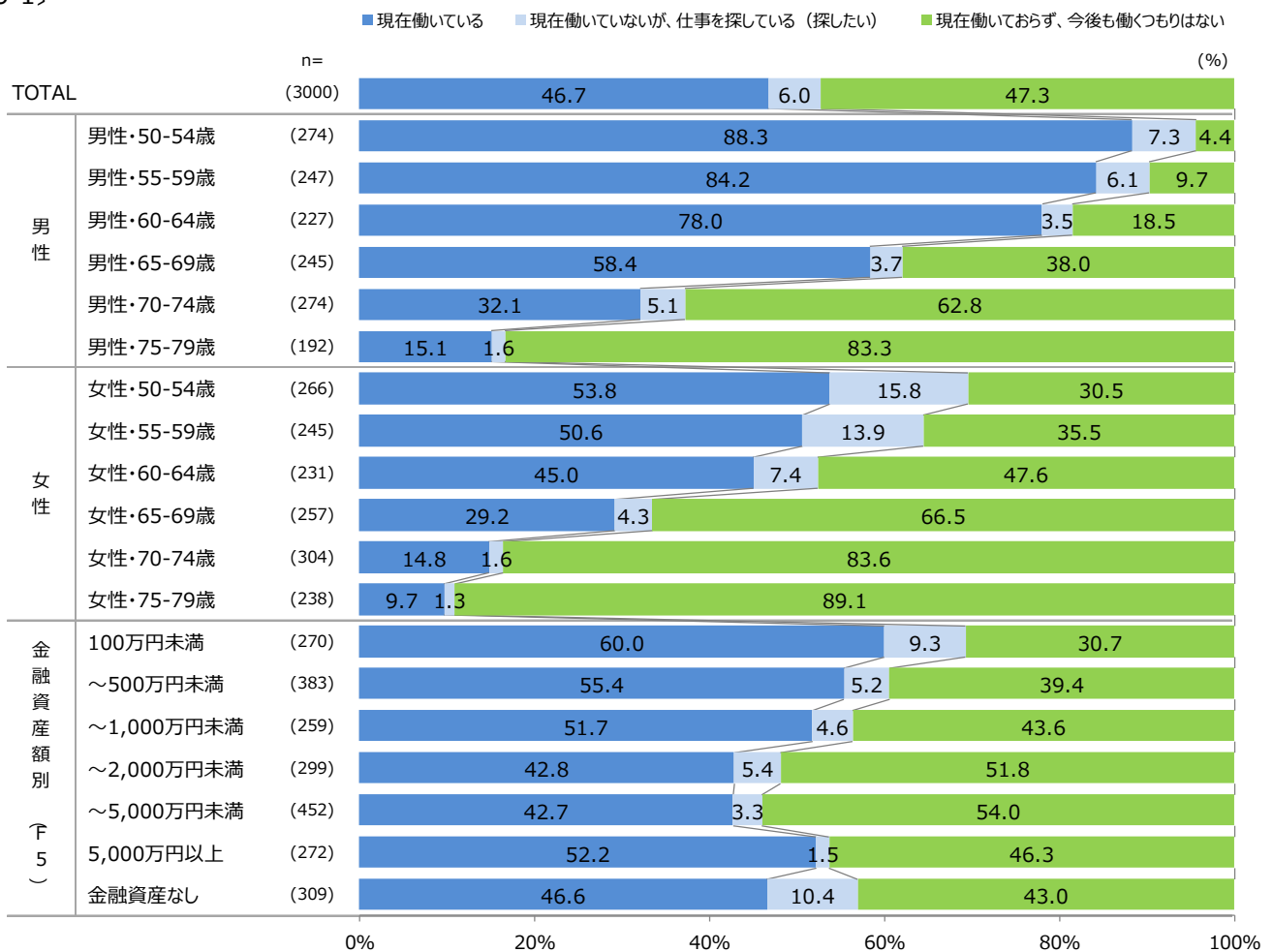


6. 老後生活へ向けた現状・意識

(1) 就労状況・意識〔F8:単数回答〕

- 就労状況については、「現在働いている」(46.7%)と「現在働いておらず、今後も働くつもりはない」(47.3%)が同程度。
- 性・年齢別では、「現在働いている」は各年齢層で男性の方が高く、年齢が高くなるにつれて減少し、「現在働いておらず、今後も働くつもりはない」が増加。
- 金融資産額別では、「～5,000万円未満」までは金額が上がるにつれて「現在働いておらず、今後も働くつもりはない」が増加。「5,000万円以上」では「現在働いている」が半数を超える。〔図6-1〕

〔図6-1〕

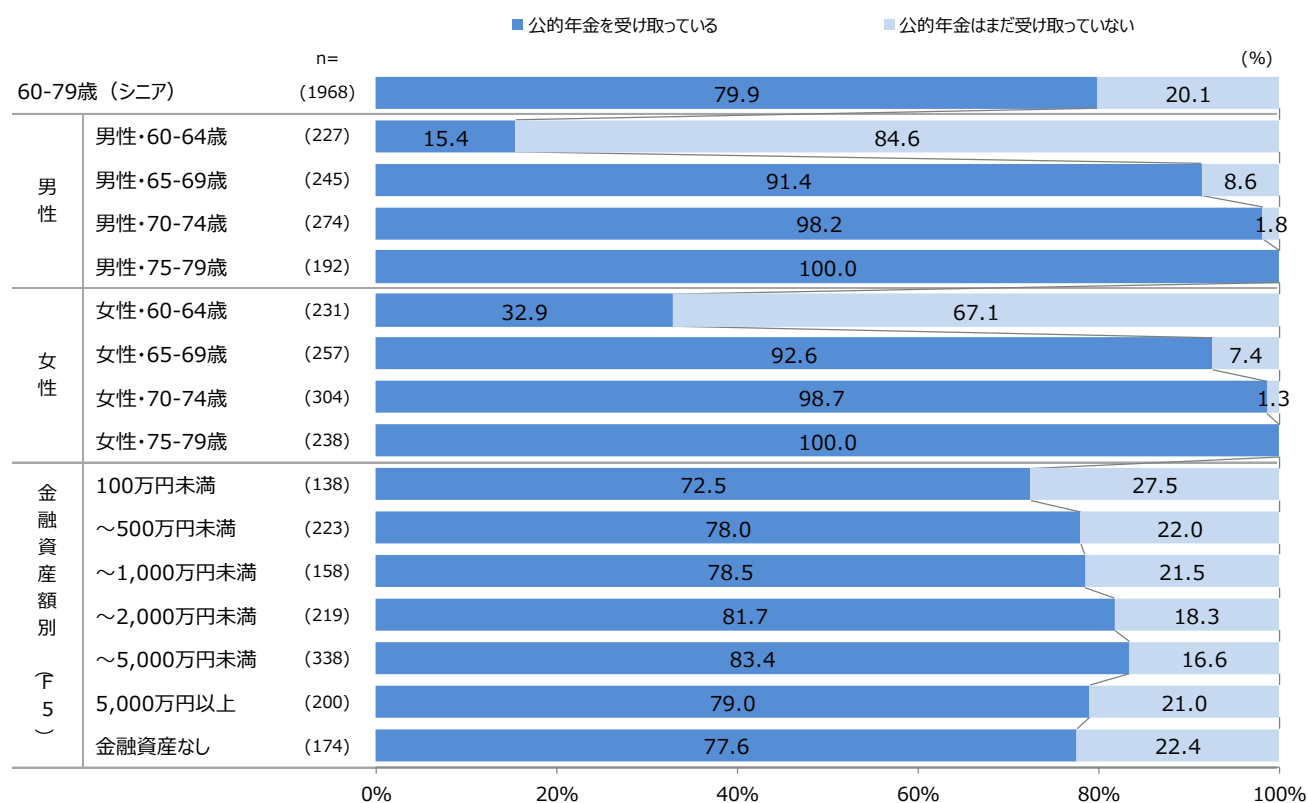


6. 老後生活へ向けた現状・意識

(2) 年金受給状況〔Q10:単数回答〕 (60歳以上の公的年金受給可能者)

- 60歳以上の人のうち、「公的年金(国民年金・厚生年金)を受け取っている」のは79.9%、「受け取っていない」は20.1%。
- 性・年齢別では、「公的年金を受け取っている」は、65歳以上では男女とも9割以上だが、60-64歳では男性は15.4%であるのに対し、女性は32.9%となっている。〔図6-2〕

〔図6-2〕

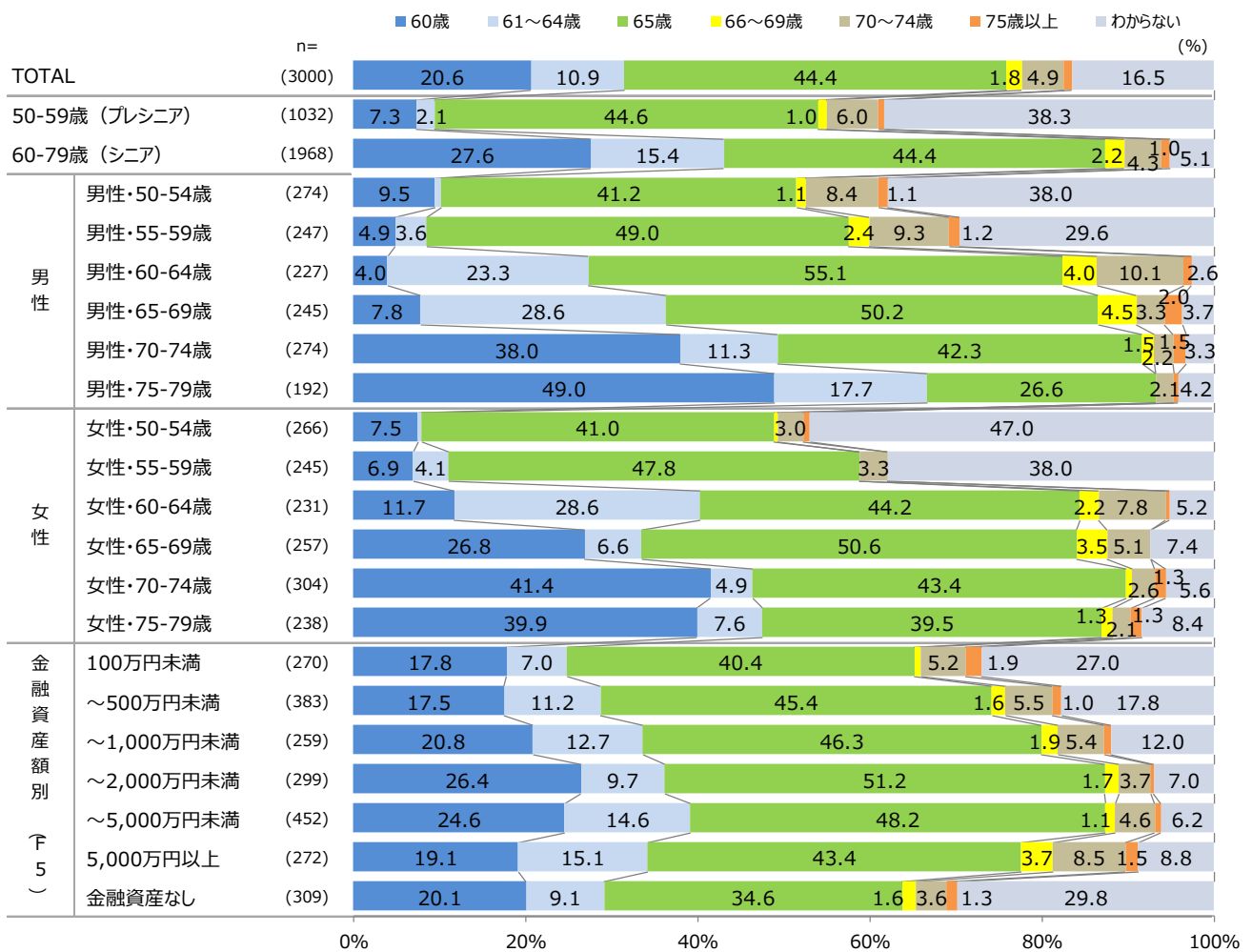


6. 老後生活へ向けた現状・意識

(3) 年金受給開始（希望）年齢〔Q11:単数回答〕

- 年金受給開始年齢については、「65歳」(44.4%)が中心で、次いで「60歳」(27.6%)となっている。
- 性・年齢別では、男女とも70代で「60歳」「65歳」が中心となっている。〔図6-3〕

〔図6-3〕



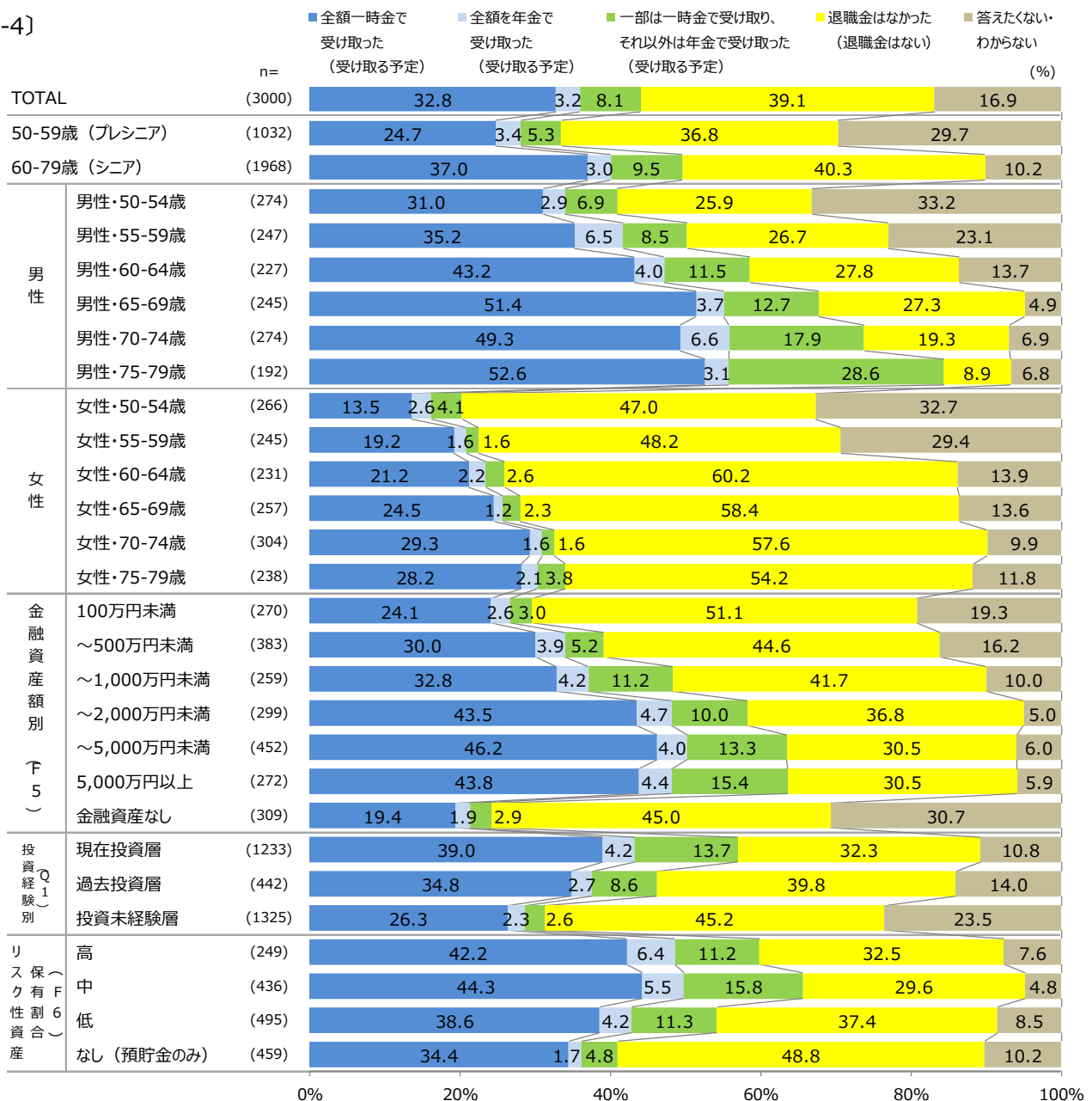
※1%未満は非表示

6. 老後生活へ向けた現状・意識

(4) 退職金の有無〔Q12:単数回答〕

- 退職金の有無については、「退職金はなかった(ない)」が39.1%と最も高く、次いで「全額一時金で受け取った(受け取る予定)」が32.8%で続く。
- 性・年齢別では、全体的に男性は「全額一時金で受け取った(受け取る予定)」、女性は「退職金はなかった(ない)」が高い(有職率の男女差の影響と考えられる)。
- 金融資産額別では、資産額が高くなるにつれて「全額一時金で受け取った(受け取る予定)」の割合が高くなる傾向。
- 投資経験別では、現在投資層では「全額一時金で受け取った(受け取る予定)」が、投資未経験層では「退職金はなかった(ない)」が他層に比べて高い。
- リスク性資産保有割合別では、保有なし(預貯金のみ)の層で「退職金はなかった(ない)」が半数弱と高い。〔図6-4〕

〔図 6-4〕

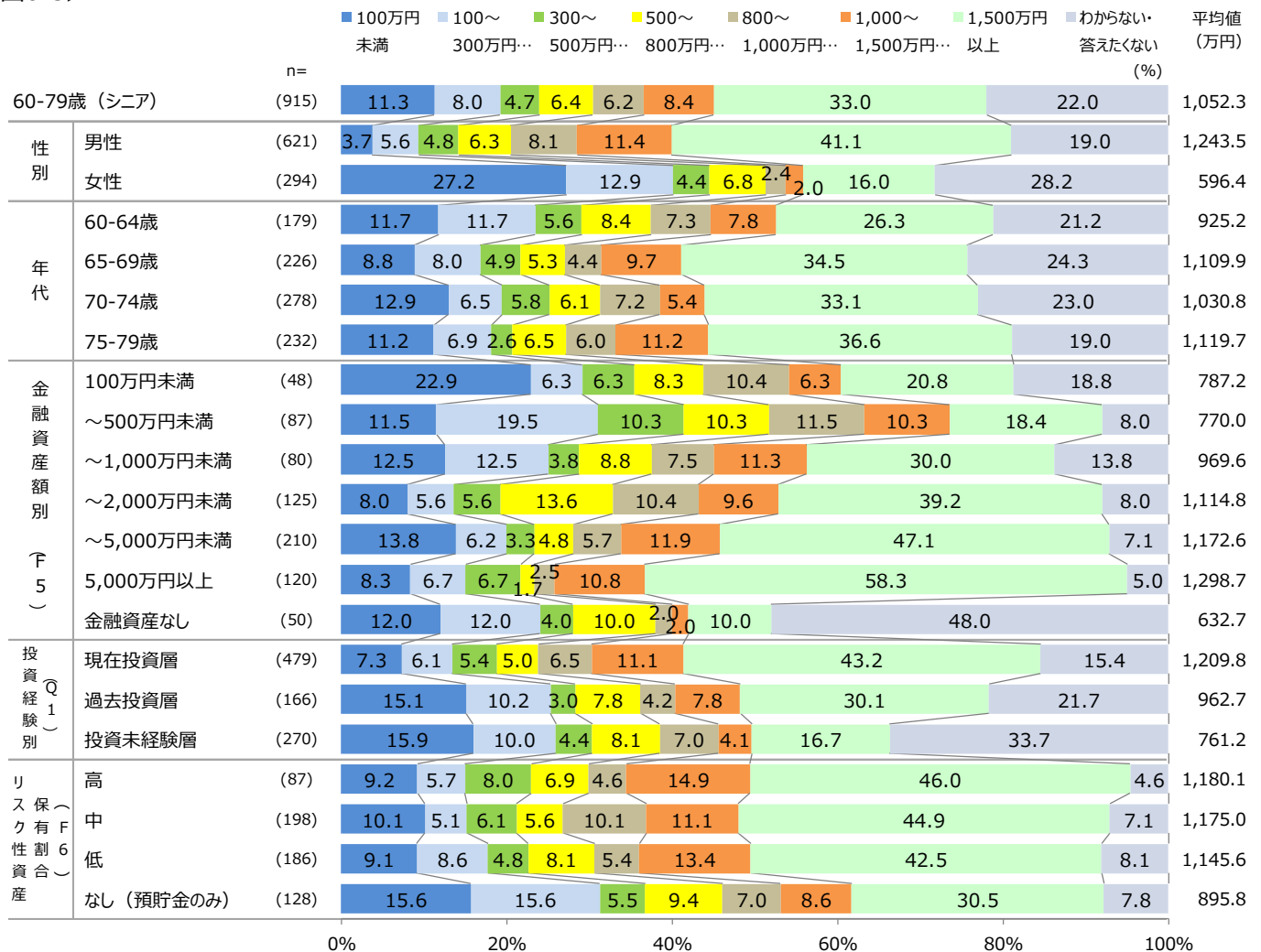


6. 老後生活へ向けた現状・意識

(5) 退職一時金の受け取り額〔Q13:単数回答〕 (退職一時金受給者・受給予定者)

- 退職一時金の受け取り(予定)額は、60～79歳のシニア層の平均で、1,052.3万円で、「1,500万円以上」(33.0%)が最も高い。
- 性別・年代別では、平均値で男女差が600万円以上と差が大きい。また、60-64歳では平均925.2万円で、それ以上の年齢層では平均1,000万円以上となっており、開きがみられる。
- 投資経験別では、現在投資層では平均1,209.8万円に対し、投資未経験層では761.2万円と差が大きい。
- リスク性資産保有割合別では、高・中・低の間での平均値には大きな差はみられず、リスク性資産なし(預貯金のみ)では895.8万円と他層に比べて低くなっている。〔図6-5〕

〔図6-5〕

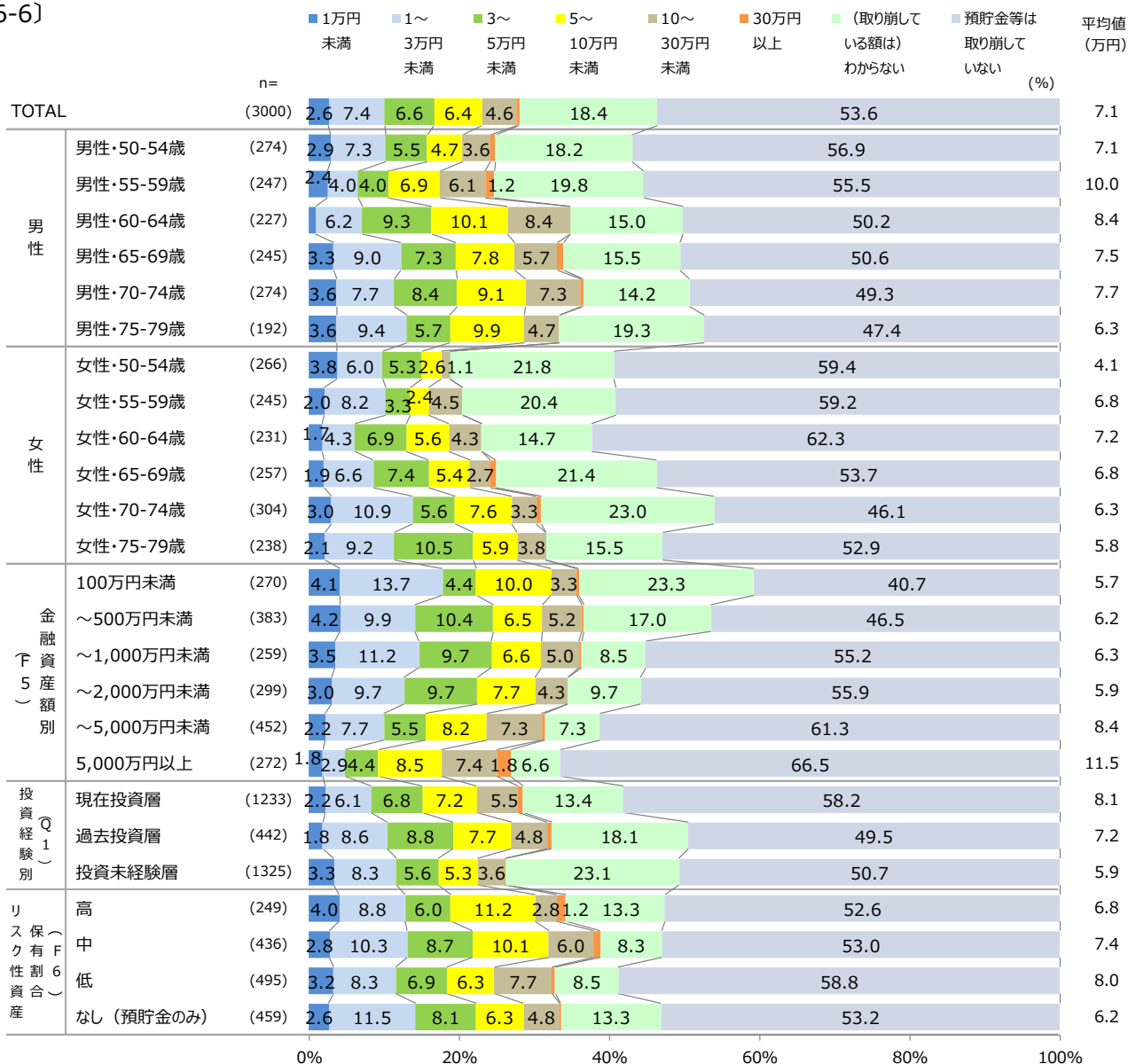


6. 老後生活へ向けた現状・意識

(6) 毎月の預貯金の取り崩し額〔Q14:単数回答〕

- 毎月の預貯金の取り崩し額については、「預貯金等は取り崩していない」(53.6%)が半数を超える。取り崩している人の平均額は7.1万円。「(取り崩している額は)わからない」(18.4%)は2割弱。
- 性・年齢別では、男女とも60代以上で年齢が上がるにつれ「預貯金等は取り崩していない」は減少し、取り崩す割合が高くなる傾向だが、取り崩し平均額は徐々に小さくなる。
- 金融資産額別では、資産額が多いほど「預貯金等は取り崩していない」が増加するが、取り崩し平均額は資産額が多いほど高くなる。
- 投資経験別では、現在投資層で「預貯金等は取り崩していない」が高く、取り崩し平均額は他層の中で最も高い。
- リスク性資産の保有割合では、低い層では「預貯金等は取り崩していない」が他層より高く、取り崩し平均額は最も高い。〔図6-6〕

〔図 6-6〕



※1%未満は非表示

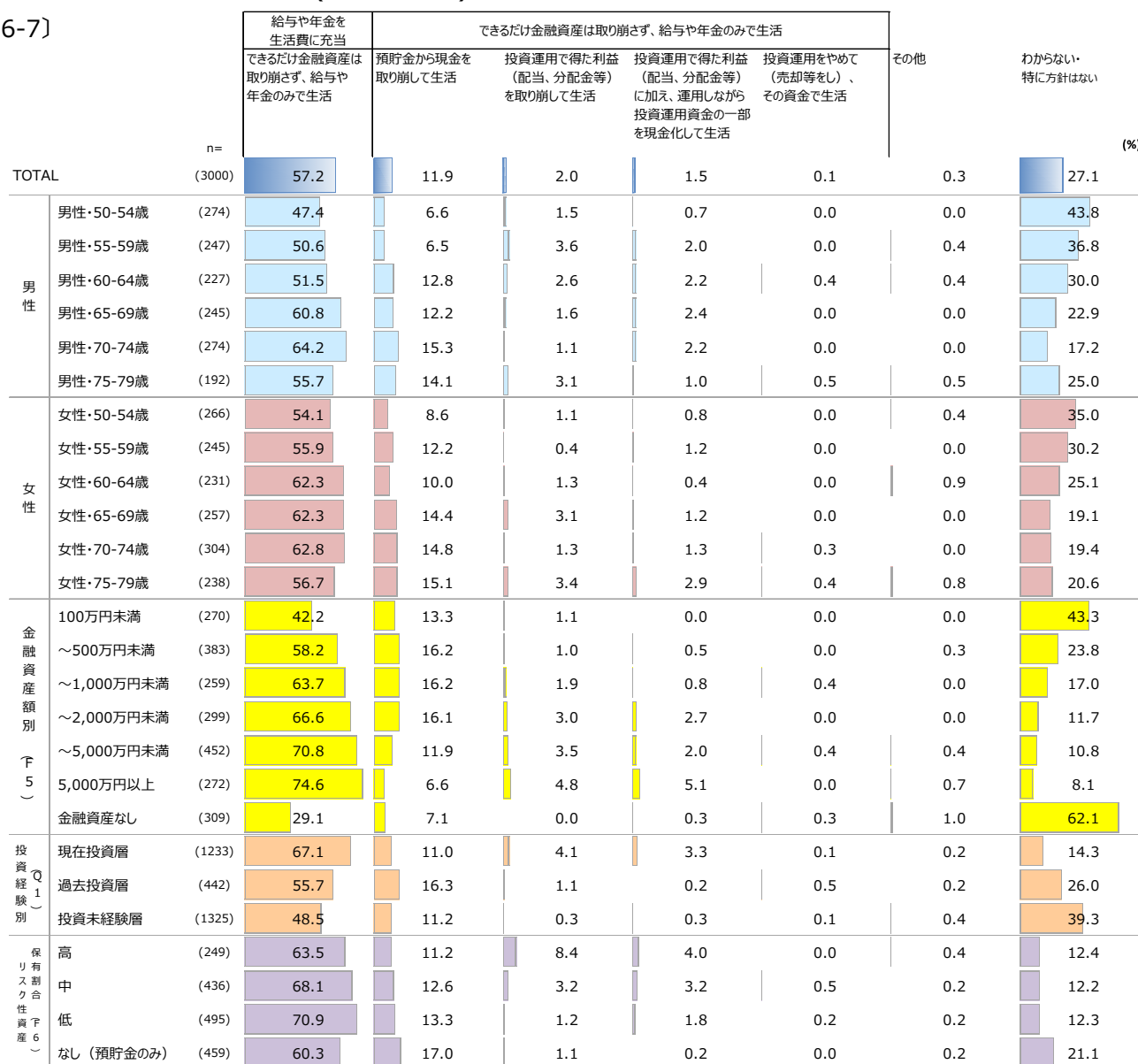
6. 老後生活へ向けた現状・意識

(7) これまで・今後の金融資産管理方針〔Q15:単数回答〕

①これまでの5年間の資産管理方針

- これまでの5年間の資産管理方針については、「できるだけ金融資産は取り崩さず、給与や年金のみで生活」(57.2%)が最も高く、「わからない・特に方針はない」(27.1%)が続く。「預貯金から現金を取り崩して生活」(11.9%)は1割強。
- 性・年齢別では、60代前半以下では、男性より女性の方が「できるだけ金融資産は取り崩さず、給与や年金のみで生活」が高い。男性・50-54歳では4割強が「わからない・特に方針はない」となっている。
- 金融資産額別では、資産額が多いほど「できるだけ金融資産は取り崩さず、給与や年金のみで生活」が高い。「わからない・特に方針はない」はこれと逆の傾向。
- 投資経験別では、現在投資層で「できるだけ金融資産は取り崩さず、給与や年金のみで生活」が特に高い。「わからない・特に方針はない」は投資未経験層で高い。
- リスク性資産保有割合別では、「できるだけ金融資産は取り崩さず、給与や年金のみで生活」が保有割合が低いほど高い。保有なし(預貯金のみ)では、「わからない・特にない」が他層に比べて高い。〔図6-7〕

〔図 6-7〕



6. 老後生活へ向けた現状・意識

(7) これまで・今後の金融資産管理方針〔Q15:単数回答〕

②今後5年間程度での資産管理方針

- 今後5年間の資産管理方針は、「できるだけ金融資産は取り崩さず、給与や年金のみで生活」(51.0%)が最も高く、「わからない・特に方針はない」(29.8%)が続く。『これまでの5年間の方針』と同様の傾向。
- 性・年齢別では、男性・60代前半以下では、「できるだけ金融資産は取り崩さず、給与や年金のみで生活」が60代後半以降に比べて低く、「わからない・特に方針はない」が高い傾向。
- 金融資産額別では、「～1,000万円未満」以上で「できるだけ金融資産は取り崩さず、給与や年金のみで生活」が6割前後。100万円未満、金融資産なしでは「わからない・特に方針はない」が高い。
- 投資経験別では、現在投資層で「できるだけ金融資産は取り崩さず、給与や年金のみで生活」が高い。高い。「わからない・特に方針はない」は投資未経験層で高い。
- リスク性資産保有割合別では、保有割合が低い層で「できるだけ金融資産は取り崩さず、給与や年金のみで生活」がやや高い。保有なし(預貯金のみ)は、「わからない・特にない」が他層に比べて高い。〔図6-8〕

〔図 6-8〕

	n=	できるだけ金融資産は取り崩さず、給与や年金のみで生活							わからない・特に方針はない (%)
		給与や年金を生活費に充当 できるだけ金融資産は取り崩さず、給与や年金のみで生活	預貯金から現金を取り崩して生活	投資運用で得た利益(配当、分配金等)を取り崩して生活	投資運用で得た利益(配当、分配金等)に加え、運用しながら投資運用資金の一部を現金化して生活	投資運用をやめて(売却等をし)、その資金で生活	その他	わからない・特に方針はない	
TOTAL	(3000)	51.0	13.0	2.7	2.7	0.6	0.2	29.8	
男性	男性・50-54歳 (274)	47.4	4.0	1.8	2.6	0.0	0.0	44.2	
	男性・55-59歳 (247)	44.9	9.7	4.9	2.4	0.0	0.0	38.1	
	男性・60-64歳 (227)	45.4	15.0	4.0	3.5	0.0	0.4	31.7	
	男性・65-69歳 (245)	53.1	10.6	4.1	4.5	0.8	0.0	26.9	
	男性・70-74歳 (274)	53.6	16.4	3.3	4.7	0.0	0.4	21.5	
	男性・75-79歳 (192)	50.5	14.1	4.7	2.1	1.6	0.5	26.6	
女性	女性・50-54歳 (266)	54.9	5.6	1.1	0.8	0.0	0.4	37.2	
	女性・55-59歳 (245)	55.9	11.0	0.0	2.0	0.4	0.0	30.6	
	女性・60-64歳 (231)	51.1	16.5	2.2	1.3	0.9	0.4	27.7	
	女性・65-69歳 (257)	52.1	15.2	3.1	2.3	1.9	0.0	25.3	
	女性・70-74歳 (304)	52.0	20.4	2.0	1.6	0.7	0.0	23.4	
	女性・75-79歳 (238)	50.0	17.2	2.1	4.2	1.3	0.8	24.4	
金融資産額別 (下5)	100万円未満 (270)	40.4	10.7	0.7	0.7	0.0	0.0	47.4	
	～500万円未満 (383)	53.8	15.9	2.6	1.8	0.5	0.3	25.1	
	～1,000万円未満 (259)	59.1	15.4	1.9	1.9	1.2	0.0	20.5	
	～2,000万円未満 (299)	61.9	17.1	3.7	3.3	1.0	0.0	13.0	
	～5,000万円未満 (452)	61.1	15.3	5.5	4.0	1.8	0.7	11.7	
	5,000万円以上 (272)	62.9	11.4	5.9	8.5	0.0	0.7	10.7	
	金融資産なし (309)	27.5	5.2	0.0	0.6	0.3	0.3	66.0	
投資経験別 (Q1)	現在投資層 (1233)	57.6	13.1	5.8	5.9	1.1	0.2	16.1	
	過去投資層 (442)	50.0	18.3	1.4	0.2	0.5	0.2	29.4	
	投資未経験層 (1325)	45.2	11.0	0.2	0.5	0.2	0.2	42.7	
リスク性資産保有割合 (下6)	高 (249)	59.4	10.4	8.0	7.2	1.6	0.4	12.9	
	中 (436)	56.2	15.6	6.4	6.4	0.9	0.2	14.2	
	低 (495)	63.6	16.0	1.8	2.2	1.6	0.4	14.3	
	なし(預貯金のみ) (459)	57.3	16.6	1.3	1.3	0.0	0.2	23.3	

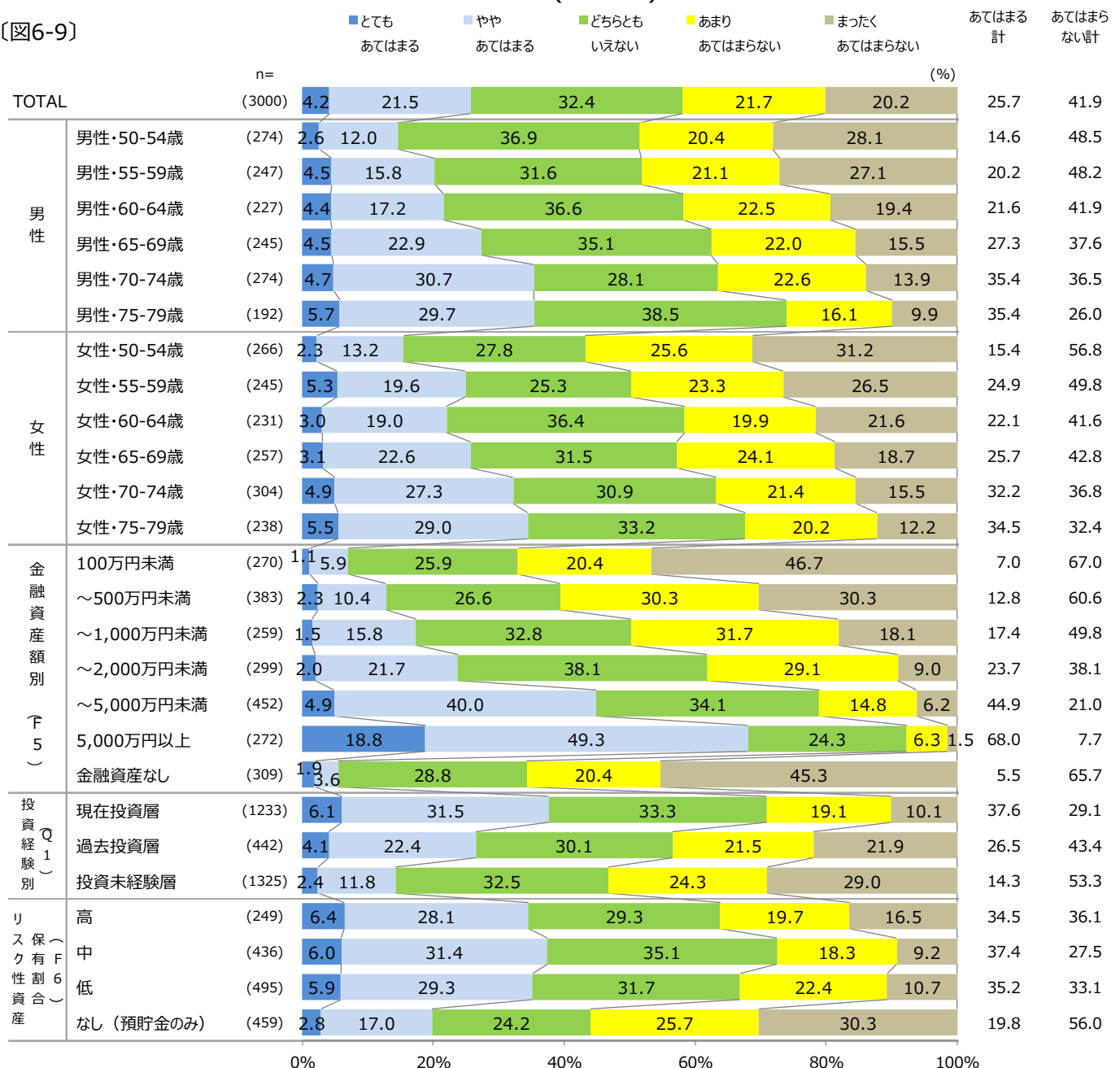
6. 老後生活へ向けた現状・意識

(8) 生活・お金に関する安心感・不安感〔Q18:単数回答〕

①現在の生活に経済的な安心感がある

- 生活・お金に関する安心感等について、4項目に分けてそれぞれ5段階で尋ねた。「現在の生活に経済的な安心感がある」について、「あてはまる計(とても+ややあてはまる)」は25.7%、「あてはまらない計(あまり+まったくあてはまらない)」は41.9%と後者が大きく上回る。
- 性・年齢別では、男女差はみられないものの、年齢が上がるにつれて「あてはまる計」が高くなり、「あてはまらない計」が低くなる。
- 金融資産額別では、金額が増加するにつれ、「あてはまる計」が高くなり、「5,000万円以上」では「とてもあてはまる」(18.8%)が他層に比べて高い。
- 投資経験別では、現在投資層で「あてはまる計」(37.6%)が他層に比べて高い。〔図6-9〕

〔図6-9〕



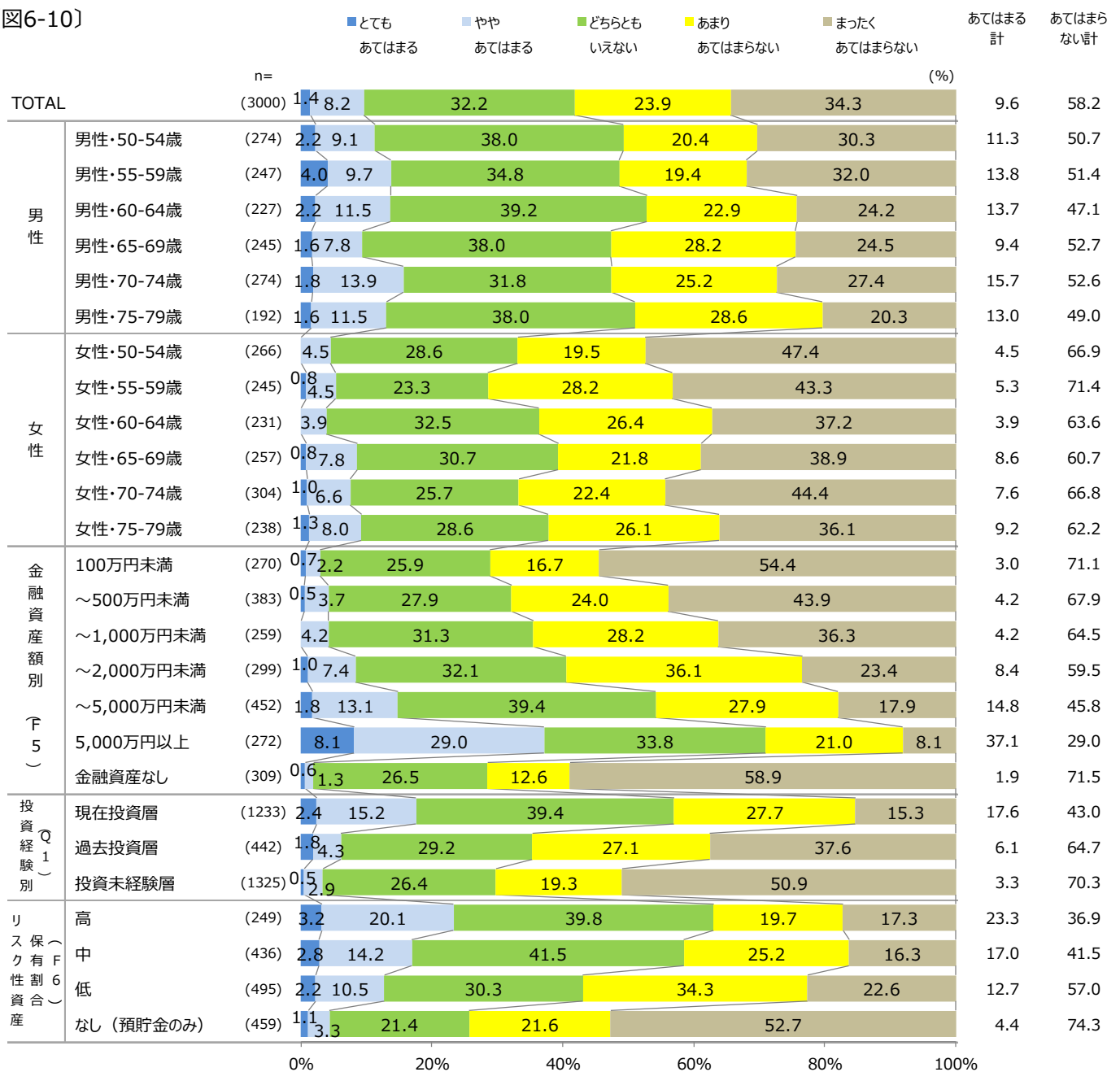
6. 老後生活へ向けた現状・意識

(8) 生活・お金に関する安心感・不安感〔Q18:単数回答〕

②投資判断・金融資産の管理に自信がある

- 「投資判断・金融資産の管理に自信がある」について、「あてはまる計(とても+ややあてはまる)」は9.6%、「あてはまらない計(あまり+まったくあてはまらない)」は58.2%と両者の差が大きい。
- 性・年齢別では、多くの年齢層で男性の方が「あてはまる計」が高い。女性・55-59歳では「あてはまらない計」が71.4%と高さが目立つ。
- 金融資産額別では、「5,000万円以上」では「あてはまる計」が37.1%に達し、特に高い。
- 投資経験別では、現在投資層で「あてはまる計」(17.6%)が他層に比べて高い。
- リスク性資産保有割合別では、保有割合が高いほど「あてはまる計」が高くなる。〔図6-10〕

〔図6-10〕



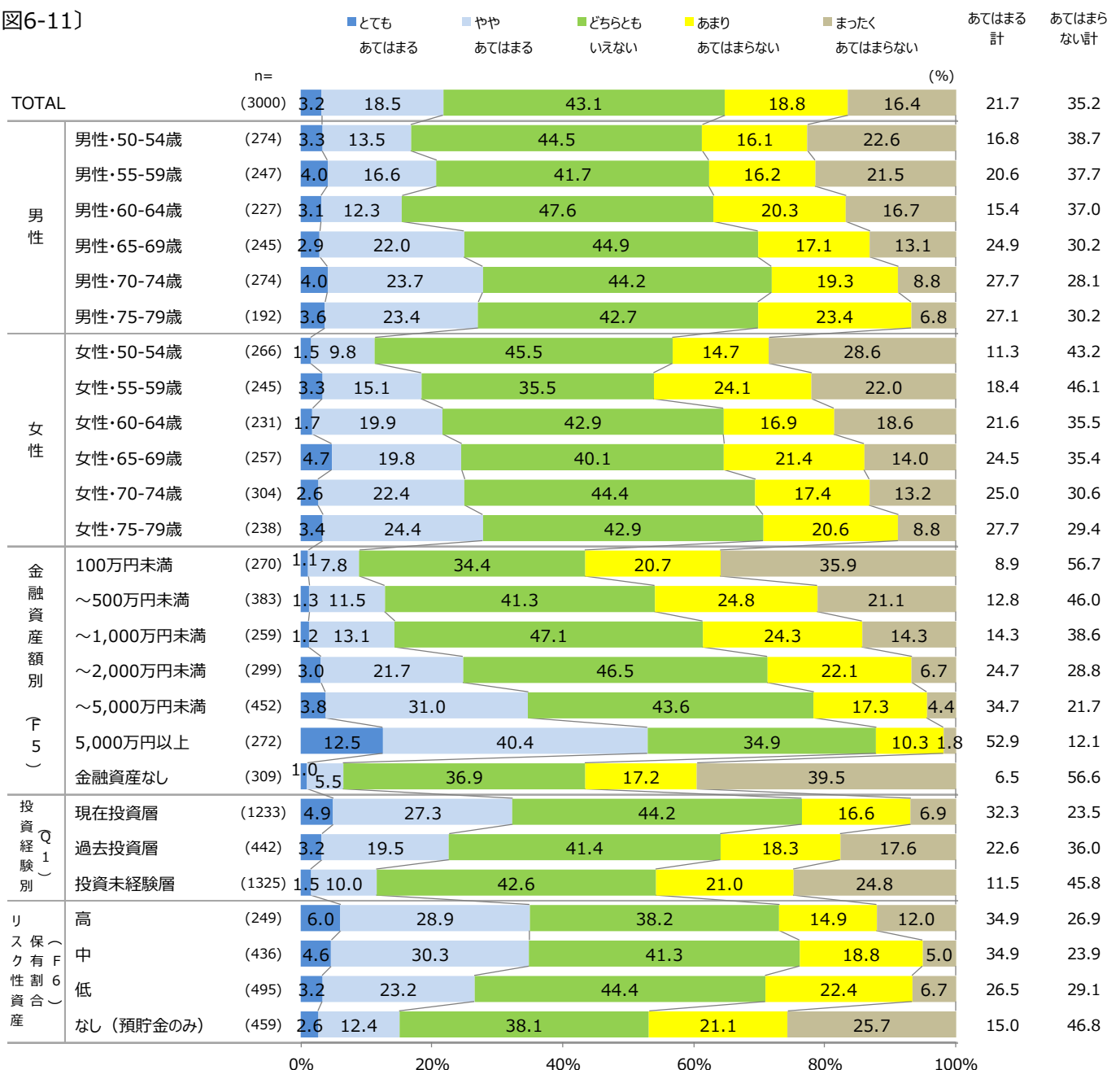
6. 老後生活へ向けた現状・意識

(8) 生活・お金に関する安心感・不安感〔Q18:単数回答〕

③これからの生活に楽しみ・期待感がある

- 「これからの生活に楽しみ・期待感がある」について、「あてはまる計(とても+ややあてはまる)」は21.7%、「あてはまらない計(あまり+まったくあてはまらない)」は35.2%と後者が上回る。
- 性・年齢別では、女性では「あてはまる計」が年齢が上がるにつれて増加。男性では50-54歳と60-64歳で「あてはまる計」がやや低い。
- 金融資産額別では、資産額が高いほど「あてはまる計」が増加。
- 投資経験別では、現在投資層で「あてはまる計」が32.3%と他層に比べて高い。
- リスク性資産保有割合別では、保有割合の高・中層で「あてはまる計」が34.9%と高い。〔図6-11〕

〔図6-11〕



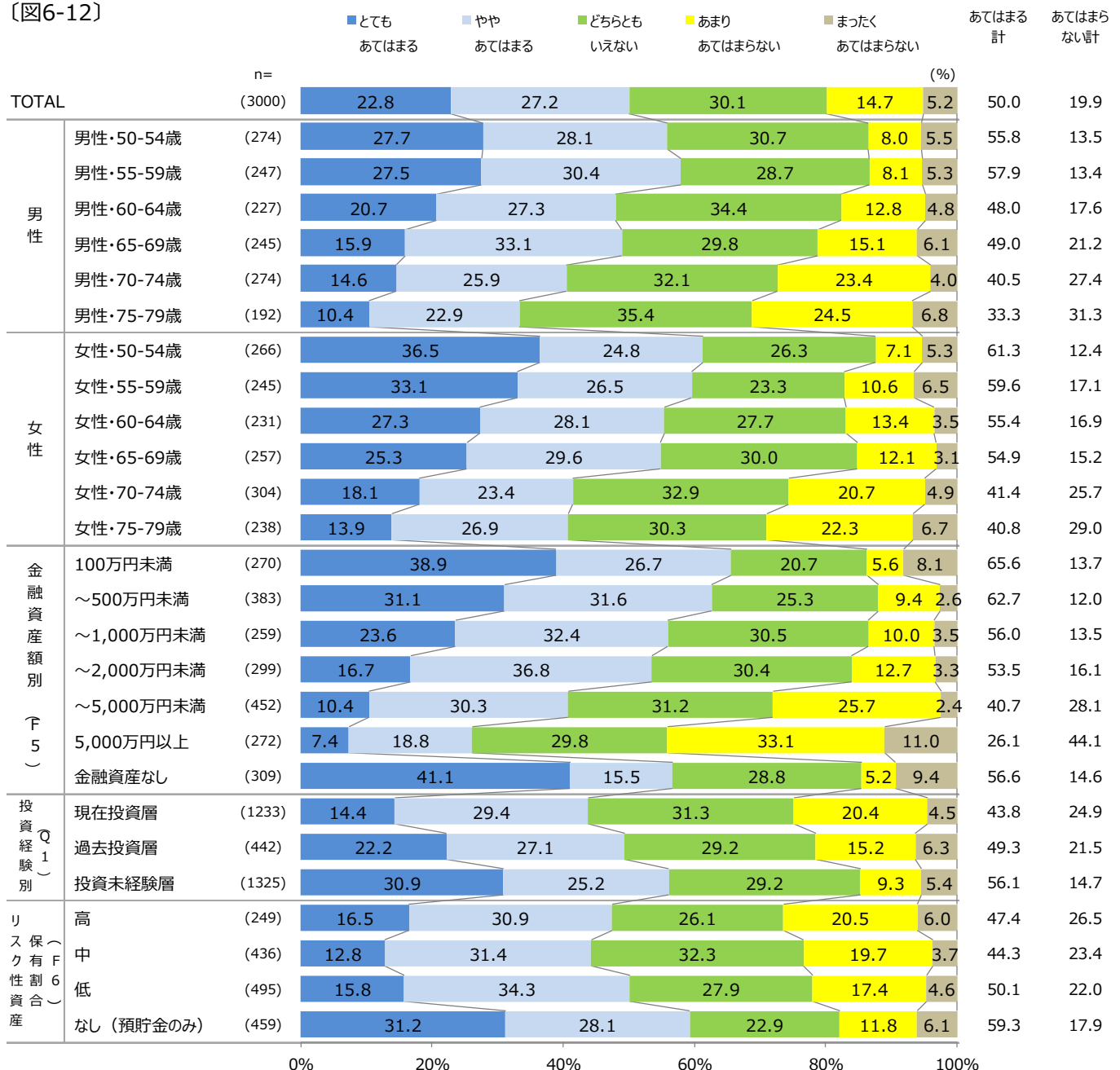
6. 老後生活へ向けた現状・意識

(8) 生活・お金に関する安心感・不安感〔Q18:単数回答〕

④これからの生活に不安感がある

- 「これからの生活に不安感がある」について、「あてはまる計(とても+ややあてはまる)」(50.0%)は半数、「あてはまらない計(あまり+まったくあてはまらない)」は19.9%と前者の方が高い。
- 性・年齢別では、女性・50-54歳で「あてはまる計」が6割を超える。男女ともに年齢が低いほど増加。
- 金融資産額別では、資産額が低いほど「あてはまる計」が増加。
- 投資経験別では、現在未経験層で「あてはまる計」が56.1%と半数を超える。
- リスク性資産保有割合別では、保有なし(預貯金のみ)で「あてはまる計」が59.3%と高い。〔図6-12〕

〔図6-12〕



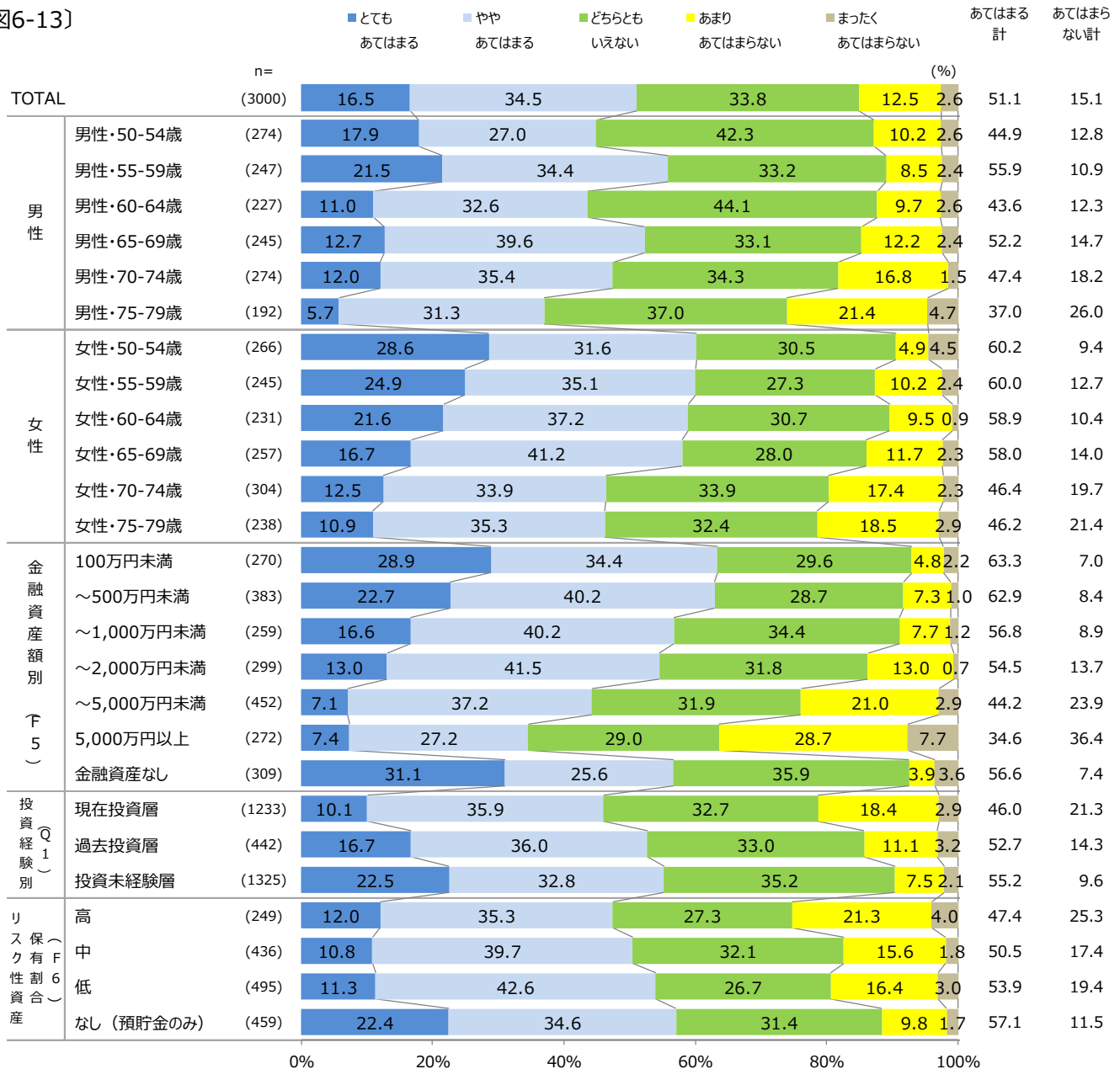
6. 老後生活へ向けた現状・意識

(9) 生活・お金に関する価値観〔Q19:単数回答〕

①生活やお金の現状を変えることに不安を感じる

- 生活・お金に関する価値観について、8項目に分けてそれぞれ5段階で尋ねた。「生活やお金の現状を変えることに不安を感じる」について、「あてはまる計(とても+ややあてはまる)」は51.1%と半数を超える。
- 性・年齢別では、各年齢層で男性より女性の方が「あてはまる計」が高く、年齢が低いほど高い。男性は75-79歳、60-64歳、50-54歳で「あてはまる計」がやや低い。
- 金融資産額別では、資産額が低いほど「あてはまる計」が増加。金融資産なしでは、「とてもあてはまる」が特に高い。
- 投資経験別では、投資未経験層・過去投資層で「あてはまる計」が半数を超える。
- リスク性資産保有割合別では、保有なし(預貯金のみ)で「とてもあてはまる」が特に高い。〔図6-13〕

〔図6-13〕



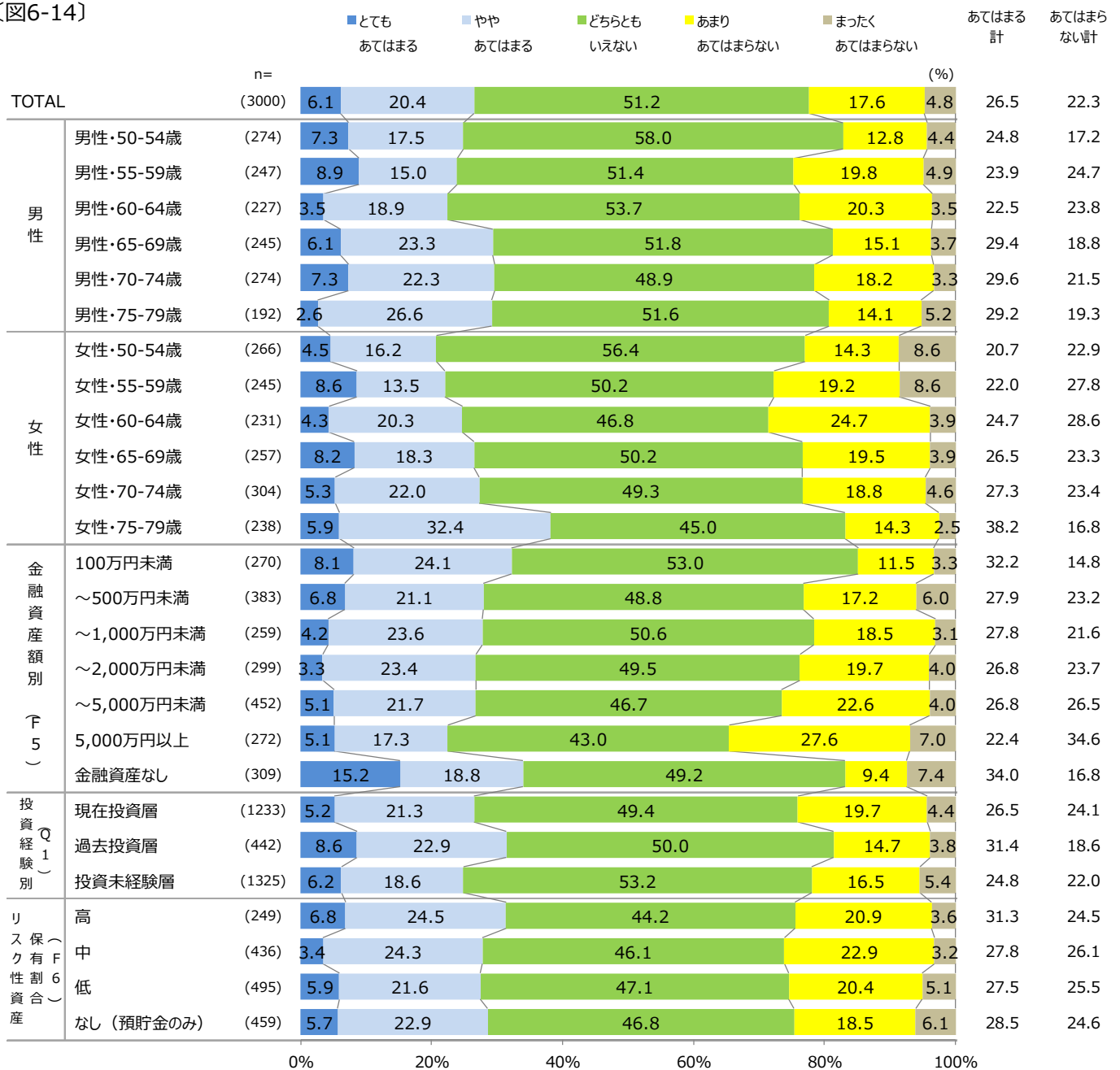
6. 老後生活へ向けた現状・意識

(9) 生活・お金に関する価値観〔Q19:単数回答〕

② 将来よりも今の利益を得たい

- 「将来よりも今の利益を得たい」について、「あてはまる計(とても + ややあてはまる)」は26.5%、「どちらでもない」が51.2%と半数を超える。
- 性・年齢別では、女性・75-79歳で「あてはまる計」が38.2%と特に高い。
- 金融資産額別では、資産額が低いほど「あてはまる計」が増加。金融資産なしでは、「とてもあてはまる」が特に高い。
- 投資経験別では、過去投資層で「あてはまる計」が31.4%とやや高い。〔図6-14〕

〔図6-14〕



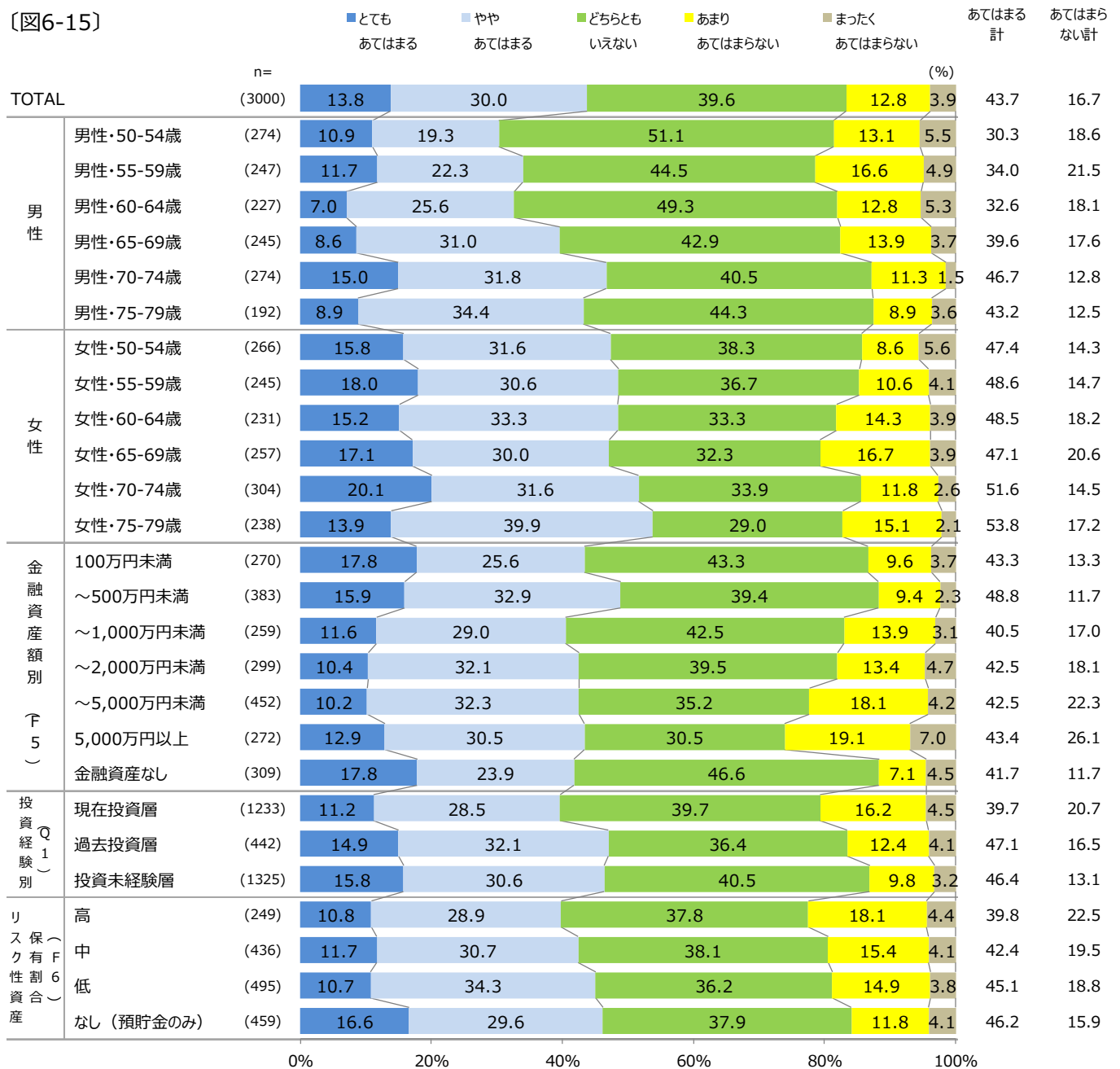
6. 老後生活へ向けた現状・意識

(9) 生活・お金に関する価値観〔Q19:単数回答〕

③お金の話を他人にすることは、はばかれる

- 「お金の話を他人にすることは、はばかれる」について、「あてはまる計(とても+ややあてはまる)」は43.7%と4割を超える。
- 性・年齢別では、男性・70-74歳までは年齢が上がるにつれて「あてはまる計」が高くなる傾向。
- 金融資産額別では、資産額「～500万円未満」で「あてはまる計」がやや高いが他では差はみられない。
- 投資経験別では、過去投資層・投資未経験層で「あてはまる計」が現在投資層より高い。
- リスク性資産保有割合別では、割合が高い層ほど「あてはまらない計」が高くなる傾向。〔図6-15〕

〔図6-15〕



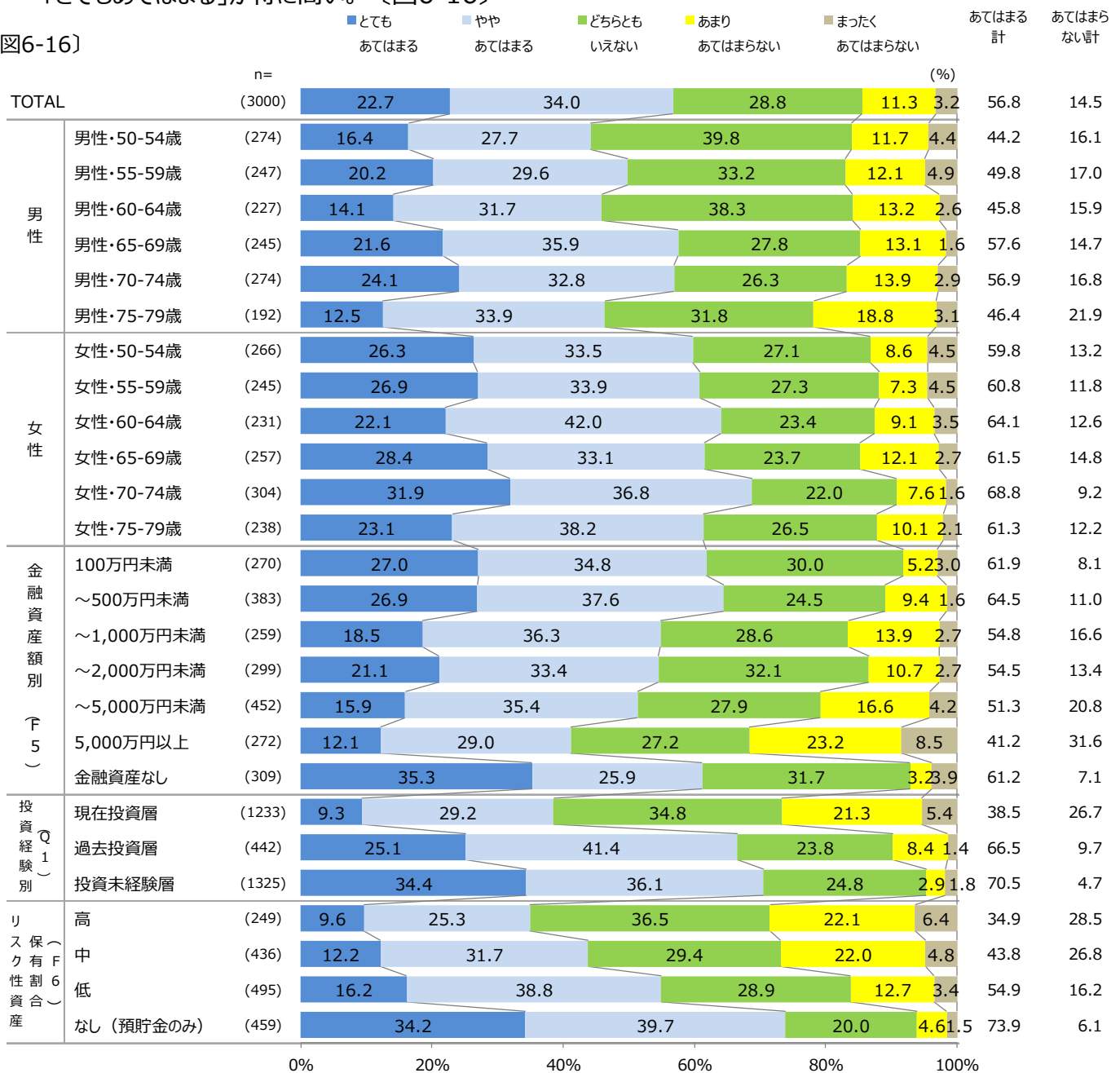
6. 老後生活へ向けた現状・意識

(9) 生活・お金に関する価値観〔Q19:単数回答〕

④投資はギャンブルのように感じる

- 「投資はギャンブルのように感じる」について、「あてはまる計(とても+ややあてはまる)」は56.8%と半数を超える。
- 性・年齢別では、男性・65-69歳と男女・70-74歳で「あてはまる計」が高い。
- 金融資産額別では、金融資産なしで「とてもあてはまる」が61.2%と特に高い。保有資産額が低いほど「あてはまる計」が高くなる傾向。
- 投資経験別では、現在投資層で「あてはまる計」が特に低く、「あてはまらない計」が高い。
- リスク性資産保有割合別では、割合が高い層ほど「あてはまる計」が低くなる。保有なし(預貯金のみ)は「とてもあてはまる」が特に高い。〔図6-16〕

〔図6-16〕



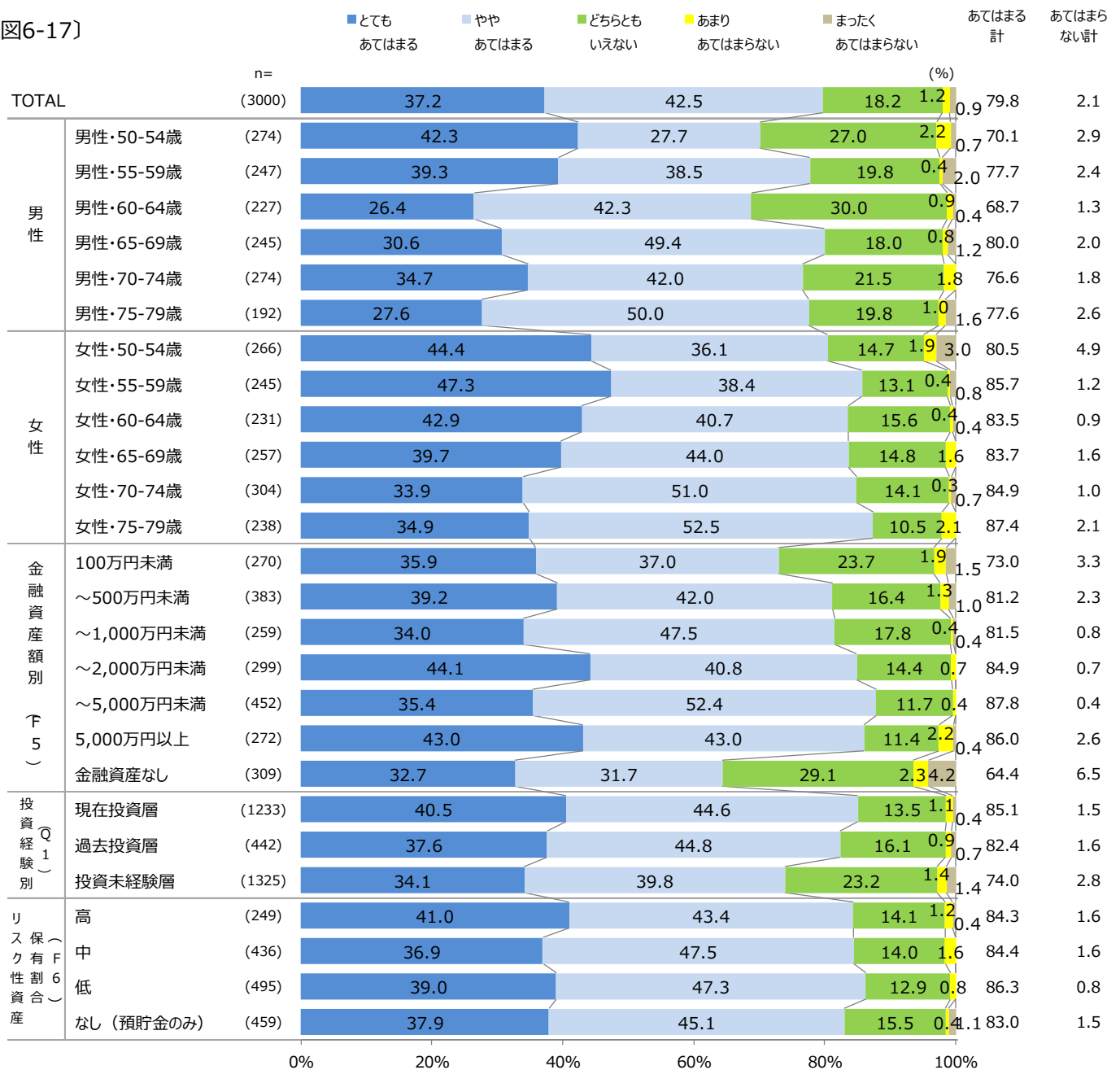
6. 老後生活へ向けた現状・意識

(9) 生活・お金に関する価値観〔Q19:単数回答〕

⑤お金が増えるのは嬉しい

- 「お金が増えるのは嬉しい」について、「あてはまる計(とても + ややあてはまる)」は79.8%と8割を占める。
- 性・年齢別では、男性・60-64歳、50-54歳で「あてはまる計」がやや低い。
- 金融資産額別では、金融資産なしで「あてはまる計」が特に低い。
- 投資経験別では、投資未経験層で「あてはまる計」が低い。〔図6-17〕

〔図6-17〕



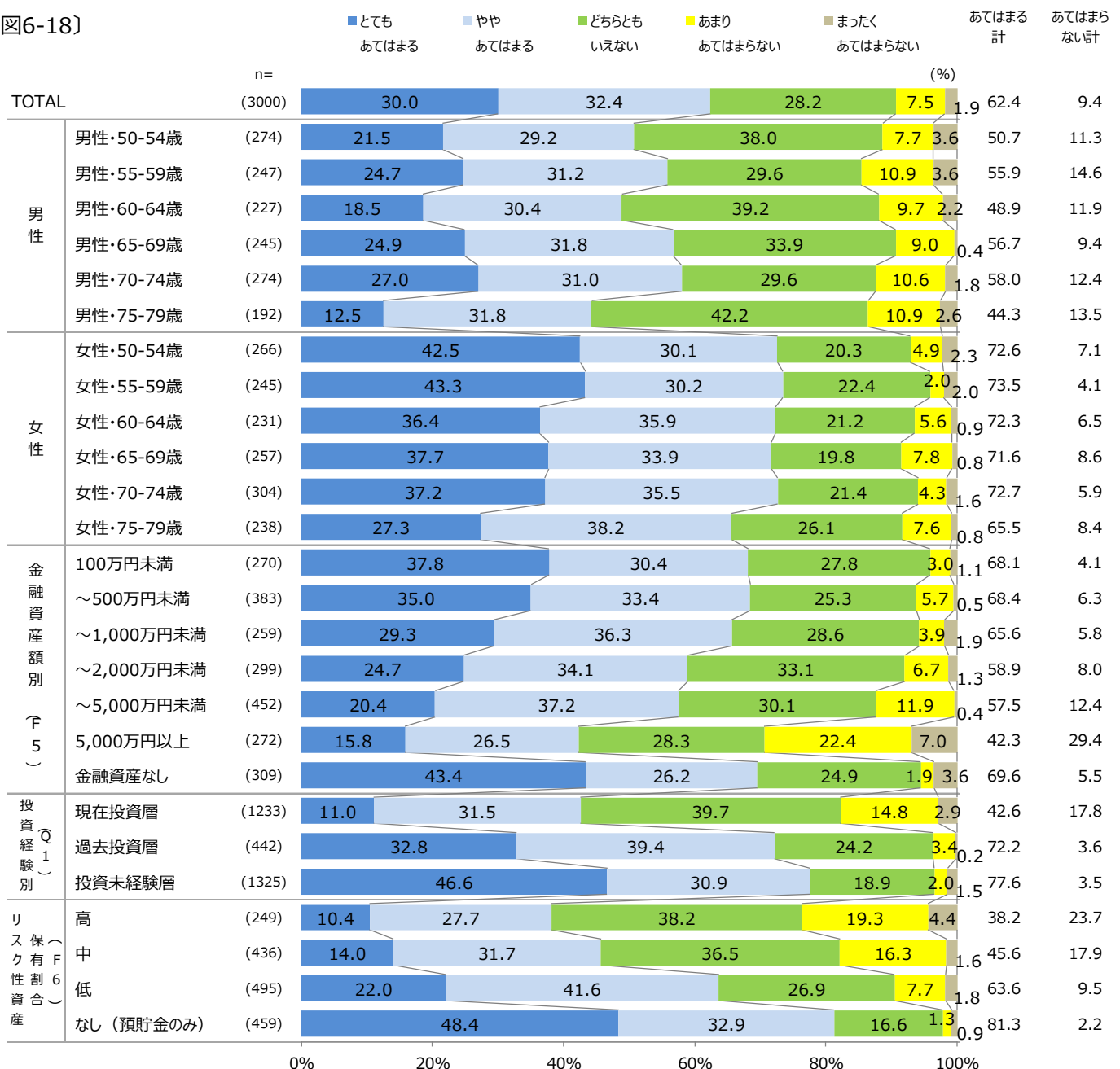
6. 老後生活へ向けた現状・意識

(9) 生活・お金に関する価値観〔Q19:単数回答〕

⑥投資は損をしそうで怖い

- 「投資は損をしそうで怖い」について、「あてはまる計(とても + ややあてはまる)」は62.4%と6割を超える。
- 性・年齢別では、各年齢層とも男性より女性の方が「とてもあてはまる」が高い。年齢層では男女ともに75-79歳で「とてもあてはまる」が低い点が目立つ。
- 金融資産額別では、金融資産なしで「とてもあてはまる」が43.4%と特に高い。資産額が高いほど「あてはまる計」は減少。
- 投資経験別では、現在投資層で「とてもあてはまる」が特に低い。
- リスク性資産保有割合別では、保有割合が高いほど「あてはまる計」は減少。〔図6-18〕

〔図6-18〕



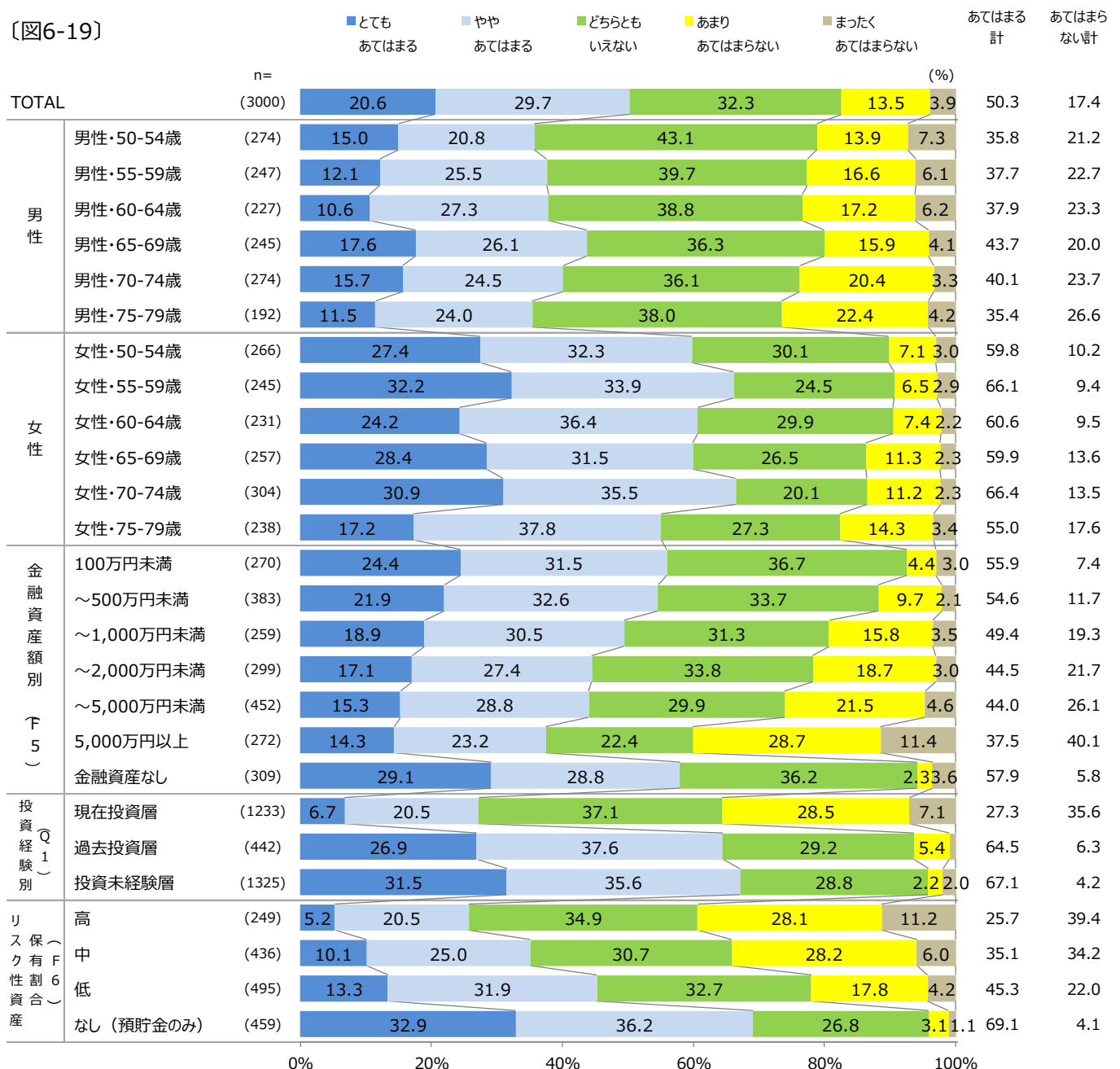
6. 老後生活へ向けた現状・意識

(9) 生活・お金に関する価値観〔Q19:単数回答〕

⑦投資することが面倒に感じる

- 「投資することが面倒に感じる」について、「あてはまる計(とても+ややあてはまる)」は50.3%と約半数。
- 性・年齢別では、各年齢層とも男性より女性の方が「とてもあてはまる」が高い。年齢層では女性・75-79歳で「とてもあてはまる」が低い。
- 金融資産額別では、金融資産なしで「とてもあてはまる」が29.1%と特に高い。資産額が高いほど「あてはまる計」は減少。
- 投資経験別では、現在投資層で「とてもあてはまる」が特に低い。
- リスク性資産保有割合別では、保有割合が高いほど「あてはまる計」は減少。〔図6-19〕

〔図6-19〕



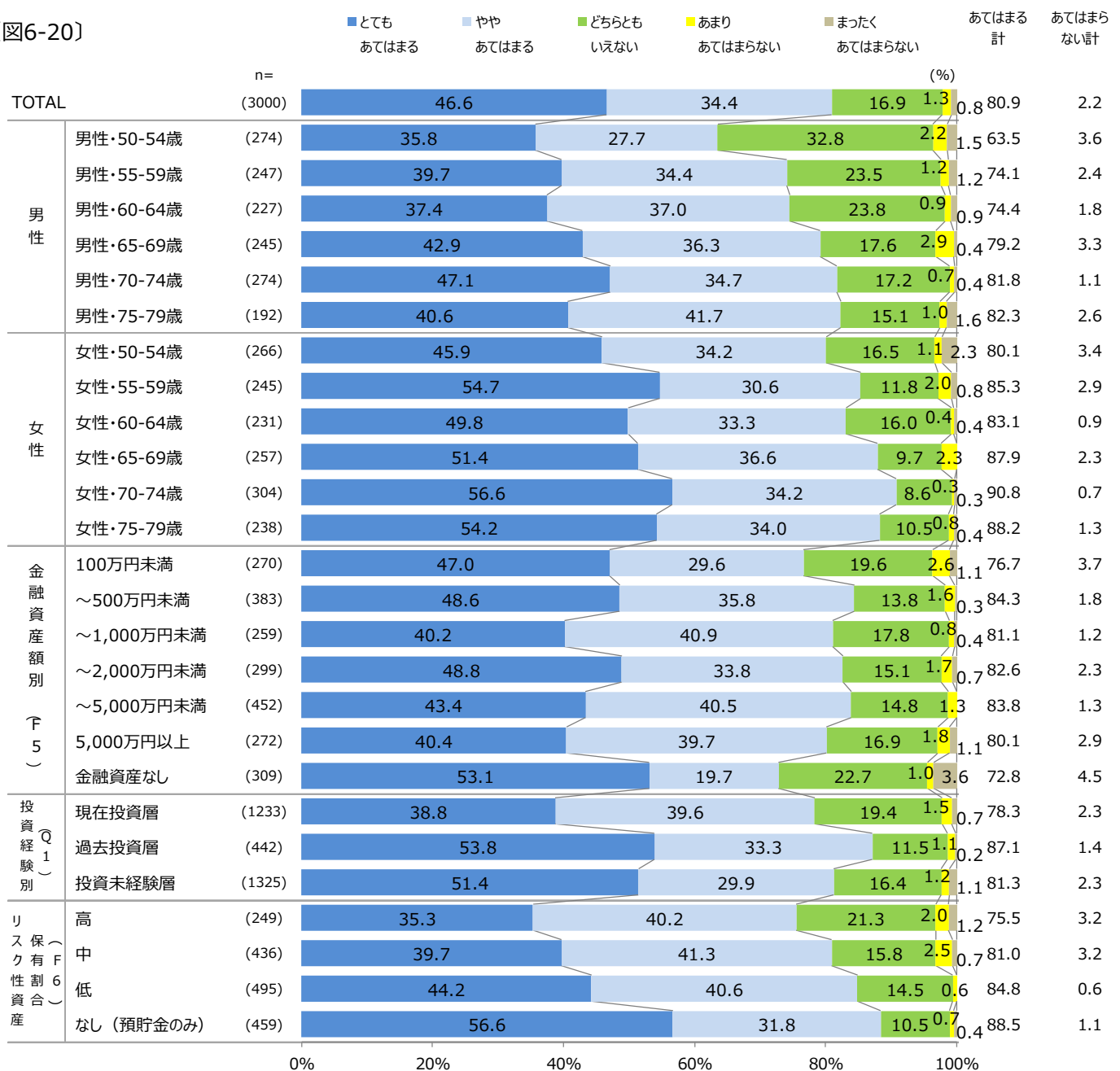
6. 老後生活へ向けた現状・意識

(9) 生活・お金に関する価値観〔Q19:単数回答〕

⑧お金は簡単に増えることはない

- 「お金は簡単に増えることはない」について、「あてはまる計(とても + ややあてはまる)」は80.9%と8割を占める。
- 性・年齢別では、各年齢層とも男性より女性の方が「とてもあてはまる」が高い。年齢層では女性・70-74歳で「あてはまる計」が高い。
- 金融資産額別では、金融資産なしと100万円未満で「あてはまる計」が低い。
- 投資経験別では、過去投資層・投資未経験層で「あてはまる計」が高い。
- リスク性資産保有割合別では、保有割合が高いほど「あてはまる計」は減少。〔図6-20〕

〔図6-20〕



6. 老後生活へ向けた現状・意識

(10) 生活・環境への期待・不安〔Q20:重複回答〕

①期待・前向きに考えていること〈お金・健康〉

- お金・自身の健康について、期待していること・前向きに考えていることは、「今後の生活資金・資産」(11.6%)、「定年延長」(10.2%)が上位。
- 性・年齢別では、「今後の生活資金・資産」は男女とも75-79歳が最も高い。女性・75-79歳では「人との交流・コミュニケーションの機会」「からだの機能・認知や判断能力」が他層に比べて高い。
- 金融資産額別では、「今後の生活資金・資産」は資産額が5,000万円以上で高い。「人との交流・コミュニケーションの機会」は2,000万円未満前後の層を中心にやや高い。
- 投資経験別では、「今後の生活資金・資産」は現在投資層で高い。
- リスク性資産保有割合別では、保有割合が高いほど「今後の生活資金・資産」が高くなる。〔図6-21〕

〔図6-21〕

* 1問を分割して掲載

	n=	お金に関すること									自分の心身の健康面に関すること	
		自分自身の病気・ケガ・介護	物価の上昇	家族の病気・ケガ・介護	円安の進行	今後の生活資金・資産	年金受給開始年齢引き上げ	自分自身の資産管理能力	資産・負債の相続	定年延長	からだの機能・認知や判断能力	人との交流・コミュニケーションの機会
TOTAL	(3000)	58.9	58.5	50.3	42.0	41.9	21.7	17.7	11.7	9.9	47.3	14.6
男性	男性・50-54歳 (274)	43.4	46.4	36.5	32.5	38.0	27.4	12.8	12.0	17.5	33.6	14.2
	男性・55-59歳 (247)	51.8	50.6	42.5	37.2	39.7	34.4	18.2	10.5	14.6	40.9	14.2
	男性・60-64歳 (227)	47.1	49.8	34.8	35.2	36.1	21.1	10.1	9.7	7.0	36.6	11.0
	男性・65-69歳 (245)	54.3	54.7	44.1	38.4	37.1	11.0	12.2	10.2	7.8	44.5	13.5
	男性・70-74歳 (274)	61.7	60.9	54.0	44.9	41.6	12.4	16.8	11.7	6.6	47.1	14.2
	男性・75-79歳 (192)	65.6	64.6	57.3	47.4	39.1	14.6	19.3	13.5	6.3	51.0	15.6
女性	女性・50-54歳 (266)	57.9	60.9	53.8	45.9	50.0	35.0	20.3	11.7	13.5	44.7	18.0
	女性・55-59歳 (245)	61.2	58.0	54.7	44.9	51.0	37.1	21.2	12.7	11.4	44.5	17.6
	女性・60-64歳 (231)	61.9	59.7	57.1	39.4	43.7	22.9	19.0	9.5	7.4	50.2	16.9
	女性・65-69歳 (257)	61.9	59.1	52.1	44.4	41.2	9.7	17.1	9.7	5.8	49.4	10.5
	女性・70-74歳 (304)	72.0	68.1	62.5	47.7	42.1	15.1	19.4	13.2	7.2	62.2	14.8
	女性・75-79歳 (238)	66.8	68.9	53.4	45.8	41.6	19.7	25.6	16.4	12.2	61.8	14.7
金融資産額別 (下5)	100万円未満 (270)	53.7	53.0	42.2	38.9	50.7	20.4	14.8	13.0	11.9	41.9	15.2
	～500万円未満 (383)	62.1	64.0	52.0	45.4	52.2	28.2	17.8	12.5	13.1	44.4	18.3
	～1,000万円未満 (259)	61.4	62.2	49.8	43.6	47.9	26.6	15.1	12.7	11.2	46.3	16.6
	～2,000万円未満 (299)	66.6	64.9	56.9	44.1	46.5	21.4	19.4	10.0	9.7	51.8	13.4
	～5,000万円未満 (452)	61.5	65.0	53.3	48.2	34.5	17.7	14.2	9.3	7.3	52.2	12.8
	5,000万円以上 (272)	59.9	60.3	54.8	43.8	27.6	15.4	24.3	11.0	6.3	56.6	15.8
	金融資産なし (309)	39.8	39.5	31.1	27.8	35.3	19.1	16.2	11.7	8.7	34.0	12.9
投資経験別 (Q1)	現在投資層 (1233)	62.5	61.3	54.5	45.1	38.6	19.1	18.2	10.5	8.5	50.8	14.2
	過去投資層 (442)	63.8	60.0	52.7	43.9	42.8	20.6	17.9	12.0	8.4	47.7	12.7
	投資未経験層 (1325)	53.8	55.4	45.7	38.5	44.6	24.6	17.1	12.8	11.6	43.9	15.6
保有割合別 (下6)	高 (249)	61.4	68.3	50.2	47.4	39.8	17.7	18.1	9.6	7.2	45.4	16.9
	中 (436)	59.4	58.3	48.6	45.2	36.0	17.7	19.0	11.5	10.1	48.9	13.5
	低 (495)	64.4	63.2	56.2	44.4	42.4	21.8	18.8	12.3	9.1	51.9	16.0
	なし(預貯金のみ) (459)	63.8	63.4	54.0	46.2	50.8	27.5	14.8	10.7	11.1	50.8	15.3

6. 老後生活へ向けた現状・意識

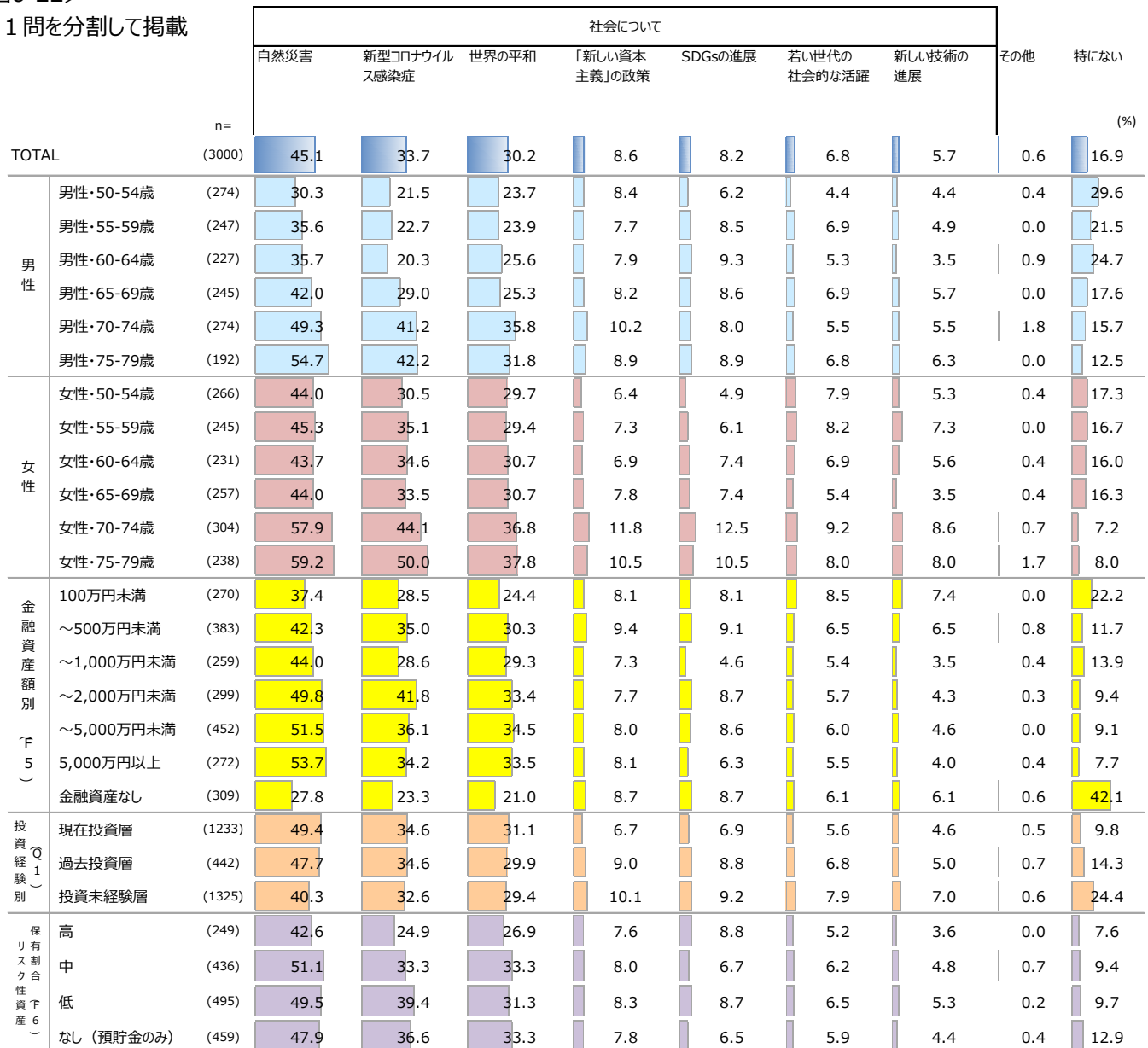
(10) 生活・環境への期待・不安〔Q20:重複回答〕

①期待・前向きに考えていること<社会>

- 社会について、期待していること・前向きに考えていることは、「新しい技術の進展」「若い世代の社会的な活躍」「SDGsの進展」が2割前後で上位。
- 性・年齢別では、全体的に女性・70代で高い項目が多い。
- 金融資産額別では、「新しい技術の進展」は2,000万円未満以上の層を中心に高い。
- 投資経験別では、現在投資層・過去投資層で投資未経験層より高い項目が多い。〔図6-22〕

〔図6-22〕

* 1問を分割して掲載



※()内は省略して表記：世界の平和(戦争終結等) / 自然災害(地震、豪雨など) / SDGs(持続可能な開発目標)の進展 / 新しい技術(IoT、メタバースなど)の進展 / 「新しい資本主義(成長、分配、生きがい創出)」の政策

6. 老後生活へ向けた現状・意識

(10) 生活・環境への期待・不安〔Q20:重複回答〕

②不安に思っていること<お金・健康>

- お金・自身の健康について、不安に思っていることは、「自分自身の病気・ケガ・介護」(58.9%)、「物価の上昇」(58.5%)が高く、これに「家族の病気・ケガ・介護」(50.3%)、「円安の進行」(42.0%)、「今後の生活資金・資産」(41.9%)が続く。
- 性・年齢別では、「年金受給開始年齢の引き上げ」は男女ともに50代で高い。
- 金融資産額別では、「今後の生活資金・資産」が資産額が低い層で5割超と高い。〔図6-23〕

〔図6-23〕

* 1問を分割して掲載

	n=	お金に関すること										自分の心身の健康面に関すること		その他	特になし	(%)
		自分自身の病気・ケガ・介護	物価の上昇	家族の病気・ケガ・介護	円安の進行	今後の生活資金・資産	年金受給開始年齢引き上げ	自分自身の資産管理能力	資産・負債の相続	定年延長	からだの機能・認知や判断能力	人との交流・コミュニケーションの機会				
TOTAL	(3000)	58.9	58.5	50.3	42.0	41.9	21.7	17.7	11.7	9.9	47.3	14.6	0.6	16.9		
男性	男性・50-54歳 (274)	43.4	46.4	36.5	32.5	38.0	27.4	12.8	12.0	17.5	33.6	14.2	0.4	29.6		
	男性・55-59歳 (247)	51.8	50.6	42.5	37.2	39.7	34.4	18.2	10.5	14.6	40.9	14.2	0.0	21.5		
	男性・60-64歳 (227)	47.1	49.8	34.8	35.2	36.1	21.1	10.1	9.7	7.0	36.6	11.0	0.9	24.7		
	男性・65-69歳 (245)	54.3	54.7	44.1	38.4	37.1	11.0	12.2	10.2	7.8	44.5	13.5	0.0	17.6		
	男性・70-74歳 (274)	61.7	60.9	54.0	44.9	41.6	12.4	16.8	11.7	6.6	47.1	14.2	1.8	15.7		
	男性・75-79歳 (192)	65.6	64.6	57.3	47.4	39.1	14.6	19.3	13.5	6.3	51.0	15.6	0.0	12.5		
女性	女性・50-54歳 (266)	57.9	60.9	53.8	45.9	50.0	35.0	20.3	11.7	13.5	44.7	18.0	0.4	17.3		
	女性・55-59歳 (245)	61.2	58.0	54.7	44.9	51.0	37.1	21.2	12.7	11.4	44.5	17.6	0.0	16.7		
	女性・60-64歳 (231)	61.9	59.7	57.1	39.4	43.7	22.9	19.0	9.5	7.4	50.2	16.9	0.4	16.0		
	女性・65-69歳 (257)	61.9	59.1	52.1	44.4	41.2	9.7	17.1	9.7	5.8	49.4	10.5	0.4	16.3		
	女性・70-74歳 (304)	72.0	68.1	62.5	47.7	42.1	15.1	19.4	13.2	7.2	62.2	14.8	0.7	7.2		
	女性・75-79歳 (238)	66.8	68.9	53.4	45.8	41.6	19.7	25.6	16.4	12.2	61.8	14.7	1.7	8.0		
金融資産額別 (下5)	100万円未満 (270)	53.7	53.0	42.2	38.9	50.7	20.4	14.8	13.0	11.9	41.9	15.2	0.0	22.2		
	～500万円未満 (383)	62.1	64.0	52.0	45.4	52.2	28.2	17.8	12.5	13.1	44.4	18.3	0.8	11.7		
	～1,000万円未満 (259)	61.4	62.2	49.8	43.6	47.9	26.6	15.1	12.7	11.2	46.3	16.6	0.4	13.9		
	～2,000万円未満 (299)	66.6	64.9	56.9	44.1	46.5	21.4	19.4	10.0	9.7	51.8	13.4	0.3	9.4		
	～5,000万円未満 (452)	61.5	65.0	53.3	48.2	34.5	17.7	14.2	9.3	7.3	52.2	12.8	0.0	9.1		
	5,000万円以上 (272)	59.9	60.3	54.8	43.8	27.6	15.4	24.3	11.0	6.3	56.6	15.8	0.4	7.7		
金融資産なし (309)	39.8	39.5	31.1	27.8	35.3	19.1	16.2	11.7	8.7	34.0	12.9	0.6	42.1			
投資経験別 (Q1)	現在投資層 (1233)	62.5	61.3	54.5	45.1	38.6	19.1	18.2	10.5	8.5	50.8	14.2	0.5	9.8		
	過去投資層 (442)	63.8	60.0	52.7	43.9	42.8	20.6	17.9	12.0	8.4	47.7	12.7	0.7	14.3		
	投資未経験層 (1325)	53.8	55.4	45.7	38.5	44.6	24.6	17.1	12.8	11.6	43.9	15.6	0.6	24.4		
保有割合 性資産 (下6)	高 (249)	61.4	68.3	50.2	47.4	39.8	17.7	18.1	9.6	7.2	45.4	16.9	0.0	7.6		
	中 (436)	59.4	58.3	48.6	45.2	36.0	17.7	19.0	11.5	10.1	48.9	13.5	0.7	9.4		
	低 (495)	64.4	63.2	56.2	44.4	42.4	21.8	18.8	12.3	9.1	51.9	16.0	0.2	9.7		
	なし(預貯金のみ) (459)	63.8	63.4	54.0	46.2	50.8	27.5	14.8	10.7	11.1	50.8	15.3	0.4	12.9		

6. 老後生活へ向けた現状・意識

(10) 生活・環境への期待・不安〔Q20:重複回答〕

②不安に思っていること<社会>

- 社会について、不安に思っていることは、「自然災害」(45.1%)、「新型コロナ」(33.7%)、「世界の平和」(30.2%)が高い。
- 性・年齢別では、男性・75-79歳、女性・70代で「自然災害」「新型コロナ」「世界の平和」が高い。
- 金融資産額別では、「自然災害」は資産額が高いほど高い傾向。
- 投資経験別では、「自然災害」が現在投資層・過去投資層が投資未経験層より高い。〔図6-24〕

〔図6-24〕

* 1問を分割して掲載

		社会について									その他	特にな	(%)
		自然災害	新型コロナウィルス感染症	世界の平和	「新しい資本主義」の政策	SDGsの進展	若い世代の社会的な活躍	新しい技術の進展					
TOTAL	n=(3000)	45.1	33.7	30.2	8.6	8.2	6.8	5.7		0.6	16.9		
男性	男性・50-54歳 (274)	30.3	21.5	23.7	8.4	6.2	4.4	4.4		0.4	29.6		
	男性・55-59歳 (247)	35.6	22.7	23.9	7.7	8.5	6.9	4.9		0.0	21.5		
	男性・60-64歳 (227)	35.7	20.3	25.6	7.9	9.3	5.3	3.5		0.9	24.7		
	男性・65-69歳 (245)	42.0	29.0	25.3	8.2	8.6	6.9	5.7		0.0	17.6		
	男性・70-74歳 (274)	49.3	41.2	35.8	10.2	8.0	5.5	5.5		1.8	15.7		
	男性・75-79歳 (192)	54.7	42.2	31.8	8.9	8.9	6.8	6.3		0.0	12.5		
女性	女性・50-54歳 (266)	44.0	30.5	29.7	6.4	4.9	7.9	5.3		0.4	17.3		
	女性・55-59歳 (245)	45.3	35.1	29.4	7.3	6.1	8.2	7.3		0.0	16.7		
	女性・60-64歳 (231)	43.7	34.6	30.7	6.9	7.4	6.9	5.6		0.4	16.0		
	女性・65-69歳 (257)	44.0	33.5	30.7	7.8	7.4	5.4	3.5		0.4	16.3		
	女性・70-74歳 (304)	57.9	44.1	36.8	11.8	12.5	9.2	8.6		0.7	7.2		
	女性・75-79歳 (238)	59.2	50.0	37.8	10.5	10.5	8.0	8.0		1.7	8.0		
金融資産額別 (下5)	100万円未満 (270)	37.4	28.5	24.4	8.1	8.1	8.5	7.4		0.0	22.2		
	～500万円未満 (383)	42.3	35.0	30.3	9.4	9.1	6.5	6.5		0.8	11.7		
	～1,000万円未満 (259)	44.0	28.6	29.3	7.3	4.6	5.4	3.5		0.4	13.9		
	～2,000万円未満 (299)	49.8	41.8	33.4	7.7	8.7	5.7	4.3		0.3	9.4		
	～5,000万円未満 (452)	51.5	36.1	34.5	8.0	8.6	6.0	4.6		0.0	9.1		
	5,000万円以上 (272)	53.7	34.2	33.5	8.1	6.3	5.5	4.0		0.4	7.7		
金融資産なし (309)	27.8	23.3	21.0	8.7	8.7	6.1	6.1		0.6	42.1			
投資経験別 (Q1)	現在投資層 (1233)	49.4	34.6	31.1	6.7	6.9	5.6	4.6		0.5	9.8		
	過去投資層 (442)	47.7	34.6	29.9	9.0	8.8	6.8	5.0		0.7	14.3		
	投資未経験層 (1325)	40.3	32.6	29.4	10.1	9.2	7.9	7.0		0.6	24.4		
保有割合別 (下6)	高 (249)	42.6	24.9	26.9	7.6	8.8	5.2	3.6		0.0	7.6		
	中 (436)	51.1	33.3	33.3	8.0	6.7	6.2	4.8		0.7	9.4		
	低 (495)	49.5	39.4	31.3	8.3	8.7	6.5	5.3		0.2	9.7		
	なし(預貯金のみ) (459)	47.9	36.6	33.3	7.8	6.5	5.9	4.4		0.4	12.9		

※()内は省略して表記：世界の平和(戦争終結等) / 自然災害(地震、豪雨など) / SDGs(持続可能な開発目標)の進展 / 新しい技術(IoT、メタバースなど)の進展 / 「新しい資本主義(成長、分配、生きがい創出)」の政策

7. 「豊かな老後生活」に向けた生活者意識

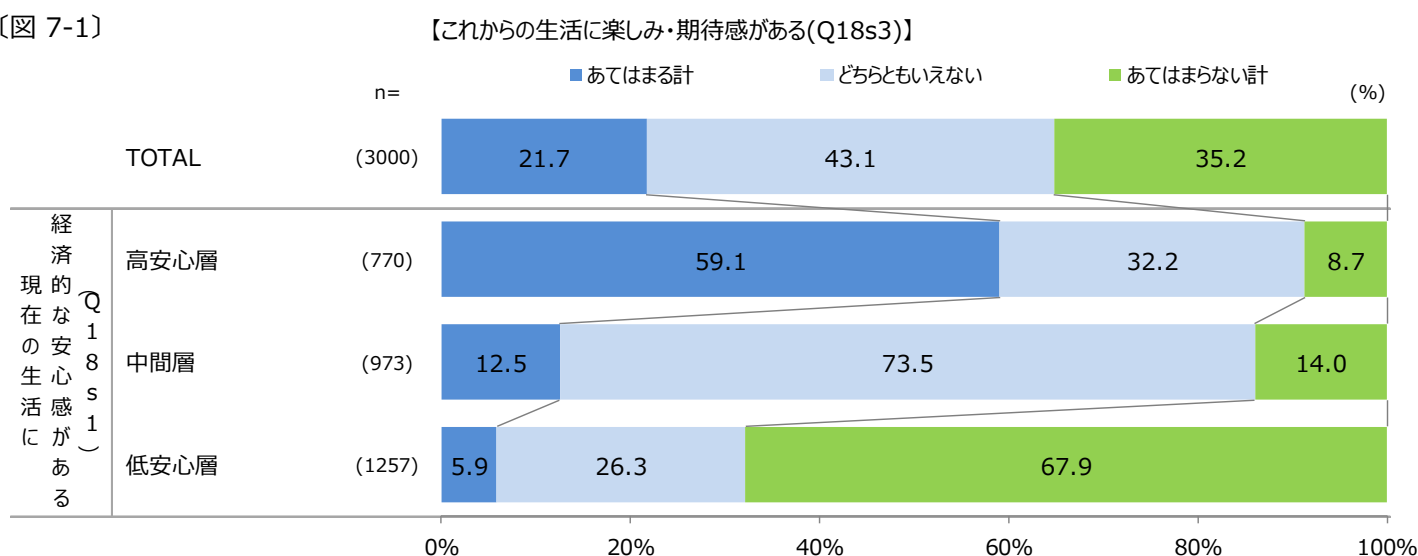


7. 「豊かな老後生活」に向けた生活者意識

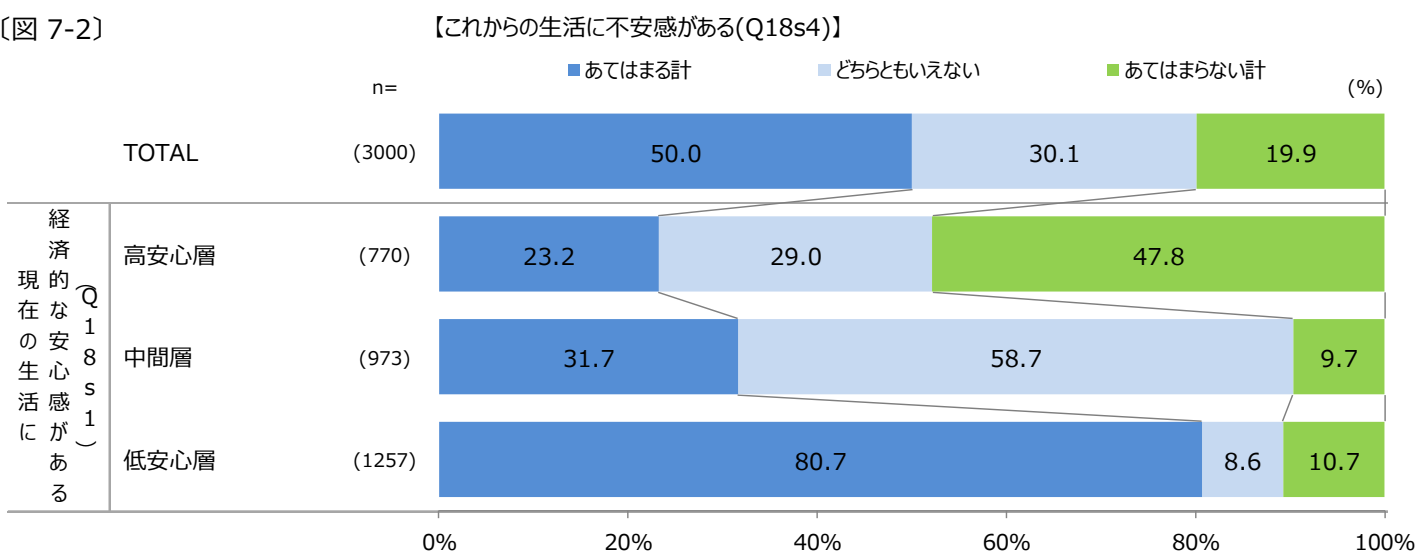
(1) 経済的安心感と今後への期待・不安〔Q18s3・s4×Q18s1〕

- 現在の生活における経済的な安心感と、これからの生活への楽しみ・期待感／不安感との関係をそれぞれ3区分に再集計し、相互の関係をみた。
経済的な安心感が高い層では、『これからの生活に楽しみ・期待感がある』で「あてはまる計」(59.1%)が約6割と高い。〔図7-1〕
- 一方、経済的な安心感が低い層では『これからの生活に不安感がある』で「あてはまる計」が80.7%を占め、不安感の高さが目立つ。〔図7-2〕

〔図 7-1〕



〔図 7-2〕



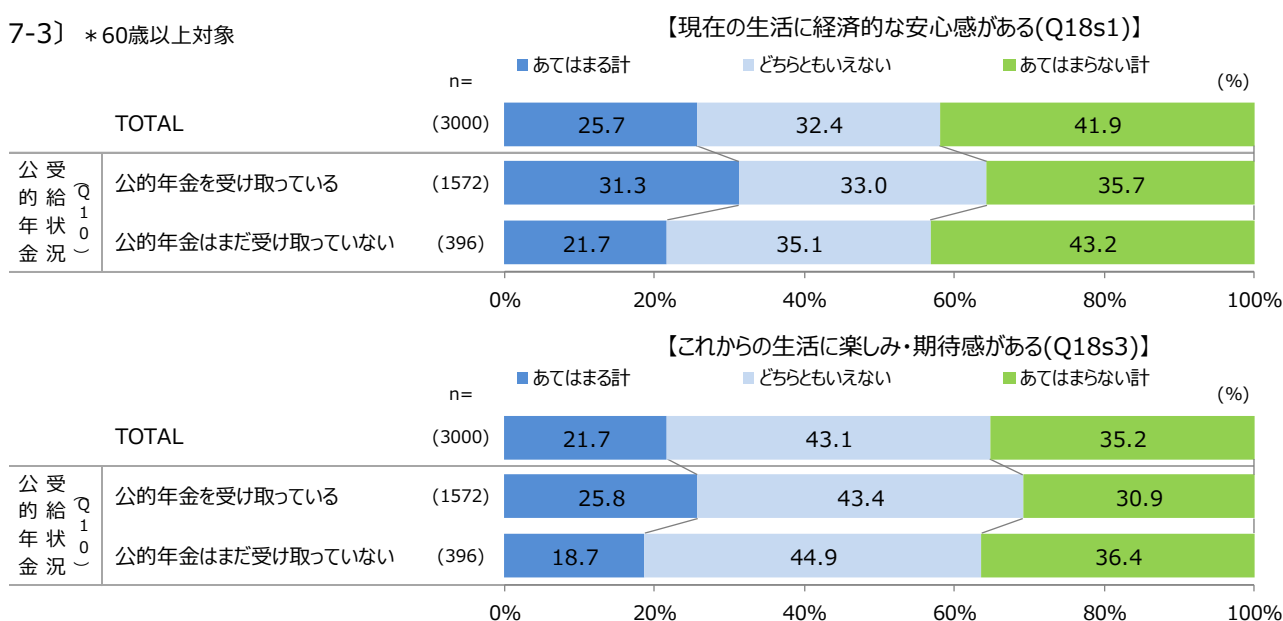
※【これからの生活に楽しみ・期待感がある (Q18s3)】【これからの生活に不安感がある(Q18s4)】：
『あてはまる計』…とても/ややあてはまる 『あてはまらない計』…あまり/まったくあてはまらない

7. 「豊かな老後生活」に向けた生活者意識

(2) 年金等の状況・意識と経済的安心感〔Q18s1・s3×Q10・Q17〕

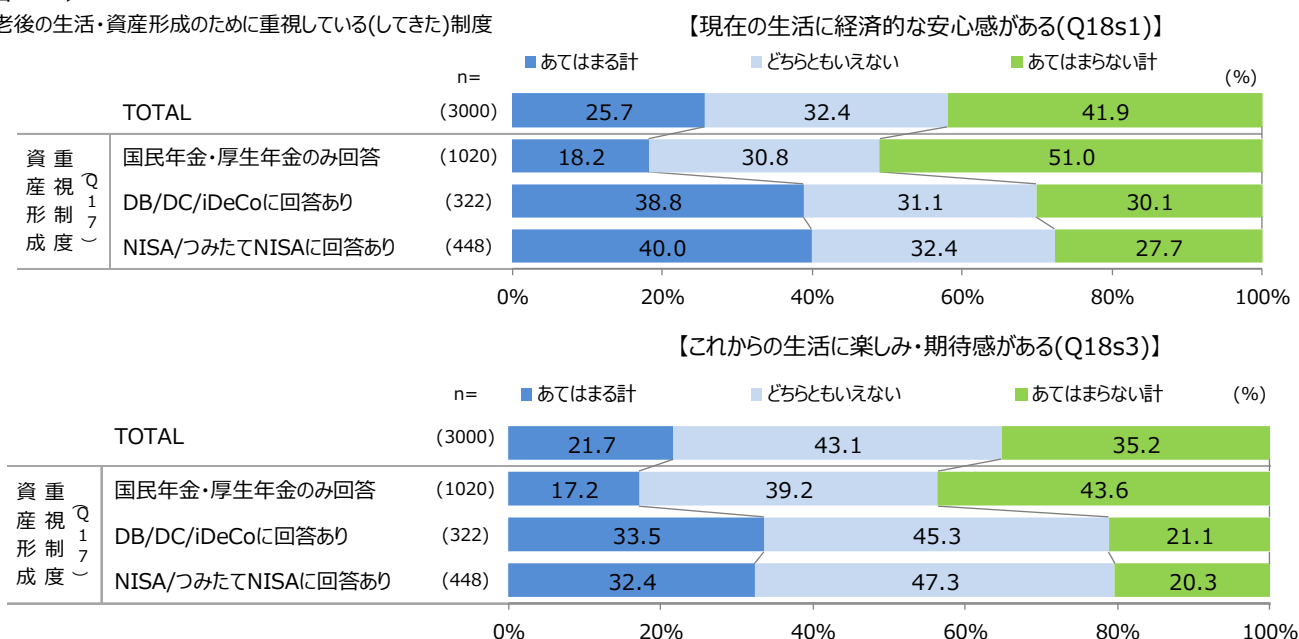
- 公的年金の受給状況等と、経済的な安心感・今後の生活への楽しみ・期待感との関係を見た。公的年金を受給している層でも『現在の生活に経済的な安心感がある』で「あてはまる計」(31.3%)を「あてはまらない計」(35.7%)が上回る。〔図7-3〕
- 老後の生活・資産形成のために重視している(してきた)制度で、「国民年金・厚生年金のみ」の人では、経済的安心感、今後の生活への楽しみ・期待感ともに「あてはまる計」は2割弱と低い。一方、DB/DC/iDeCo、NISA・つみたてNISA等の制度重視者では「あてはまる計」が3～4割となる。〔図7-4〕

〔図 7-3〕 *60歳以上対象



〔図 7-4〕

* 老後の生活・資産形成のために重視している(してきた)制度

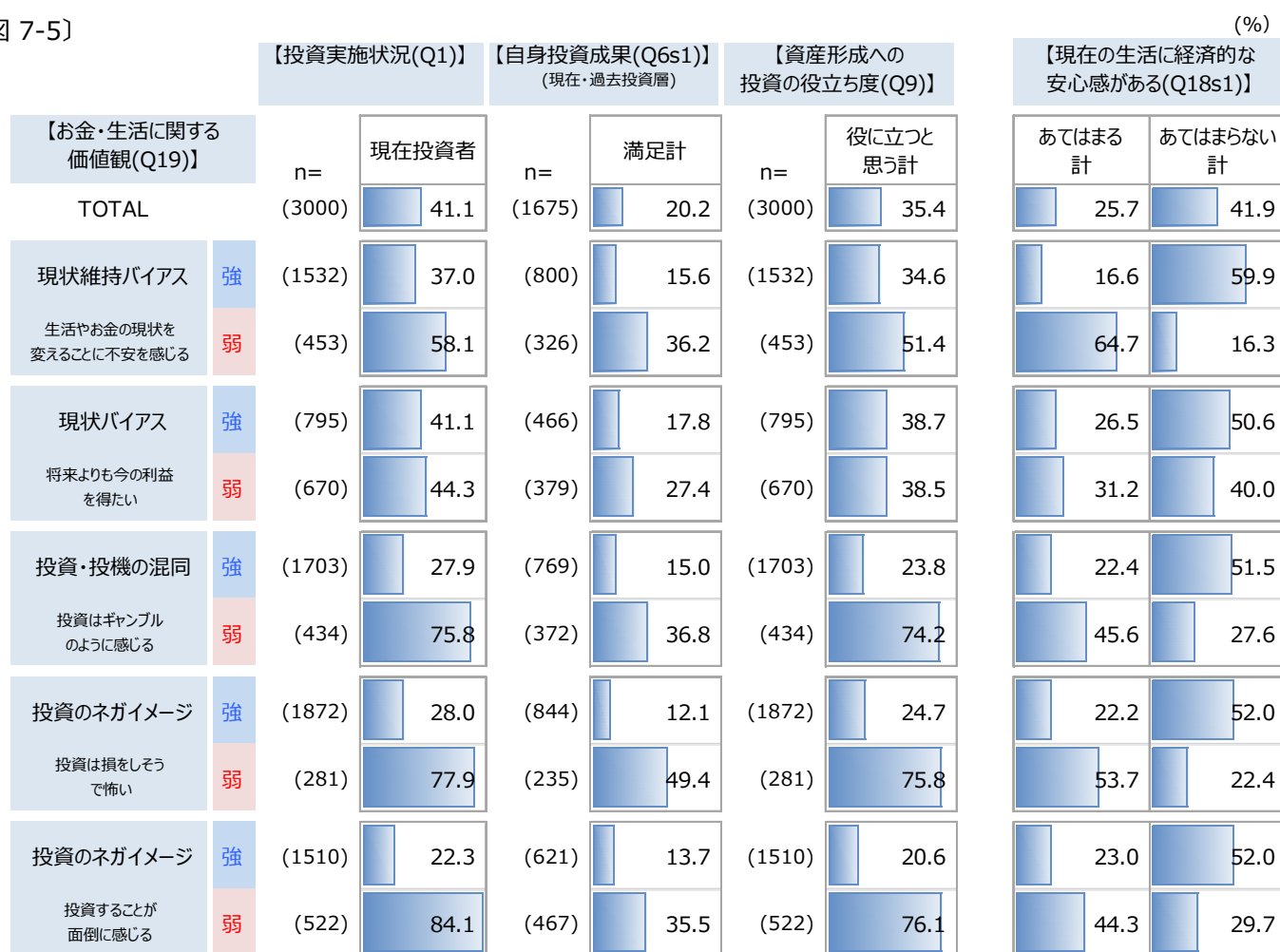


7. 「豊かな老後生活」に向けた生活者意識

(3) お金に関するマインド・価値観と投資行動・意識 〔Q1・Q6s1・Q9・Q18s1×Q19〕

- お金に関するバイアス・価値観と投資行動や意識との関係をみた。
『現状維持バイアス』『投資・投機の混同』や『投資のネガイメージ(投資は損をしそうで怖い／投資することが面倒に感じる)』が弱い層は、バイアス等の度合いが強い層に比べて現在投資者の割合が高い。また、投資成果への満足度、資産形成に対する投資の役立ち度の割合も高い。
- さらに、バイアス・ネガイメージ等の弱い層では、『現在の生活に経済的な安心感がある』で「あてはまる計」が高い。
- 一方、バイアス・ネガイメージ等が強い層では、弱い層に比べて多くの項目で割合が低い。〔図7-5〕

〔図 7-5〕



※【自身の投資成果(Q6s1)】：満足計…とても+満足 の計

【資産形成への投資の役立ち度(Q9)】：役に立つと思う計…とても+やや役に立つと思う の計

【現在の生活に経済的な安心感がある(Q18s1)】：あてはまる計…とても+ややあてはまる の計／あてはまらない計…あまり+まったくあてはまらない の計

7. 「豊かな老後生活」に向けた生活者意識

(4) 投資上の経験・考えとお金に関するマインド・価値観〔Q19×Q7〕

- これまでの投資での経験や考えと、お金に関するマインド・価値観との関係を見た。運用について「想定以上の大きな損失が出たことがある」、マインドで「少しでも損をするとくやしい」との回答者では、『投資・投機の混同』や『投資のネガイメージ(投資は損をしそうで怖い)』等が、他のポジティブな考えの層に比べて高い。
- 投資スタイルでは、「頻繁に売買することなく、積立投資を続けてきた」人は、将来より今の利益を得たいという『現状バイアス』が他層に比べて低い。
- マインドで「多少の損失があっても投資に楽しさ・やりがいを感じる」の回答者は、各種バイアス・ネガイメージが全体に比べて低い。
- 「成功・失敗の要因の分析・考察をしたことがある」「投資を余裕資金で行ったり、無理のない投資計画を立てている」といった『計画・分析』経験のある人では、『現状維持バイアス』『投資・投機の混同』『投資のネガイメージ(投資は損をしそうで怖い／投資することが面倒に感じる)』が全体に比べて低い。〔図7-6〕

〔図 7-6〕

		【お金・生活に関する価値観(Q19)】 *それぞれ『強』の割合(とても+ややあてはまるの計)				
【自身のこれまでの投資での経験や考え(Q7)】 (現在・過去投資層/n=100以上の項目から一部抜粋)		現状維持バイアス 生活やお金の現状を 変えることに不安を感じる	現状バイアス 将来より今の利益を得たい	投資・投機の混同 投資はギャンブル のように感じる	投資のネガイメージ 投資は損をしそうで怖い	投資のネガイメージ 投資することが面倒に感じる
TOTAL	(3000)	51.1	26.5	56.8	62.4	50.3
運用 での 経験	想定以上の大きな利益(売却益)を得たことがある	40.2	25.2	35.4	33.3	20.4
	想定以上の大きな損失が出たことがある	51.5	34.2	53.3	57.9	36.8
	投資全体でみて、投資額を上回る利益を得られている	36.8	22.2	30.9	32.0	23.1
投資 ス タ イ ル	長期投資実施者	46.0	27.2	44.3	46.3	32.1
	短期・中長期投資のみ実施者 (長期投資実施なし)	51.5	36.2	42.3	48.5	29.4
	頻繁に売買することなく、積立投資を 続けてきた	52.3	21.3	37.0	44.9	32.4
マ イ ン ド	少しでも損失が出ると、くやしい気持ちになる	64.2	36.1	64.2	72.2	48.7
	多少の損失があっても投資に楽しさ・やりがいを感じる	37.8	30.2	32.6	21.5	13.4
計 画 ・ 分 析	成功・失敗の要因の分析・考察をしたことがある	46.1	27.0	38.2	42.1	24.3
	投資を余裕資金で行ったり、無理のない投資計画を立てている	40.1	24.7	36.6	39.3	25.6

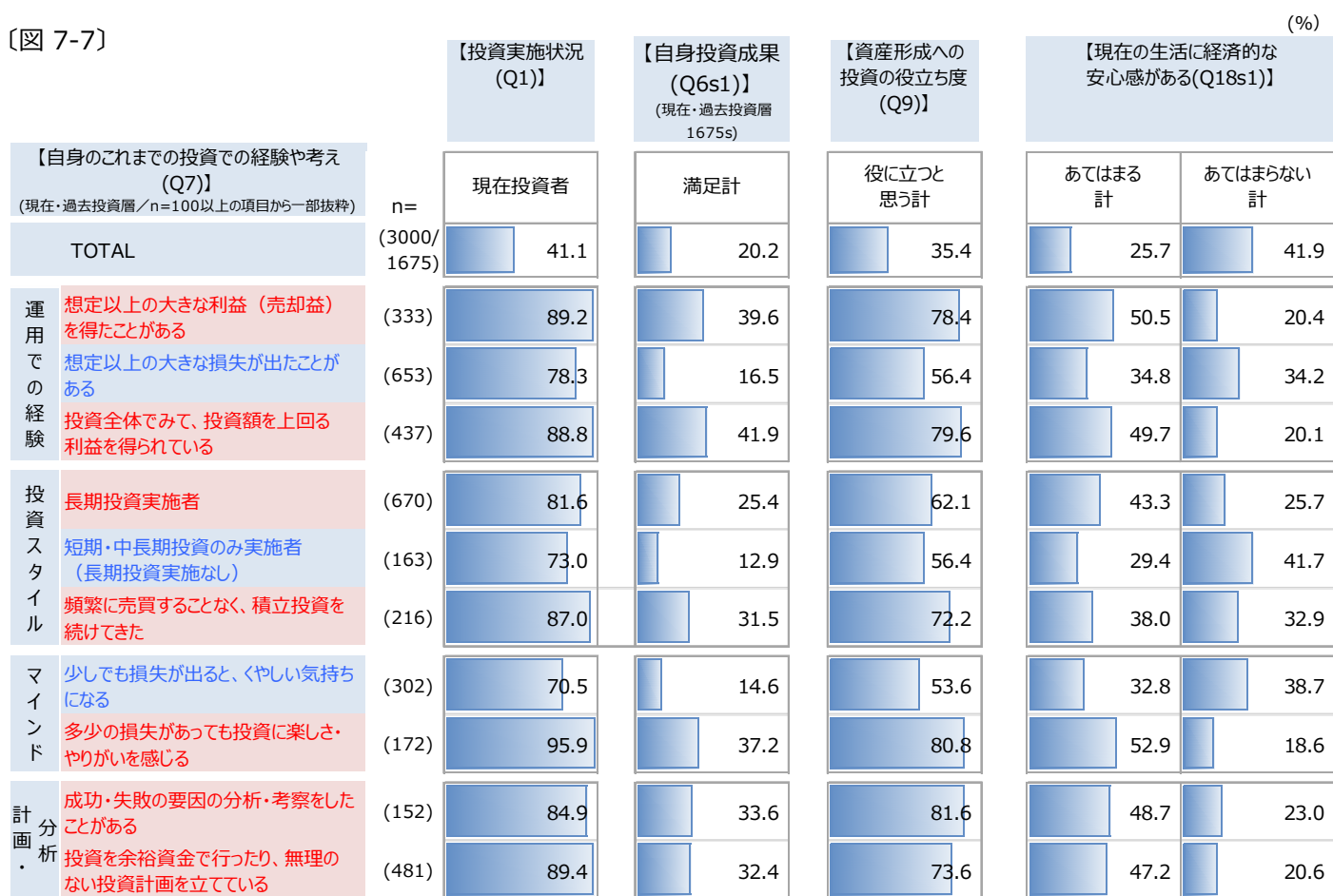
※赤字：ポジティブな項目 / 青字：ネガティブな項目

7. 「豊かな老後生活」に向けた生活者意識

(5) 投資上の経験・考えと投資意識〔Q1・Q6s1・Q9・Q18s1×Q7〕

- 「多少の損失があっても投資に楽しさ・やりがいを感じる」「投資全体でみて、投資額を上回る利益を得られている」「想定以上の大きな利益を得たことがある」の回答者では、現在投資実施率が高く、投資成果への満足度、資産形成への投資の役立ち度ともに全体に比べて高い。『計画・分析』の2項目でも、これと近い傾向にある。
- また、長期投資実施者では、短期・中長期投資のみの実施者に比べて、投資成果満足度、現在の経済的安心度が高い。〔図7-7〕

〔図 7-7〕



※赤字：ポジティブな項目 / 青字：ネガティブな項目

※【自身の投資成果(Q6s1)】：満足計…とても+満足 の計

【資産形成への投資の役立ち度(Q9)】：役に立つと思う計…とても+やや役に立つと思う の計

【現在の生活に経済的な安心感がある(Q18s1)】：あてはまる計…とても+ややあてはまる の計 / あてはまらない計…あまり+まったくあてはまらない の計

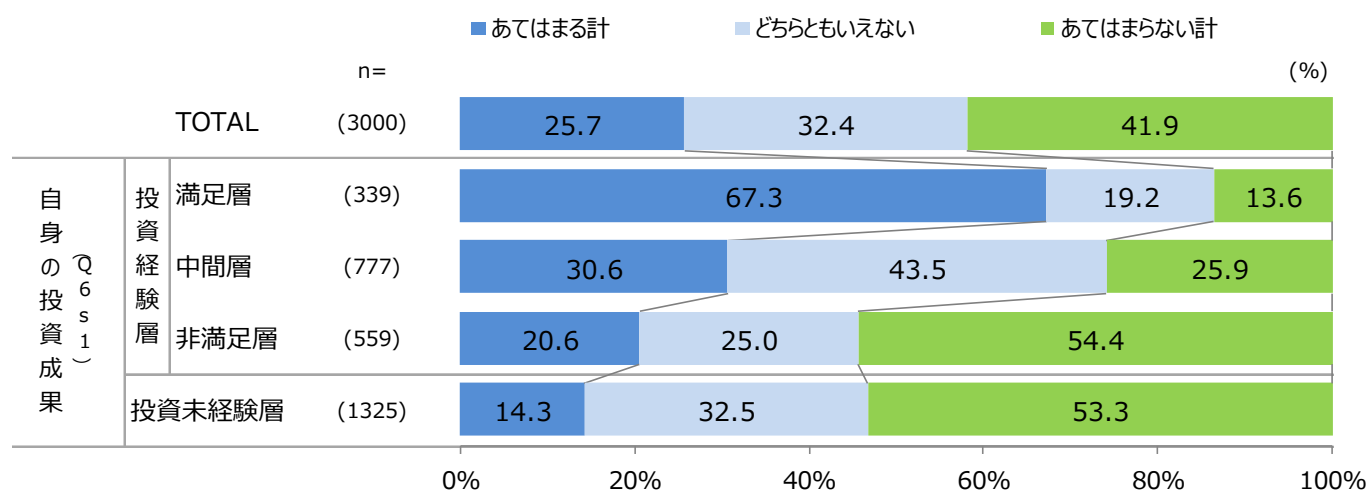
7. 「豊かな老後生活」に向けた生活者意識

(6) 経済的安心度・投資の資産形成有用度と投資成果の関係 〔Q18s1・Q9×Q6s1〕

- これまでの自身の投資成果への満足状況について、満足層では、『現在の生活に経済的な安心感がある』で「あてはまる・計」が67.3%を占める。一方、非満足層では「あてはまらない・計」(54.4%)が半数以上と高く、投資未経験層とも同程度となっている。〔図7-8〕
- 投資の資産形成への投資の役立ち度については、投資成果満足層では「(投資が資産形成に)役立つと思う計」は85.0%にのぼる。非満足層でも「(投資が資産形成に)役立つと思う・計」が40.1%と、投資未経験層の12.5%を大きく上回る。
- 投資経験層における投資成果の不満足は、必ずしも投資の資産形成の有用性否定にはつながっていない一方で、投資未経験層における有用性は低水準という状況。〔図7-9〕

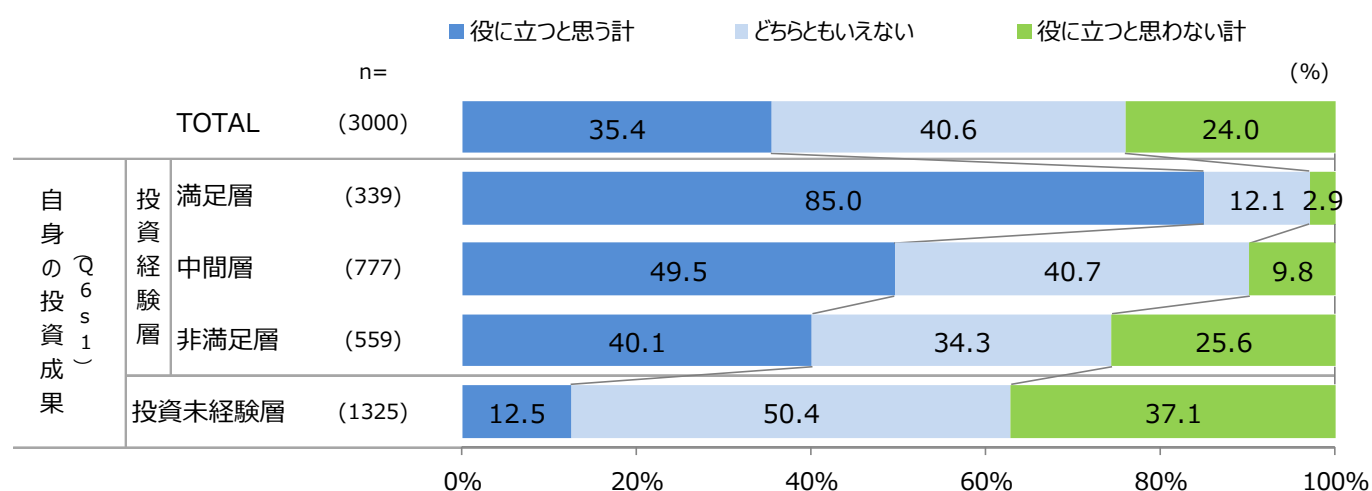
〔図 7-8〕

【現在の生活に経済的な安心感がある(Q18s1)】



〔図 7-9〕

【投資が自身の資産形成にどのくらい役立つか(Q9)】



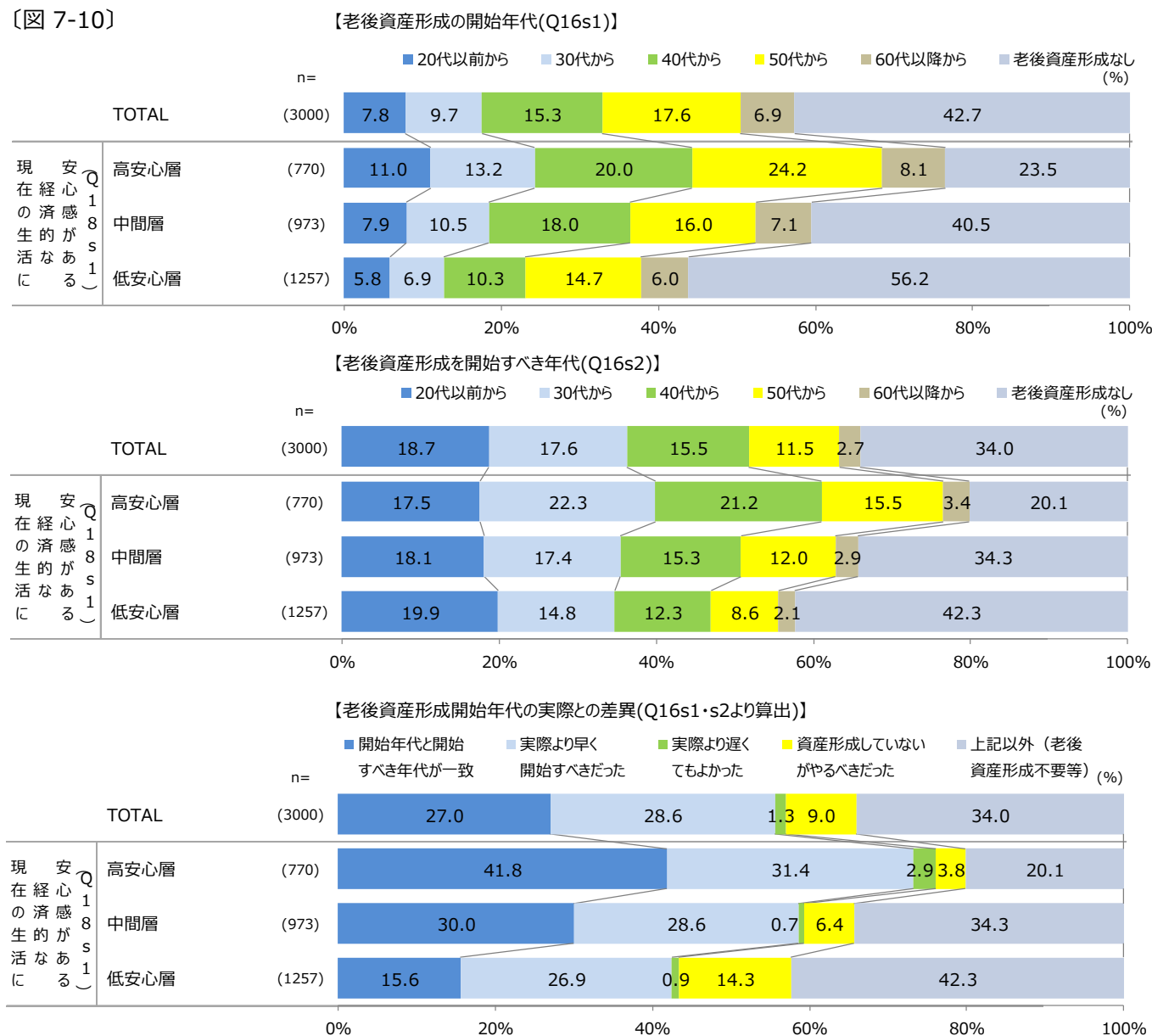
※【現在の生活に経済的な安心感がある(Q18s1)】：あてはまる計…とても+ややあてはまるの計 / あてはまらない計…あまり+まったくあてはまらないの計
【資産形成への投資の役立ち度(Q9)】：役に立つと思う計…とても+やや役に立つと思うの計

7. 「豊かな老後生活」に向けた生活者意識

(7)経済的安心度と老後への資産形成への取り組み状況 〔Q16s1・s2×Q18s1〕

- 経済的な安心感が高い層では、40代～50代に資産運用を開始した割合が全体に比べて高い。また、この層では、開始すべき年代は30代と40代がそれぞれ2割強と多く、30代～40代から老後の資産形成を開始すべきという人が4割強を占める。
- 経済的な安心感が低い層では、「老後資産形成なし」(56.2%)が半数超となっている。また、資産形成開始年代の実際との差異で見ると、「資産形成していながやるべきだった」という人が14.3%となっており、他層に比べても高い。〔図7-10〕

〔図 7-10〕



※【老後資産形成開始年代の実際との差異(Q16s1・s2より算出)】：

- ・実際より早く開始すべきだった…実際の開始年代(Q16s1)より、開始すべき年代(Q16s2)が若い回答者
- ・実際より遅くてもよかった…実際の開始年代(Q16s1)より、開始すべき年代(Q16s2)が高い回答者
- ・資産形成していながやるべきだった…実際の開始年代(Q16s1)では「老後の資産形成なし」だが、開始すべき年代(Q16s2)でいずれかの年代を選択した回答者
- ・老後資産形成なし…「老後のための資産形成は特にしてこなかった／特にする必要はない」の回答者

末尾添付資料：調査票



添付資料：調査票

最初に「あなたご自身のこと」についてお聞きします

F1 あなたの性別を教えてください。（1つだけ）

1 男性

2 女性

F2 あなたの年齢をお答えください。（数字を入れてください）

1 歳

F3 あなたのご家族を全てお選びください。（いくつでも）

※同居・別居は問いません。

1 配偶者

2 親（義理の親を含む）

3 子

4 兄弟姉妹

5 孫

6 その他（具体的に ）

7 家族はひとりもない（自分のみ）

添付資料：調査票

F4 あなたの**世帯年収**をお知らせください。（1つだけ）

- 1 100万円未満
- 2 100万円～300万円未満
- 3 300万円～500万円未満
- 4 500万円～800万円未満
- 5 800万円～1,000万円未満
- 6 1,000万円～1,500万円未満
- 7 1,500万円以上
- 8 わからない・答えたくない

F5 あなたの**世帯**で保有されている「**金融資産**」**全体の概算評価額**としてあてはまるものをお選びください。（1つだけ）

※金融資産とは、モノではなく金銭に近い形で保有している資産を指します。

- ・金融資産：現金、預貯金、株式、国債、社債、投資信託、貴金属(金・プラチナ等)投資 等
- ・金融資産でない：家、土地、宝石、美術品 等 の実物資産

※ローン等の負債は含めずにお答えください。

- 1 100万円未満（全くない場合は「金融資産は保有していない」をご回答ください）
- 2 100万円～500万円未満
- 3 500万円～1,000万円未満
- 4 1,000万円～2,000万円未満
- 5 2,000万円～5,000万円未満
- 6 5,000万円～1億円未満
- 7 1億円以上
- 8 保有しているが、概算額はわからない・答えたくない
- 9 金融資産は保有していない

添付資料：調査票

<F6聴取対象：金融資産保有額回答者(F5=1~7)>

F6 F5でお答えの**金融資産のうち、預貯金の割合（％）**はどのくらいですか。
(0~100までの整数値でお答えください)

※金融資産とは、モノではなく金銭に近い形で保有している資産を指します。

※預貯金がなく、すべて預貯金以外の金融資産（株式、国債、投資信託等）で保有されている場合のみ、「0」と入力してください。

1 保有する金融資産のうち、預貯金は %くらい

1 わからない

※預貯金の割合がわからない方は、「わからない」にチェックをお付けください。

F7 現在、あなたが支払っている**ローンの残債の概算総額**をお選びください。（1つだけ）

※ここでの「ローン」は、以下のものに限ります。

- ・住宅ローン
- ・教育ローン（奨学金含む）
- ・自動車ローン

- 1 100万円未満（全くない場合は「ローンの残債はない（返済完了済み）」または「ローンを組んだことがない」を回答ください）
- 2 100万円～500万円未満
- 3 500万円～1,000万円未満
- 4 1,000万円～2,000万円未満
- 5 2,000万円～5,000万円未満
- 6 5,000万円～1億円未満
- 7 1億円以上
- 8 残債はあるが、概算額はわからない・答えたくない
- 9 ローンの残債はない（返済完了済み）
- 10 ローンを組んだことがない

添付資料：調査票

F8 あなたの**就労状況・意識**について、あてはまるものをお選びください。（1つだけ）

- 1 現在働いている
- 2 現在働いていないが、仕事を探している（探したい）
- 3 現在働いておらず、今後も働くつもりはない

「投資に関する行動」についてお聞きします

Q1 あなたは、金融商品・不動産への**投資**のご経験はありますか。（1つだけ）

※世帯ではなく、「あなたご自身での購入」のご経験をお答えください。また、相続・贈与されたものは含みません。
※金融商品は、銀行・証券会社等が扱う商品（株式、債券、投資信託、金・プラチナ、FX等）、不動産は土地・家屋（ビル・マンション・アパート含む）を指します。
※勤務先の福利厚生制度で投資商品を選んだ場合も含みます。

- 1 現在投資を行っている
- 2 現在は投資を行っていないが、過去に行っていたことがある
- 3 これまで一度も投資を行ったことはない

添付資料：調査票

<Q2聴取対象：投資実施者(Q1=1)>

<Q2聴取対象：投資経験者(Q1=2)>

Q2 以下の**金融商品等**について、あなたご自身で**現在保有**しているもの、現在保有していないが**過去に保有**していたことのあるものを全てお選びください。（それぞれいくつでも）

※世帯ではなく、「あなたご自身での購入」のご経験をお答えください。

	1 現在保有しているもの	2 過去に保有していたことのあるもの
1 外貨預金	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
2 株式	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
3 投資信託（ETF、Jリート含む）	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
4 債券（国債・社債等）	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
5 保険商品（生命保険、年金保険等の資産性のあるもの）	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
6 不動産（自宅用の土地・家屋）	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
7 不動産（賃貸用の土地・家屋）	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
8 貴金属（金・プラチナ等）	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
9 FX	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
10 暗号資産	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
11 クラウドファンディング	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
12 その他（具体的に）	<input type="text"/>	<input type="text"/>
13 わからない・答えたくない	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

14 特になし	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

添付資料：調査票

<Q3聴取対象：投資信託現在保有者(Q2_1=3)>

<Q3聴取対象：保有経験者(Q2_1=3orQ2_2=3)>

Q3 投資信託について、あなたご自身で**現在保有**しているもの、現在保有していないが**過去に保有**していたことのあるものを全てお選びください。（それぞれいくつでも）

※世帯ではなく、「あなたご自身での購入」のご経験をお答えください。

	1 現在保有している投資信託	2 現在保有していないが、過去に保有していたことのあるもの
1 国内株式に投資する投資信託	↓ ■	↓ ■
2 国内債券に投資する投資信託	■	■
3 外国株式に投資する投資信託	■	■
4 外国債券（国債、ハイイールド債等）に投資する投資信託	■	■
5 国内不動産投信（Jリート）に投資する投資信託	■	■
6 外国の不動産投信に投資する投資信託	■	■
7 株式、債券など、いくつかの資産に分散して投資する投資信託（バランス型）	■	■
8 E T F（株価指数などに連動する投資信託で日本の証券取引所に上場しているもの）	■	■
9 国内不動産投信〔Jリート〕（不動産に投資する投資信託で、日本の証券取引所に上場しているもの）	■	■
10 この中にはない・わからない・答えたくない	■	■

添付資料：調査票

Q4 あなたが、経済的な苦勞の少ない「豊かな老後」を過ごすために、**最小限必要な資産総額**ほどの程度とお考えですか。（1つだけ）

※現在の資産も含めて、あなた1人あたりの「総額として最小限これだけは必要」と思う額をお知らせください。

- 1 100万円未満（全くいらない場合は「資産は必要ない」を回答ください）
- 2 100万円～500万円未満
- 3 500万円～1,000万円未満
- 4 1,000万円～2,000万円未満
- 5 2,000万円～5,000万円未満
- 6 5,000万円～1億円未満
- 7 1億円以上
- 8 わからない・答えたくない
- 9 資産は必要ない

添付資料：調査票

<Q5聴取対象：投資実施者(Q1=1)>

<Q5聴取対象：貯蓄実施者(F6≥1 預貯金1%以上)>

Q5 あなたが、現在、投資・貯蓄をしている目的をお選びください。（それぞれいくつでも）

		1 投資の目的 ↓	2 貯蓄の目的 ↓
＜自分・家族の資金として＞	1 高額商品（自動車・家電等）の購入のため	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
	2 趣味・旅行等の楽しみのため	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
	3 年金では生活費が不足するため	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
	4 住宅・自動車等のローン支払いのため	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
	5 将来の医療・介護費用に備えて	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
	6 不測の事態（予期せぬ病気、失業、自然災害など）に備えて	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
＜経済的な安定のため＞	7 子供や孫への資金援助（教育・住宅等）のため	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
	8 子供や孫への十分な相続のため	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
	9 余裕資金を作っておくため	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
＜その他＞	10 資産のリスク分散のため	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
	11 預貯金の利率が低いため	<input type="checkbox"/>	-
	12 投資そのものを楽しむため	<input type="checkbox"/>	-
	13 投資で社会を良くすることができるため（ESG投資等）	<input type="checkbox"/>	-
	14 金融・経済・投資の勉強のため	<input type="checkbox"/>	-
	15 その他（具体的に）	<input type="text"/>	<input type="text"/>
	16 わからない・特にない	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

添付資料：調査票

「投資に関するお考え」についてお聞きします

Q6 あなたは、**これまでの**ご自身の**金融商品への投資の成果、貯蓄の成果**についてどの程度満足されていますか。

投資・貯蓄自体の実施・非実施、管理・運用方針や商品選択、結果等、全体的にみて、それぞれ最もあてはまるものをお選びください。（それぞれ1つずつ）

- | | | | | |
|------------|---------|----------------|--------------|------------------|
| 1
とても満足 | 2
満足 | 3
どちらともいえない | 4
満足していない | 5
まったく満足していない |
|------------|---------|----------------|--------------|------------------|

1 ご自身の**投資**について



2 ご自身の**貯蓄**について



添付資料：調査票

<Q7聴取対象：投資経験者(Q1=1or2)>

Q7 あなた自身の**これまでの投資での経験やお考え**について、あてはまるものを全てお選びください。（いくつでも）

<運用について>

- 1 想定以上の大きな利益（売却益）を得たことがある
- 2 想定以上の大きな損失が出たことがある
- 3 投資全体でみて、投資額を上回る利益を得られている

<これまでの投資スタイルについて>

- 4 短期で売買する投資（1日～3か月未満）を行ってきた
- 5 中長期で売買する投資（3か月以上）を行ってきた
- 6 長期で売買する投資（1年以上）を行ってきた
- 7 頻繁に売買することなく、積立投資を続けてきた
- 8 少しでも損失が出ると、くやしい気持ちになる
- 9 多少の損失があっても投資に楽しさ・やりがいを感じる

<商品購入について>

- 10 商品の内容をよく理解しないまま購入したことがある
- 11 強引に商品を勧められ、断れずに購入したことがある
- 12 商品の説明内容と実際の内容が異なり、だまされたと感じるがあった

<計画・分析について>

- 13 成功・失敗の要因の分析・考察をしたことがある
- 14 投資を余裕資金で行ったり、無理のない投資計画を立てている
- 15 投資にお金を回しすぎて、生活が苦しくなったことがある

<投資情報について>

- 16 年齢を重ねて、投資の情報収集力・理解力に自信がなくなってきた
- 17 インターネット等での情報が多すぎて、どの情報が信用できるかわからない
- 18 投資についての悩みに関する相談先がない

<その他>

- 19 その他（具体的に ）
- 20 特にない

添付資料：調査票

<Q8聴取対象：投資実施者／投資経験者(Q1=1or2)>

Q8 以下の投資の**リスク分散**の方法について、あなたは現在実施していますか。(それぞれ1つずつ)

1. 資産の分散

投資対象の種類（株式・債券・不動産等）、地域（国内・海外、先進国・新興国等）を分散してリスクを低減する方法

2. 長期保有

数年～10年単位での長期にわたって保有することで、短期的な市場の値動きのリスクを低減する方法

3. 時間の分散

複数回に分けて投資、毎月の積立投資等で1回あたりの購入価格を抑える方法

1 現在実施している
2 過去に実施していた（現在は実施していない）
3 今まで実施したことはない

- | | | | | |
|------------|---|-----------------------|-----------------------|-----------------------|
| 1 1. 資産の分散 | → | <input type="radio"/> | <input type="radio"/> | <input type="radio"/> |
| 2 2. 長期保有 | → | <input type="radio"/> | <input type="radio"/> | <input type="radio"/> |
| 3 3. 時間の分散 | → | <input type="radio"/> | <input type="radio"/> | <input type="radio"/> |

「今後の投資行動・意識」についてお聞きます

Q9 あなたは、「投資」がご自身の資産形成にどのくらい役立つとお考えですか。(1つだけ)

- 1 とても役に立つと思う
- 2 やや役に立つと思う
- 3 どちらともいえない
- 4 あまり役に立つと思わない
- 5 まったく役に立つと思わない

添付資料：調査票

<Q10聴取対象：公的年金受給可能者(F2≥60)>

「年金・退職金」についてお聞きします

Q10 あなたは、現在、**公的年金（国民年金・厚生年金）**を受け取っていますか。（1つだけ）

- 1 公的年金を受け取っている
- 2 公的年金はまだ受け取っていない

Q11 あなたの**公的年金（国民年金・厚生年金）**の受給開始年齢を教えてください。
まだ受け取っていない方は、**受給開始の希望年齢**をお答えください。

1 歳より受給開始／受給開始希望

1 わからない

※受給開始の希望年齢がわからない方は、「わからない」にチェックをお付けください。

Q12 あなたは、**定年退職時**、お勤め先から**退職金**をどのように受け取りましたか。今後受け取る予定の方は、どのように受け取る予定ですか。（1つだけ）

- 1 全額一時金で受け取った（受け取る予定）
- 2 全額を年金で受け取った（受け取る予定）
- 3 一部は一時金で受け取り、それ以外は年金で受け取った（受け取る予定）
- 4 退職金はなかった（退職金はない）
- 5 答えたくない・わからない

添付資料：調査票

<Q13聴取対象：退職一時金受給者（受給予定者）（Q12=1or3）>

Q13 退職金の一時金の受け取り額をお知らせください。（1つだけ）

※今後受け取る予定の方は、受け取り予定額をお答えください。

- 1 100万円未満
- 2 100万円～300万円未満
- 3 300万円～500万円未満
- 4 500万円～800万円未満
- 5 800万円～1,000万円未満
- 6 1,000万円～1,500万円未満
- 7 1,500万円以上
- 8 わからない・答えたくない

「老後の生活資金」についてお聞きします

Q14 あなたは現在、毎月どのくらいの金額を預貯金から取り崩して生活していますか。
おおよその金額についてお選びください。（1つだけ）

※給与・年金などの引き出しを除いた金額についてお答えください。

- 1 1万円未満
- 2 1万円～3万円未満
- 3 3万円～5万円未満
- 4 5万円～10万円未満
- 5 10万円～30万円未満
- 6 30万円以上
- 7 （取り崩している額は）わからない
- 8 預貯金等は取り崩していない

添付資料：調査票

Q15 あなたの**金融資産の管理方針**について、**これまでの5年間**であてはまるものはどれですか。また、**今後5年間程度での管理方針**はどのようにお考えですか。それぞれ最も近いものをお知らせください。
(それぞれ1つずつ)

	1 これまでの5年間の資産管理方針	2 今後5年間程度での資産管理方針
給与や年金を生活費に充当	●	●
給与や年金以外を生活費に充当	●	●
	●	●
	●	●
	●	●
その他	● <input type="text"/>	● <input type="text"/>
	●	●

添付資料：調査票

Q16 あなたは、これまで「**老後のため**」に**資産形成**をしていましたか。

「老後のため」の資産形成をしていた方は、いつ頃から始めましたか。

また、いつ頃から始めるのが良かったと思いますか。（それぞれ1つずつ）

	1 開始した年代	2 開始すべき年代
	↓	↓
1 10代から	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
2 20代から	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
3 30代から	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
4 40代から	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
5 50代から	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
6 60代から	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
7 70代から	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
8 老後のための資産形成は特 にしてこなかった／特にする必 要はない	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>

添付資料：調査票

Q17 あなたが、**老後の生活・資産形成のために、重視していた制度（もしくは重視している制度）**を教えてください。（いくつでも）

- 1 国民年金
- 2 国民年金基金（国民年金に上積みして、任意に加入する制度。公的年金のみの場合は含みません）
- 3 厚生年金（旧：共済年金含む）
- 4 個人年金保険
- 5 財形年金貯蓄
- 6 小規模企業共済
- 7 年金払い退職給付
- 8 企業型確定給付年金（DB）
- 9 企業型確定拠出年金（DC）
- 10 個人型確定拠出年金（iDeCo）
- 11 NISA
- 12 つみたてNISA
- 13 この中にはない・答えたくない

添付資料：調査票

「生活・お金に関する意識」についてお聞きします

Q18 生活・お金に関して、あなたご自身の現在のお気持ちにあてはまるものをお選びください。（それぞれ1つずつ）

		1 とてもあてはまる	2 ややあてはまる	3 どちらともいえない	4 あまりあてはまらない	5 まったくあてはまらない
1	現在の生活に経済的な安心感がある	→	●	●	●	●
2	投資判断・金融資産の管理に自信がある	→	●	●	●	●
3	これからの生活に楽しみ・期待感がある	→	●	●	●	●
4	これからの生活に不安感がある	→	●	●	●	●

Q19 以下の生活・お金に関する事柄について、それぞれあなたのお考えにあてはまるかをお知らせください。（それぞれ1つずつ）

		1 とてもあてはまる	2 ややあてはまる	3 どちらともいえない	4 あまりあてはまらない	5 まったくあてはまらない
1	生活やお金の現状を変えることに不安を感じる	→	●	●	●	●
2	将来よりも今の利益を得たい	→	●	●	●	●
3	お金の話を他人にすることは、はばかれる	→	●	●	●	●
4	投資はギャンブルのように感じる	→	●	●	●	●
5	お金が増えるのは嬉しい	→	●	●	●	●
6	投資は損をしそうで怖い	→	●	●	●	●
7	投資することが面倒に感じる	→	●	●	●	●
8	お金は簡単に増えることはない	→	●	●	●	●

Q20 あなたの生活や環境について、**期待していること・前向きに考えていること**、**不安に思っていること**をお知らせください。（それぞれいくつでも）

		1 期待 していること・ 前向き に考えて いること	2 不安 に思っ ていること
		↓	↓
＜お金に関すること＞	1 物価の上昇	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
	2 円安の進行	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
	3 今後の生活資金・資産	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
	4 自分自身の病気・ケガ・介護	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
	5 家族の病気・ケガ・介護	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
	6 年金受給開始年齢引き上げ	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
	7 定年延長	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
	8 資産・負債の相続	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
	9 自分自身の資産管理能力	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
＜自分の心身の健康面に関すること＞	10 からだの機能・認知や判断能力	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
	11 人との交流・コミュニケーションの機会	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
＜社会について＞	12 若い世代の社会的な活躍	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
	13 新型コロナウイルス感染症	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
	14 世界の平和（戦争終結等）	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
	15 自然災害（地震、豪雨など）	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
	16 SDGs（持続可能な開発目標）の進展	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
	17 新しい技術（IoT、メタバースなど）の進展	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
	18 「新しい資本主義（成長、分配、生きがい創出）」の政策	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
	19 その他（具体的に）	<input type="text"/>	<input type="text"/>
	20 特になし	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>